

令和 7 年度 年間指導計画

【掲載内容について】

本校では、「島尻スタンダード」を基に各学習グループで年間指導計画を作成しています。本ホームページでは、指導計画の一部を掲載しております。

沖縄県立島尻特別支援学校
小学部

小学部(Ⅱ課程)

第1学年

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
238		小学部 1 年			文科省著作教科書 ☆
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 （学・人） 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	48	（知及技） 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力） 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人） 簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	（知・技） 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとしている。 （主学） 生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 ○いっしょにやってみよう！ 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいく」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	24	（知及技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 （学・人） 教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	（知・技） 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 （主学） 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○みのまわりの きけんなこと 「いへのきけん」 「きょうしつのきけん」	【危険防止】 ・危険な場所を知る。 ・自分の身を守る行動に気付く。
	60	（知及技） 簡単な日課について、関心をもつことができる。 （思判表力） 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとするすることができる。 （学・人） 簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	（知・技） 簡単な日課について、関心をもとうとしている。 （思・判・表） 身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。 （主学） 日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとしたりしている。	【ウ 日課・予定】 ○がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	24	（知及技） 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 （思判表力） 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 （学・人） 好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	（知・技） 身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 （思・判・表） 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 （主学） 好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心をもち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 ○あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」 「こうえんであそぼう」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で安全に遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。

1 学 期	24	【知及技】 集団の中での役割に関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとするができる。 【学・人】 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	【知・技】 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 【思・判・表】 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 【主学】 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【力 役割】 ○いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 ○ちいきのぎょうじ 「ごとうどうんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部存在に気付く。（学部間交流）
	12	【知及技】 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとするができる。 【学・人】 学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を体験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとするができる。	【知・技】 簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 【思・判・表】 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 【主学】 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 ○せんせいのおてつだいをしよう 「せんせいのおてつだいをしよう」	【手伝い】【戸締り】 ・日直や当番活動の内容を知る。 ・お便りを配布する。 ・当番活動（電気の点灯・消灯、机拭き、戸締り、健康観察簿の提出、牛乳の配布、ごみ捨て等）をする。 ・始業、終業の挨拶の号令をかける。
	12	【知及技】 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 【学・人】 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	【知・技】 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 【思・判・表】 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○させつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	【知及技】 集団の中での役割に関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。 【学・人】 様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。	【知・技】 集団の中での役割に関心をもとうとしている。 【思・判・表】 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 【主学】 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【力 役割】 ○なかま 「がっきゅうの なかま」 「しょうがくぶのなかま」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部存在に気付く。（学部間交流）
	2	【知及技】 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 【学・人】 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	【知・技】 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 【思・判・表】 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○させつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	【知及技】 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 【思判表力】 身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとするができる。 【学・人】 生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	【知・技】 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 【思・判・表】 学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 【主学】 学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり、習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 ○だれのもの? 「だれのもの?」 ○「かして」「ありがとう」 「なまえやマークをつけよう」	【自分の物と他人の物の区別】 ・自分の持ち物と他者の物の区別が分かる。 ・自分の名前（マーク）に気付く。
	2	【知及技】 身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 【思判表力】 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。 【学・人】 自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わるができる。	【知・技】 身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 【思・判・表】 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 【主学】 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○わたしと かぞく 「げんきに「はい!」」 「なまえをよばれたら」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。

	2	【知及技】安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 【思判表力】身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組みうとすることができる。 【学・人】教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じて安全な行動をとったりすることができる。	【知・技】安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組みうととしている。 【主学】危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○あんしん あんぜん 「どうをあるくときのやくそく」	【交通安全】 ・信号や標識の意味を知る。 ・交通ルールに従って、安全に通行する。
	2	【知及技】身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【思判表力】身の回りにおける生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするすることができる。 【学・人】体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	【知・技】身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 【思・判・表】身の回りにおける生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	【知及技】身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 【思判表力】身の回りにおける社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするすることができる。 【学・人】自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	【知・技】身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 【思・判・表】身の回りにおける社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにおける社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 ○わたしのかぞく 「かぞく・おとなりさん」 ○わたしの がっこう 「わたしの がっこう」	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。
2 学期	2	【知及技】身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【思判表力】身の回りにおける生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするすることができる。 【学・人】体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	【知・技】身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 【思・判・表】身の回りにおける生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	2	【知及技】身の回りにおけるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 【思判表力】身の回りにおけるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするすることができる。 【学・人】身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	【知・技】身の回りにおけるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 【思・判・表】身の回りにおけるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 【主学】身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 ○もののおもさ 「もののおもさ ①」 「もののおもさ ②」	【物の重さ】 ・「重い・軽い」という感覚を経験し、生活の中にある物の重さの違いに気付く。 ・カバン、絵本、バケツ、ペットボトル等
	4	【知及技】身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 【思判表力】教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとするすることができる。 【学・人】自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わるることができる。	【知・技】身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 【思・判・表】教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 【主学】小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付き、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○せんせい・ともだち 「わたしのせんせい」 「はくのとち」 「てをつなごう」 「あいさつをしよう」	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。

	4	(知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人) 買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心を持ち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学) 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心を持ち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 ○おかねはたいせつ 「おこづかいをもらったら」 ○かいもの 「かいものをしよう」	【金銭の扱い】 ・お金の大切さを知る。 金銭を取り扱う方法について知る。 【買い物】 ・簡単な買い物の手順を知る。 ・教師の支援を受けながら買い物や自動販売機を利用する。
3 学 期	3	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気付き、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 ○かせとあそぼう 「かせとあそぼう」	【風の力の動き】 ・風の力によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・風揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	5	(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技) 身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○させつと あそぼう 「ふゆ」 「させつと ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
102		小学部 1 年			国語☆
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おーい ・歩く男の子 ・新幹線 ・船 ・飛行機	○歩く男の子：犬の散歩をしている男の子に女の子が「おーい」を呼び掛けている場面。絵を見て、教師や友だちと「おーい」と呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりすることを楽しむ。 ○新幹線・船・飛行機：乗り物を眺め、児童が手を挙げたり指さしたりして「おーい」と呼び掛けている場面。乗り物自体に呼び掛けたり、乗り物に乗っている人をイメージして呼び掛けたりする。対象が遠ざかることをイメージして、声や動きの大きさを変えながら呼び掛ける。
	8	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	くまん くまん	○くまさんと子供が出会い、握手をしたり一緒に跳躍したりして遊び、「さようなら」と挨拶してお別れをする。 ○児童がくまん役になり、教師からの呼びかけに応じたり、いろいろな動作を一緒にしたりすることで、話を楽しみながらその内容を大まかに把握する。
2 学期	10	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関りや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ぼくのいちにち ・起床・洗面 ・朝食・公園 ・雨・買い物 ・入浴・就寝	○起床、洗面、朝食、入浴、就寝：絵を見て、自分の経験を思い浮かべ、指さしや動き、言葉などで教師や友達に伝えようとする。 ○公園：絵を見て、児童それぞれが公園で遊んだ経験に照らし合わせ、経験した遊びや好きな遊びを指さしたり動作や言葉で表したりする。 ○雨、買い物：絵を見て、自分の経験を想起しながら、雨の日の場面には雨具を指さしたり言葉で表したりする。買い物の場面では、品物を指さしたり、店舗の方とのやり取りを動きや言葉で楽しみながら表現する。
	12	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき ・登校・着替え ・朝の会・学習 ・給食・遊び ・清掃・下校 ・学校図書館・プール ・運動会・学習発表会	○登校：日常で体験している登校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の始まりだとわかるようにしている。登校時に友達や教師と行うやりとりを想起する。 ○着替え：絵に視線を向ける、着替えの様子を指さす、衣服の名称を教師と一緒に声を出すなどしてやりとりを楽しむ。 ○学習：絵を見て、はさみ、のり、クレヨンなどの道具に視線を向ける、指差しをする、名称を声に出す。 ○給食：給食の絵を楽しんで見たり、給食時の簡単なあいさつを友達や教師と声に出したりする。 ○遊び：自分の経験したことのある遊びを友達や教師に伝えたり、いろいろな遊びの名称を教師と一緒に声に出したりする。 ○清掃：掃除道具の名称や何をしているかなどについて、友達や教師と伝え合ったり、教師と一緒に声に出したりする。 ○下校：日常的に経験している下校場面を絵の中に見出すことによって、一日の学校生活の終わりを意識する。 ○学校図書館：学校図書館の利用の仕方を聞いたり、実際にどんな本があるかを見たりして、楽しんで利用できるように促す。 ○プール：水遊びや水泳の様子を表す絵を楽しんで見ることにによって、関係する言葉を書いたり、簡単な話をしようとしたりする。 ○運動会：運動会の絵を見ることで、運動会について思い起こし、参加した種目や楽しかった思い出などを簡単な言葉で離そうとしたり、友達の発表を聞いたりする。 ○学習発表会：学習発表会の様子の絵を見て、知っている楽器を指さしたり、その名称やそこから発せられる音を声に出したりしながら、友達や教師とのやり取りを楽しむ。

3 学 期	10	(知及技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 言葉の持つ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	はるなつあきふゆ ・はる ・なつ ・あき ・ふゆ	○春：遠くに雪に残っている山々を臨む葉の花畑を、楽しそうに駆け抜けていく子供たちを表現した風景。 ○夏：砂浜で遊んだり海で泳いだりしている子供たちなど、夏の海を表現した風景。 ○秋：紅葉で燃えるような山々、野原で枯れ葉を舞わせて遊ぶ子供たちなどを表現した風景。 ○冬：白銀の世界の中をスキーやスノーボードで滑り降りていく子供、山の麓で雪だるまを作っている子供など、冬の山を表現した風景。 ○四季をテーマにした風景の中には、遊ぶ子供たちが描かれており、教師と一緒に絵を見て、様々な言葉を聞くとともに、絵を見た上で、自らの生活経験からいろいろなことを想起したり、それらを言葉と結び付けて表現したりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。 ・毛筆を使つての書初めの体験をする。
年 間 を 通 し て	54	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート 等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○「読書月間」等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
		(知及技) いろいろな筆記具に触れ書くことができる。 筆記具の持ち方や正しい姿勢で書くことができる。 (思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) いろいろな筆記具に触れ書こうとしている。 (思・判・表) 文字に興味をもち、書こうとしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう	○いろいろな線を書いて楽しむ。 ○書いたものに意味づけし文字を書くことにつながる興味関心を喚起する活動を行う。
		(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	がっこうだいすき	○朝の会で自分の名前を言ったり、返事をしたりする。 ○予定調べや学習の振り返りをする。

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年		算数☆ 自作教材

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。(小1段階) (思・判・表)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。(小1段階) (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知・技) 具体物に気付いて物を指さしたり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指さしたりすることができる。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学・人) 数量や図形に、算数の学習に関心を持って取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 具体物に気付いて物を指さしたり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指さしたりしようとしている。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) 数量や図形に、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	A数量の基礎ア スポンジあそび ・ある、ない①② ・どこにかくれたかな ・どこからでるかな	【ある、ない】 スポンジの中に隠れているものが「あるか、ない」かを判断する。 【どこにかくれたかな】 興味のあるもの（好きな動物等）が少しずつスポンジの中に隠れたりしても、そこに存在し続けることに気付く。 【どこからでるのかな】 見えていたものが見えなくなっても、なくなったわけではなく一時的に見えなくなっていることに気付く。
	12	(知・技) ものの有無や量に気付くことができる。 (思・判・表) ものの有無や具体物の量に注目して、3までの数を直感的に捉えたり、5までの範囲で数を唱えることができる。 (学・人) 3までの数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ものの有無に気付くことができる。 (思・判・表) 数詞とものの関係に注目し、数にまとまりや数え方に気付き、それらの学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア スポンジ・プットインあそび ・1個、2個、たくさん ・3個のかたまり	【1個、2個、たくさん】 ・数詞とスポンジの個数で数の大きさに気付く。 【3個のかたまり】 ・数字の順番とは違う「かたまりの数」としてスポンジをまとめてとる。
2学期	14	(知・技) 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指さしたりすることができる。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指さしたりしようとしている。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	A数量の基礎イ スポンジ袋あそび ・同じ形がある、ない ・どの箱にかくれたかな ・袋の中は何かあるかな	【おなじまーく】 ・袋の中にある同じ形（積み木等）をみつける。 【あわせましょう】 ・分割したカードを完成する。 【なかまをあつめる】 ・食べ物や動物などの属性に気付く。
	14	(知・技) 大きさや長さなどを、規準に対して同じか違うかによって区別することができる。 「ある・ない」「大きい・小さい」「多い・少ない」などの用語に着目して表現できる。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別使用としている。「ある・ない」「大きい・小さい」「多い・少ない」などの用語に着目して表現しようとしている。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	D測定ア ボール・玉入れ・ストロー・長組あそび ・おなじ、ちがう ・おおきい、ちいさい①② ・おい、すくない①② ・ながい、みじかい	【おなじ、ちがう】 ・袋の中にある同じ形（積み木等）をみつける。 【おおきい、ちいさい】 ・袋の中にある大きい形と小さい形に分ける。 【おい、すくない】 ・袋の中にある皿とブロックを数える。 【ながい、みじかい】 ・袋の中にある紐を引っ張って長さを感じる。
3学期	16	(知・技) 具体物に注目して指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。形を観点に区別することができる。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 具体物に注目して指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。形を観点に区別しようとしている。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	C図形ア ・おもちゃをみつけましょう ・かたちをつくりましょう ・形をあわせましょう	【かたちをつくる・あわせる】 ・積み木やブロックを並べたり積み上げたりする。 【おなじかたちをみつかる・あわせる】 ・色板を組み合わせて形をつくる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年		音楽☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） （思判表力）音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小1段階） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養う。（小1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	（知及技） 表現する音や音楽に気付くことができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。	（知・技） 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学） 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりつぷ、ことりのうた、こいのほり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おぼけなてないさ、たなはたさま、はなび、うみ・学年の歌（おーい）、校歌他 【たのしいいちにち（年間を通して）】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	5	（知及技） 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじつくまんぼ、すてきなは一が、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	（知乃技） 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆あたま かた ひざ ぽん、むすんでひらいて、ぼんた うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあつたのしく】 ☆はらバこあおむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージック・ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	（知及技） 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくま、おもちゃのへいたい い・ひよこちゃん、いちごはどこ、まきばの合唱団、あめふりくまのこ、月桃、いのちのリレー、ヤツホツホなつやすみ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	5	（知及技） 表現する音や音楽に気付くことができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。	（知・技） 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学） 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、おやつたーべよ・学年の歌（おーい）、校歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	（知及技） 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他 ・おーいサンタさん	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	（知乃技） 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 （思判表力） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 （思・判・表） 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【どうぶつになつて】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆ばなのおやこ、はっぱーばーすでー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあつたのしく】 ☆ばんやさんに おかきもの ・ミュージック・ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。

	5	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようすることができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がぼっと、おどるこねこ他 ・森のクリスマス、	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3 学 期	6	(知及技) 表現する音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくたおう】 ☆こんこんくしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ぼっぱつばたらかのうた、 ・学年の歌(おーい)、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	(知及技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がつきをならそう】 ☆がつきをならそう、へい！たんがりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	(知乃技) 音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようすることができる。	(知・技) 音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちえっちえっこり、だるまさん、はたけのぼるが、ちいさいうみ おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあつたのしく】 ☆びすけつとをやきましよう ・ミュージック・ケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようすることができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとがたつきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／相当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年生		図画工作教科書1・2年(上)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。(小1段階) (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品を見たりできる。(小1段階) (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わるにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技) 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 (思判表力) 手で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 同じ形を重ねる色で写し、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) 身近に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 (主学) 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んでたり楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 ○描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 (道具：マジック、クレヨン、絵の具等) (材料：画用紙、模造紙等) (教科書：ずがこうさく1・2上P24 参考)
		(知及技) 絵の具を選び、色水をつくることができる。 つくった色水を並べたりして色々な色があることに気付くことができる。 (思判表力) 活動を通して、色の組み合わせ方や並べ方を考えながら工夫することができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 色を混ぜるとどうなるのか関心を持ったり、色の変化を確かめたりする。意図を持って色を並べながら、いろいろな色に気付いている。 (思判表力) たくさん色をつくりながら試してみたいことを思い付いたり、次はどの色を組み合わせようかな。どのように活動を進める過程で、次にどうしようか考えたりしている。 (主学) 色を合わせる際にだんだんと色が 바뀌っていく様子を熱心にのぞき込んで確かめたり、つくった色水を並べる際に自分の思った感じになるように、納得するまで色の並びを何度も確かめながら並べ直したりしている。	作る(造形) ○カラフルいろみず ○カラルいろみず	・水の入ったペットボトルに、好きな色の絵の具を入れて色水を作る。 ・色水同士を組み合わせ、新たな色水を作る。 ・作った色水を太陽光や電光に透かして色の変化を楽しむ。 (道具：絵の具、水) (材料：ペットボトル、ライト等) (教科書：ずがこうさく1・2上P28 参考)
		(知及技) 寒天や紙粘土に十分に慣れるとともに、型抜きをしたり穴をつくったりするなど、手の平や指先の感覚などを働かせ、活動をつたえることができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 手でぎゅっと握って固めたり、型取りをしたりして試しながら色々な形ができることに気付いている。 (思判表力) 道具を用いて材料をカットしたり、直に手で潰したりして取り組む方法を工夫して取り組んでいる。 (主学) 穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る(粘土・立体) ○寒天であそぼう ○粘土であそぼう ・ニギニギ キュッキュ	・寒天や粘土の感触を十分に味わいながら、思い付いたことを試して、色々な形や触った感じなどを捉えながら、活動を工夫して作ることを楽しむ。 ・寒天をへらで切ったり、手で握ったりして感じる感触を楽しむ。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・固まった紙粘土に絵の具で着色する。 ・自分の作品を紹介したり、友達作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 (道具：型抜き、へら、粘土板、絵の具、筆、牛乳パック等) (材料：寒天、紙粘土等) 寒天：(教科書：ずがこうさく1・2上P14 参考) 紙粘土：(教科書：ずがこうさく1・2下P12、13 参考)
		(知及技) くしゃくしゃにした紙を丸めたり再度開いて伸ばしたりするくしゃくしゃにすることが分かる。 手の平や腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにすることができる。 (思判表力) 材料を基に形や大きさを工夫して活動に取り組むことができる。 クラフト紙と新聞紙を組み合わせるなど工夫して活動に取り組むことができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	(知・技) くしゃくしゃに紙全体を丸めたり、一部を握るなどして紙にしわを付けたりにして形を変えている。手、腕、全身を使って紙をくしゃくしゃにしている。 (思判表力) 紙を丸めたり破いたりして形や大きさを変えて活動に取り組んでいる。クラフト紙や新聞紙の感触の違いに気付く、組み合わせを考えて活動に取り組んでいる。 (主学) 穴を空けたり、丸く丸めたりしてそれぞれのしたい造形活動を楽しもうとしている。	作る(造形) ○新聞紙であそぼう	・新聞紙やクラフト紙を丸めたり伸ばしたりしながら触って感じる感触を楽しむ。 ・紙をガムテープ、マジック等) (材料：新聞紙、クラフト紙等) (教科書：ずがこうさく1・2下P20、21 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこととしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・ぬたくり ・色水 ・粘土 ・新聞紙遊び	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
2学期	28	(知及技) 形や色などに気付く、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりすることができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付く、形や色などに関わることができる。	(知・技) 形や色などに気付く、材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付く、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう 「お話の世界」	○「お話の世界」 ・いろいろな形や色に気付く。 ・絵本を読んで、テーマに沿って絵を描く。 (道具：絵本、筆、刷毛等) (材料：画用紙、絵の具、クレヨン等) (教科書：ずがこうさく1・2上P34 参考)
		(知及技) 形や色などに気付く、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりすることができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付く、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) 形や色などに気付く、材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付く、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○たらし絵 ・絵の具がたらし	○「絵の具がたらし」 ・模様を考えたり想像したりしながら色を選ぶ。 ・絵の具が垂れて模様になる様子を楽しむ。 (道具：空き箱、カップ) (材料：画用紙、絵の具、洗濯のり等)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどすることができる。 (思判表力) 材料などから、表現したいことを思い付くことができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付く、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力) 材料などから、表現したいことを思い付くこととしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付く、様々な材料に触れたり音に関わろうとしたりしている。	作る(工作) ○音づくり ○音づくり ・ふってたいて	○音づくり「ふってたいて」 ・容器に材料を入れ、音を鳴らす。 ・缶を叩いて音を鳴らす。 ・様々な材料で音を鳴らす。 (道具：テープ) (材料：廃材、ゴム、缶、ゼリール、空き箱、ビーズ、割り箸、お米、ラップ芯等) (教科書：ずがこうさく1・2下P30、31 参考)
		(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどすることができる。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりすることができる。 (学・人) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思判表力) 表現したいことを思い付いたり、作品をみたりしようとしている。 (主学) 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしようとしている。	作る(工作) ○作ってあそぼう ・はさみでちよっくん ・のりでベタベタ ・はさみでちよっくん ・テープでベタベタ	○「はさみでちよっくん のりでベタベタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・2cm幅の紙を1回で切る。(1回切り) ・糊の土を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量を出す。 (道具：はさみ、のり、テープ 等) (材料：黒画用紙、色画用紙 等) (教科書：ずがこうさく1・2上P12、 参考) (教科書：ずがこうさく1・2下P36、37 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこととしている。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・お話の世界 ・絵の具がたらし ・ふってたいて ・はさみでちよっくんのりでベタベタ	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。

3 学 期	18	〔知・技〕 はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表すことができる。 〔思判表力〕 材料から感じたこと、想像したこと、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりすることができる。 〔学・人〕 つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	〔知・技〕 はさみ、テープ、両面テープ、箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に工夫して表したりしている。 〔思判表力〕 材料から感じたこと、想像したこと、工夫して色を塗ったり、工夫して貼ったりしている。 〔主学〕 つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・風、こま、的当て、獅子舞	・切った紙やぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る。 ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ・画用紙のパーツを箱に貼り付け、獅子舞を作る。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 （道具：のり、はさみ、テープ、マジック等） 〔材料：色画用紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物、生地等〕 （教科書：ずがこうさく1・2上P44 参考）
		〔知・技〕 手の平や足の裏に絵の具を付けて形を移すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色、触った感じなどに気付くことができる。 〔思判表力〕 手足で塗った色や形に更に色や形を重ねるなど活動を工夫することができる。 〔学・人〕 つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組むことができる。	〔知・技〕 手形や足形を写してできる形に加え、それを集めると新しい形になることに気付いている。 〔思判表力〕 身の回りにある色で写し、いろいろな色に気付いている。 〔思判表力〕 身辺に触れ、写した際の形のイメージを膨らませている。手や足、道具を組み合わせて新しい形をつくりだしている。 〔主学〕 次々に手形や足形を押すことを試したり、形ができることを喜んでたり楽しく活動に取り組もうとしている。	描画 ○描いてみよう ・好きな色、線を探そう ・ぬたくり	・マジック、クレヨン、絵の具を使って点や線を描いてみる。 ・全身に絵の具を塗ったり、手形、足形等をとってみる。 〔道具：マジック、クレヨン、絵の具等〕 〔材料：画用紙、模造紙等〕 （教科書：ずがこうさく1・2上P24 参考）
		〔知・技〕 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどすることができる。 〔思判表力〕 表したいことを思い付いたり、作品をみたりすることができる。 〔学・人〕 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとすることができる。	〔知・技〕 身の回りの自然物などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 〔思判表力〕 表したいことを思い付いたり、作品をみたりしようとしている。 〔主学〕 作り出す楽しさに気付くとともに、いろいろな形に関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・はさみでちよっくん ・はさみでちよっくんのりでベタベタ ・はさみでちよっくん テープでベタベタ	○「はさみでちよっくんのりでベタベタ」 ・はさみの使い方を知り、はさみを持って、開いたり閉じたりする。 ・1回切り ・線の上を切る。 ・印に合わせて、のりを塗る。 ・のりに同程度の力を加えて、適量をだす。 〔道具：はさみ、のり、テープ 等〕 〔材料：画用紙、色画用紙 等〕
		〔知・技〕 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。 〔思判表力〕 身の回りにあるものなどを見ることができる。 〔学・人〕 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げることができる。	〔知・技〕 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。 〔思判表力〕 身の回りにあるものなどを見ようとしている。 〔主学〕 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・ししまい ・ぬたくり	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
		留意点 引継ぎ等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）	

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	小学部1年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、体づくり運動遊びをしようすることができる。	(知・技)教師と一緒に、手を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	いろいろなうごきにチャレンジしよう ならんでみよう、あつまってみよう かけっこ	・這う、またぐなどの運動遊び。 ・座る、しゃがむ、階段を昇ったりする運動遊び。 ・しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたり、転がったりするなどの運動遊び。 ・手足を伸ばしたり脚を前後左右に開いたり腕を振ったり回したりする運動遊び。 ・離れた場所にいる教師の言葉や笛の合図を聞いて、教師のもとに集まる運動遊び。 ・一定の距離を早く走る運動遊び。 ・ボールをつないだり、カラーコーンを置いて目印をつくり、直線を走る運動遊び。 ・20mほどの直線を一人や友達と走る運動遊び。 ・20m先に置かれている小さなフープを取って戻ってくる運動遊び ・教師の合図や指示に従って、スタートする。
	5	(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びができる。 (思判表力) 水の中で体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、水遊びをすることができる。	(知・技)教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びをしようとしている。 (思・判・表)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	みずのなかでたのしもう	・プールの周りでじょうろなどを使って、プールに慣れるような水遊び。 ・水の抵抗を感じながら歩いたり走ったりする水遊び。 ・遊具を浮かべたり、沈めたりする遊び。 ・水をすくって自分にかけたり、友達にかけたりする水遊び。 ・プールサイドを走らないことや一人で入水しないなどの安全の心得につながるようにする。 ・教師の合図に従って、プールから出ること。
	12	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、器械・器具を使っての遊びをしようすることができる。	(知・技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	サーキット	・個々の状態に応じた高さの跳び箱を登ったり、ジャンプして降りたりする運動遊び。 ・フープを並べ、グーパーやケンケンパーをする運動遊び。 ・トンネルをくぐる運動遊び。 ・一つのミニハードルを跳び越えたり、幾つか並べて連続して跳んだりする運動遊び。 ・キャスターボードを使って、手や腕の力で前へ進む運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、器械・器具を使っての運動遊びを始めたり止めたりする。
2学期	12	(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、表現遊びをしようすることができる。	(知・技)教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかさう ・げんきつき（リトミック）	・音楽に合わせての表現する運動遊び。 (うしろ歩き、馬歩き、トンボ、けんけん、スキップ) ・教師の言葉や笛の合図を聞いたり、曲の変化に合わせて表現する。
	13	(知及技) 教師と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、走・跳の運動遊びをすることができる。	(知・技)教師と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかさう ・げんきつき（5～10分間走） 記録会に参加しよう	・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒にまたは距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。

	5	(知及技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。 (学・人) 健康な生活を送ることの大切さを知ることができる。	(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄に気付き、感じたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 健康な生活を送ることの大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	てあらい・うがいはなぜするの？ おなかやあたまがいたいときは、せんせいにはなそう	・手洗い・うがいに興味をもつように、「咳」「風邪」などのことばに触れる。 ・家庭との連携を図り、帰宅時などの手洗いを習慣化できるようにする。
3 学 期	11	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図に従って、ボール遊びをしようすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
34		小学部1年生			
中心 目標		・人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ・人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 ・認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	・伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	1	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	・教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ・他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・新しい学級	・新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく①	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	・身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことわるいこと	・身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ①	・母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・たいせつないのち	・慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・ここちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく①	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
2 学期	2	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・あいてのきもち	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
	2	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと①	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じるができるようにする。
	2	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ・だいすきだよ②	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく②	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	・身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分からやってみよう	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
		・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく②	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ・他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ・ありがとう	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	・清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	・清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ・こちよさをかんじよう	・着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3 学 期	2	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	・さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛 護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ・しぜんとなかよく③	・野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ・みんなでなかよく③	・教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	・身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	・身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ・わたしのがんばったこと、したいこと②	・1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年(Ⅱ課程) 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	小学部1年		

目標:(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	○新しい教師や友達と、仲良くなれる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くなろうとしている。	【入学おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くなれる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全の行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 ○健康安全の行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道德などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
2 学期	14	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全の行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 ○健康安全の行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道德などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。

		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学习に関する事前事後学習】	○交流学习を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つようとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
3 学 期	8	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持つようとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全の行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 ○健康安全の行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学习に関する事前事後学習】	○交流学习を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つようとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
留意点 引継ぎ等					

小学部(Ⅱ課程)

第2学年

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
238	小学部2学年		文科省著作教科書 せいかつ☆

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 （思・判・表）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。（学・人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して204	48	（知・技）簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人）簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。	（知・技）簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動している。 （主・学）生活習慣に関わる初歩的な学習活動を通して自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア 基本的生活習慣】 ○いっしょにやってみよう！ 「おやすみ・おはよう」 「もちものをしまおう」 「トイレにいこう」 「たのしい きゅうしょく」	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	60	（知・技）簡単な日課について、関心をもつことができる。 （思・判・表）身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。	（知・技）簡単な日課について、関心をもとうとしている。 （思・判・表）身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。 （主・学）日課に沿って教師と共にする活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、見通しをもって自ら活動に向かおうとすることができる。	【ウ 日課・予定】 ○がっこうについたら 「とうこう」 「あさのかい」 「つぎのじゅぎょうはなにかな」 「かえりのかい」 「げこう」	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	24	（知・技）身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 （思・判・表）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 （学・人）好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	（知・技）身の回りの遊びや遊び方について関心をもとうとしている。 （思・判・表）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 （主・学）好きな遊びをすることなどに関わる学習活動を通して、友達や身近な人々、身の回りの遊びに関心を持ち、自ら周囲に働きかけようとしている。	【エ 遊び】 ○あそびがいっぱい 「あそびがいっぱい」	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんぼしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。
	36	（知・技）集団の中での役割に関心をもつことができる。 （思・判・表）身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとする。	（知・技）集団の中での役割に関心をもとうとしている。 （思・判・表）身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 （主・学）学級等の集団における役割などに関わる学習活動を通して、集団の中で活動することに慣れ、簡単な役割を果たそうとしている。	【カ 役割】 ○いっしょにしよう 「いっしょにしよう」 ○ちいきのぎょうじ 「ごうどううんどうかい」	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部存在に気付く。（学部間交流）
	24	（知・技）簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。 （思・判・表）身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする。	（知・技）簡単な手伝いや仕事に関心をもとうとしている。 （思・判・表）身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 （主・学）教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を通して、活動に徐々に慣れたり、簡単なことを習慣にしたりしようとしている。	【キ 手伝い・仕事】 ○きれいにしよう 「きれいにしよう」	【整理整頓】 【後片付け】 ・身の回りの棚や机の中を整理する。 ・使用したものを元の場所に片付ける。 【掃除】 ・はき掃除や拭き掃除をすることのねらいに気付き、清掃活動をする。

1 学 期 1 2	12	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「みつけよう」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つめる。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとする ことができる。 (学・人)生活の流れに即して、教師と一緒ににきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり、習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 ○いろいろなあいず 「いろいろなあいず」 ○みんなであつかう ばしよのきまり 「みんなであつかう ばしよのきまり」	【学校のきまり】 ・学校のきまりを知って守る。 【日常生活のきまり】 ・日常生活における簡単なきまりを知って守る。 ・図書室の利用方法を知る。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「はる」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つめる。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身の回りの安全に気づき、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気づき、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○ひなんくんれん 「かじ」 ○わたしたちを みまもって くれる ところ 「こうばん」 「しょうぼうしょ」 ○あんしん あんぜん	【危険防止】 ・家や学校での自分の身を守る行動に気付く。 【交通安全】 ・教師と一緒に、安全に通行する。 ・信号機や安全に通行する場所があることに気付く。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	1	(知及技) 簡単なきまりについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとする ことができる。 (学・人)生活の流れに即して、教師と一緒ににきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)学校生活の簡単なきまりに関わる学習活動を通して、自発的にきまりを守って行動したり、習慣化したりしようとしている。	【ケ きまり】 ○どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり 「どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり」	【交通安全のきまり】 ・交通における簡単なきまりを知って守る。 【マナー】 ・身近で簡単なマナーに気づき、それらを守って行動しようとする。
	3	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにおける社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする ことができる。 (学・人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにおける社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにおける社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 ○わたしがのこころ 「がっこうたんけんをしよう」 ○どんなおみせが あるかな 「いってみよう」	【学校】 ・教室の場所や用途に関心をもつ。 ・校内探検などを通して、自分の学級や図書室などに関心を持ち、その場所や名称を知る。 【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】 【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする ことができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「なつ」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つめる。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思判表力)教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをする ことができる。 (学・人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気づき、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わる ことができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表)教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをする ことができる。 (主学) 小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気づき、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○ありがとう、ごめんなさい 「ありがとう」 「ごめんなさい」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする ことができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつ ことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにおける生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにおける生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「あき」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つめる。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。

2 学 期 1 4	3	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主・学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気づき、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 ○ゴムであそぼう 「ゴムであそぼう」	【ゴムの力の動き】 ・ゴムの力によって物が動く様子を見る。 ・ゴムの力が物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム（紙コップ、水風船）等
	2	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。 (思・判・表)教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをしてしようとするができる。 (学・人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気づき、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わるができる。	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもとうとしている。 (思・判・表)教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主・学)小さな集団での学習活動を通して、自分や身の回りの人の存在に気付く、初歩的な関わりを経験することで、関心や意欲をもって人との関わりをもとうとしている。	【オ 人との関わり】 ○だれか きたよ 「でんわがなっているよ」 「おきやくさんがきたよ」	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える対応】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	1	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表)身の回りの安全に気づき、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身の回りの安全に気づき、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主・学)危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を通して、状況に応じて安全な行動をとろうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【イ 安全】 ○ひなんくんれん 「じしん」	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	2	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 (学・人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主・学)家族や近隣に関心をもつこと及び公園等の公共施設に関わる学習活動を通して、身の回りにある社会の仕組みや公共施設について主体的に関わろうとしている。	【コ 社会の仕組みと公共施設】 ○どんなおみせが あるかな 「のってみよう」	【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】 【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】
	2	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主・学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 ○かいもの 「かいものをしよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
3 学 期 8	3	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 (学・人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主・学)身の回りの生活の中で、物の重さに気付くことなどに関わる学習活動を通して、見えないものの仕組みや働きに気づき、伝えたり、関心をもったりしようとしている。	【シ ものの仕組みと働き】 ○かぜとあそぼう 「かぜとあそぼう」	【風の動き】 ・風によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・風揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
	4	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 (学・人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主・学)教師と一緒に自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を通して、身の回りにある生命や自然について主体的に関わろうとしている。	【サ 生命・自然】 ○きせつと あそぼう 「ふゆ」 ○きせつと あそぼう 「きせつと ずかん」	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに関心。
	1	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 (学・人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもとうとしている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主・学)簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を通して、その価値や意味にも関心をもち、生活に生かそうとしている。	【ク 金銭の扱い】 ○じどうはんばいき 「せんせいとやってみよう」	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
105		小学部2学年		国語☆	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関りの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	70	(知及技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	おはなしの世界 ・絵本 ・パネルシアター ・ペープサート 等	○様々な「おはなし」の読み聞かせに注目し、絵本、紙芝居、ペープサート、写真等に興味をもつ。 ○『読書月間』等の機会を活用して、自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	7	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動しようとしている。 (主学)言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	しるし	○場面の構成：廊下に貼ってある体育館の絵カードや「→」の記号を見ながら、体育館へ移動する。体育館へ到着し、遊ぶ。絵カードに従って片づける。先生が「○」で評価する。 ○登場人物を真似て教師とやりとりをする、絵カード等を選択して自分の意思を伝える等の活動へつなげていく。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
1学期	7	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	ほっとけーき	○『おいしそうに出来上がったホットケーキ』→『フライパンを用意したり、卵を割ったり、粉をかき混ぜたりしている様子』→『ホットケーキが焼きあがる様子』→『出来上がったホットケーキをテーブルに運ぶ様子』 ○絵を通して、伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表したり、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現する。
	7	(知及技)遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣しようとしている。 (主学)言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	まほうのはこ	○魔法の箱：魔法の箱に向かって、魔法使いがステッキを持って掛け声を出すと、箱のふたが開いて、小さな子供が顔をのぞかせる。 ○りんご・バナナ・いろいろな果物：魔法の箱から小さな子供と共にりんごやバナナが現れる。箱の中には、次に出てくる果物の色の服を着た子供が顔をのぞかせている。 ○ソフトクリーム：魔法の箱から大きなソフトクリームが出てくる。 ○いろいろなお菓子：テーブルの上にくさんのお菓子が乗っていて、魔法使いがソフトクリームをおいしそうに食べている。教師や友だちと一緒にお菓子を食べる模倣をしてみたり、「モグモグ」「おいしい」等と言葉で自由に表現する。自分の好きな食べ物を出してみたいと想像して表現したり伝えたりする。
2学期	7	(知及技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目することができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表)教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目しようとしている。 (主学)言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	あなたはだあれ	○男の子が野原で、犬、猫、豚、あひる、牛の順に出会い、最後に皆で並んで歩いていく。 ○シルエットの動物が何であるか、絵に注目して名称を当てる。難しければ、ヒント(鳴き声など)を提示してイメージを膨らませる。

3 学 期	7	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとすることができる。 ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知及技) ・いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ろうとしている。 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (思判表力) ・文字に興味をもち、書こうとしている。 ・言葉で表すことやそのよさを感じながら言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・かいてみよう1 ・かいてみよう2 ・かいてみよう3 ・かいてみよう4	文字を書くことへの興味・関心を育てつつ、筆記具の正しい持ち方を知ったり、運筆など筆記具の扱いに慣れて、いろいろな線を書いたりすることができるようになるような活動を行う。 ・かいてみよう1：黒板にいろいろな線を書いて楽しむ。画用紙にクレヨンやフェルトペンで線を引いたり、絵を描いたりして楽しむ。 ・かいてみよう2：魚、葉っぱ、いちご、みかんにフェルトペンや色鉛筆で塗り絵をする。 ・かいてみよう3：大小の雲と、大小の傘の絵。雲と傘の間に雨が降っているのを模倣して、縦方向の線をイメージして書く。 ・かいてみよう4：蛇口につながったホースとプールの絵。ホースの先からプールに向かって、横方向の線をイメージして書く。 ・児童の実態に応じて、毛筆を使つての書き初め体験をする。
留意点 引継ぎ等	○児童の実態に応じて、生活科と関連付けながら暑中見舞いや年賀状に取り組む。				

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	小学部2年		算数☆

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 （思・判・表） 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 （学・人） 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	（知・技） ・ものともとのとを対応させて配ることができる。 （思・判・表） ・ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。 （学・人） ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・ものともとのとを対応させて配ろうとしている。 （思・判・表） ・ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりしようとしている。 （主・学） ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは、どれでしょう ・しぶんのまーくは、どれでしょう ・みんなに くばりましょう	【おなじまーくは、どれでしょう／しぶんのまーくは、どれでしょう】 ・特別な物（自分のもの）を他と見分ける。 【みんなに くばりましょう】 一人に一つのもの、一つのものに他の一つのものに対応する。
	18	（知・技） ・分割した絵カードを組み合わせることができる。 ・関連深い絵カードを組み合わせることができる。 （思・判・表） ・ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。 （学・人） ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・分割した絵カードを組み合わせようとしている。 （思・判・表） ・ものともとのとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりしようとしている。 （主・学） ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・あわせましょう①② ・なかまをあつめましょう	【あわせましょう①②】 切り離した絵のそれぞれの絵カードから情報を読み取り、読み取った情報を基に、一枚の絵を完成させる。 【なかまをあつめましょう】 身近でなじみのある食べ物を集める、動物を集めるなど、指定された属性の中で、関連深い絵カードを集める。
2学期	21	（知・技） ・形が同じものを選ぶことができる。 （思・判・表） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。 （学・人） ・図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・形が同じものを選ぶようとしている。 （思・判・表） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つようとしている。 （主・学） ・図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・おなじかたちを、みつめましょう ・おなじかたちを、えらびましょう	【おなじかたちを、みつめましょう】 ①形を捉える。 ②形が同じであると認識する。 【おなじかたちを、えらびましょう】 ①形を捉える。 ②形が同じであると判断する。 ③同じ形を選択する。
	21	（知・技） ・目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。 ・5までの範囲で数唱をすることができる。 ・3までの範囲で具体物を取ることができる。 （思・判・表） ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 （学・人） ・数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。 ・5までの範囲で数唱をしようとしている。 ・3までの範囲で具体物を取ろうとしている。 （思・判・表） ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすようとしている。 （主・学） ・数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち、に、たくさん ・いち、に、さん、し、ご ・とりましょう	【いち、に、たくさん】 ①左右の手に一つずつ具体物を持ち、それでもまだ両手には持てないほどの具体物がある状況、自分の手では持てないほどの量があることを体感する。 ②「1個、2個、たくさん」と表現することに気付く。 【いち、に、さん、し、ご】 5までの範囲で数を数える。 【とりましょう】 3までの数の具体物を取る。
3学期	18	（知・技） ・似ている二つのものを結びつけることができる。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。 ・同じもの同士を集合作りをするすることができる。 （思・判・表） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つことができる。 ・ものともとのとに気付き、日常生の中で関心をもつことができる。 （学・人） ・図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・似ている二つのものを結びつけようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせようとしている。 ・同じもの同士の集合を作ろうとしている。 （思・判・表） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つようとしている。 ・ものともとのとに気付き、日常生の中で関心をもつようとしている。 （主・学） ・図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	C図形ア ・にているものを、みつめましょう ・そらえましょう ・おなじかたちを、あつめましょう	【にているものを、みつめましょう】 ①形をおおまかに捉える。 ②形が同じであるか、同じでないかを区別する。 ③似ていることを捉える。 【そらえましょう】 ①様々な刺激の中から、ものともとのとを関連付けるために必要な情報として、形を取り出す。 ②仲間であることを判断する。 ③対にすることでそれを表現する。 【おなじかたちを、あつめましょう】 ①形に着目する。 ②形を捉える。 ③同じ形と認識する。 ④同じ形を選択し、一つのところに集める。
	9	（知・技） ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くことができる。 （思・判・表） ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 （学・人） ・数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	（知・技） ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くことができる。 （思・判・表） ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすようとしている。 （主・学） ・数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・まーくに、あわせて、ならべましょう ・せんぶ「さん」	【まーくに、あわせて、ならべましょう】 ポウリングのピンを準備する場面を捉え、マークを手掛かりに、必要な数のピンを置く（配る）。 【せんぶ「さん」】 様々な具体物やイラストなどを操作する、指差などの動きを伴う活動を通して、形や色が違う具体物でも数が変わらないこと、間隔や置き方などの位置が変わっても数が変わらないことに気付く。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年		音楽☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながら技能を身に付けるようにする。（小Ⅰ段階） （思判表力）音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	（知及技）表現する音や音楽に気付くことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆ちゅうりつが、ことりのうた、こいのぼり、あ・い・う・え・おーっ！、かたつむり、おばけなでないさ、たなばたさま、はなび、うみ・学年の歌、歌歌他 【たのしいいちにち(年間を通して)】 ☆おひさまきらきら、せんせいとおともだち、はをみがきましょう、おかたづけ、さよならあしたもね他	・校歌や児童会の歌など、わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	6	（知及技）音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【おととあそぼう】 ☆がっきのおとあて、すずのきょく、まじくまんぼ、すてきなは一が、かばさをならそう、いっしょにならそうよ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	（知乃技）音や音楽を感じて体を動かすことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【てあそびをしよう】 ☆あたま かた ひざ ぼん、むすんでひらいて、ばんだ うさぎ こあら、まあるいたまご、のねずみ、とんとんとんひげじいさん、おおきなわ ちいさなわ 【むかいあつたのしく】 ☆はらバこあむし、ゆらゆらぼーと ・ミュージックケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	5	（知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）聴こえてくる音や音楽に気付いている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けている。 （主学）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう①】 ☆はたらくくま、おもちゃのへいたい ・月桃、いのちのリレー他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2 学期	6	（知及技）表現する音や音楽に気付くことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくうたおう】 ☆どんぐりころころ、まつぼっくり、とんぼのめがね、おやつたーべよ ・学年の歌、歌歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	（知及技）音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたって おどって①】 ☆ながぐつまーち、ふりふりだんす他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	（知乃技）音や音楽を感じて体を動かすことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとすることができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 （主学）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【どうぶつになって】 ☆おうま、ぞうさん、くまさんくまさん 【みんななかよく】 ☆はなのおやこ、はっぴーばーす でー、てをつなごう、ばすごっこ 【むかいあつたのしく】 ☆ばんやさんにおかひもの ・ミュージックケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	6	（知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。（小Ⅰ段階） （思判表力）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。（小Ⅰ段階） （学・人）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。（小Ⅰ段階）	（知・技）聴こえてくる音や音楽に気付いている。 （思・判・表）音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けている。 （主学）音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【みみを すまそう②】 ☆がはっと、おどるこねこ他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。

3 学 期	6	(知及技)表現する音や音楽に気付くことができる。 (小1段階) (思判表力)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小1段階) (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとするすることができる。(小1段階)	(知・技)音や音楽を感じて声を出す技能を身に付けている。 (思・判・表)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【たのしくたおう】 ☆こんこんしゃんのうた、まめまき、はなのかのん、ばっばっばたらかのうた、 ・学年の歌、校歌、卒業式の歌他	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。
	6	(知及技)音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けることができる。(小1段階) (思判表力)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小1段階) (学・人)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)音や音楽を感じて楽器の音を出す技能を身に付けている。 (思・判・表)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【がっきをならそう】 ☆がっきをならそう、へい!たんがりん、おおきなたいこ他	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	6	(知乃技)音や音楽を感じて体を動かすことができる。(小1段階) (思判表力)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小1段階) (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとするすることができる。(小1段階)	(知・技)音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付けている。 (思・判・表)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表している。 (主学)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【うたっておどって②】 ☆ちえっちえっこり、だるまさん、はたけのぼるか、ちいさいうみ おおきいうみ 【わらべうた】 ☆おちたおちた、なべなべそこぬけ、おちゃをのみに 【むかいあつたのしく】 ☆びすけつとをやきましょう ・ミュージックケア他	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かすことや、自由な表現で踊る。
	5	(知及技)聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。(小1段階) (思判表力)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。(小1段階) (学・人)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。(小1段階)	(知・技)聴こえてくる音や音楽に気付いている。 (思・判・表)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けている。 (主学)音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【えをみておはなしをきこう】 ☆すてきなぼうしやさん、3びきのやぎのらがらどん 【みみをすまそう③】 ☆うみのみえるまち、そらとがたつきゅうびん、やさしさにつつまれたなら他	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年 (Ⅱ課程)図画工作 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	学年 名前等		小1段階

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできる。 (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創出しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 写し方を工夫し、色々な形を見つけることができる。 (思判表力) 形を写しながら、思いついたことを試すことができる。 (学・人) 身体全体で形を楽しく写すことができる。	(知・技) 写し方を工夫し、色々な形を見つけようとしている。 (思・判・表) 形を写しながら、思いついたことを試そうとしている。 (主学) 身体全体で形を楽しく写している。	描画 ○ぬたくり	・道具を用いて自由にぬたくりをする。 〈道具:ローラー、はけ〉 〈材料:画用紙、色画用紙、模造紙〉 (教科書:ずがこうさく1・2 上 24、25 参考)
		(知及技) 色々な形を見つけ、作り方を工夫することができる。 (思判表力) 紙粘土に触れながら、作りたい形を思いつくことができる。 (学・人) 紙粘土の感じを身体全体で楽しむことができる。	(知・技) 色々な形を見つけ、作り方を工夫しようとしている。 (思・判・表) 紙粘土に触れながら、作りたい形を思いついたりしている。 (主学) 紙粘土の感じを身体全体で楽しもうとしている。	造形あそび ○粘土であそぼう ・粘土で切る、こねる、伸ばす ・にぎにぎねんど	・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する。 ※母の日、父の日等のプレゼントにつなげる 〈道具:のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料:紙粘土〉 (教科書:ずがこうさく1・2 上 P18、19 参考)
		(知及技) 色々な形や色に気付き、材料や用具を使うことができる。 (思判表力) 描きたいものを思い付いたり、工夫して表したりすることができる。 (学・人) 思い付いたものを楽しく描くことができる。	(知・技) 色々な形や色に気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) 描きたいものを思い付いたり、工夫して表したりしようとしている。 (主学) 思い付いたものを楽しく描こうとしている。	描画 ○ぐるぐる、なみなみを描いて見よう ・好きな色、線を探そう	・好きな材料を使って、ぐるぐるの線や波線を描いてみる。 ・ぐるぐる、なみなみの言葉や動きなどと共に楽しく活動する。 〈道具:ペン、マジック、クレヨン等〉 〈材料:画用紙、模造紙等〉 (教科書:ずがこうさく1・2 上 P10、11 参考)
		(知及技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付くことができる。 (思判表力) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取ることができる。 (学・人) 色や形の見え方を見つけることを楽しむことができる。	(知・技) 紙を重ねてできる新しい色や形に気付いている。 (思・判・表) 紙を重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取っている。 (主学) 色や形の見え方を見つけることを楽しんでいる。	鑑賞 ○いろの見え方むげんだい	・透明な折り紙を重ねて、色や形の変化を鑑賞する。 ・好みの色や形を探して楽しむ。 (道具:のり、はさみ等) 〈材料:白画用紙、ラミネートフィルム、透明折紙〉 (教科書:ずがこうさく1・2 下 P28、29 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、見る楽しさを味わい、自分の見方や感じ方を広げることができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、見る楽しさを味わい自分の見方や感じ方を広げようとしている。	ふりかえり・鑑賞 ○見てみよう ・ぬたくり ・粘土であそぼう ・描画	・自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。

2 学期	28	(知及技) 身の回りの自然物などに触れながら描く、切る、塗る、貼るなどを行うことができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) はさみを用いて、線の上を一回切りや連続切りしている。 (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもっている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	造形遊び ○見てみよう触ってみよう ・「はさみでちょっきん」 ・「つないでつるして」	・はさみを使って連続して切ったり、線に沿って切ったりする。 ・切ったものをつなげたり、つるしたりする。 (道具:のり、はさみ、テープ等) (材料:新聞紙、折り紙、色画用紙等) (教科書:ずがこうさく1・2 上 P12,13 下P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりすることができる。 (学・人) 風に揺れる飾りを作ることを楽しむことができる。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思・判・表) 揺れる形を見つけ、工夫して作ったり、試しながら揺れると楽しい飾りを考えたりしている。 (主学) 風に揺れる飾りを作ることを楽しんでいる。	工作 ○ひらひら ゆれて	・風に揺れると楽しい飾りを作る。 ・揺れてきれいな色や形を探して楽しむ。 (道具:のり、はさみ、テープ、マジック等) (材料:透明なゴミ袋、ハンガー、画用紙、シール、カラーセロハン等) (教科書:ずがこうさく1・2 上 P32、33 参考)
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとしている。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現している。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○色々な技法で描いてみよう ・「ビー玉を転がして描いてみよう」	・段ボールを揺らしながら、転がるビー玉の動きに注目し、できる模様を楽しむ。転がるビー玉によって引かれる線や、絵の具の色を変え交じり合う様子も楽しむ。 (道具:絵の具、ビー玉等) (材料:画用紙、色画用紙、段ボール箱、和紙、浅いバット等)
		(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る (工作) ○たくさんあつめて ・「いっぱいいつかってなにしよう」	・箱をたくさん集めてどんなことができるか、どんな形になるか、表現する。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 (道具:のり、はさみ、ボンド、テープ等) (材料:同じ形の箱等) (教科書:ずがこうさく1・2 上 P38,39、P44、45 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。	ふりかえり・鑑賞 ○見てみよう ・色々な技法で描いてみよう ・たくさんあつめて ・見てみよう触ってみよう	・自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しむことができる。
3 学期	18	(知及技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりすることができる。 (思判表力) 材料などから、表したいことや思いついたことを表現することができる。 (学・人) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとすることができる。	(知・技) 身近な材料や用具を使って、切ったり、貼ったり、つぶしたり、重ねたりしている。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとしている。 (主学) 進んで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る(工作) いっぱい使って何しよう (身近にたくさんあるものを活用する)	・たくさん材料に触れてあそんだり、つくったりする。 (道具:のり、はさみ、テープ等) (材料:ビニール、箱、その他) (教科書:ずがこうさく1・2 上 P38、39 参考)
		(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身の回りにあるものなどを見ることができる。 (学・人) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 身の回りにあるものなどを見ている。 (主学) 作品を通して、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。	ふりかえり・鑑賞 ○見てみよう ・作品鑑賞 ・卒業式壁面	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。 ・自分の作品を発表したり、友達の作品を鑑賞したりする。
留意点 引継ぎ等		描画(絵に表す活動) 作る(立体に表す活動、工作に表す活動) 鑑賞(造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動)			

1

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部2年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 （思判表力）体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 （学・人）簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	15	（知及技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。 （思判表力）音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人）簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしてすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かそうとしている。 （思・判・表）音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・げんきつき（リトミック）	・音楽に合わせての表現する運動遊び。 （うしろ歩き、あひる歩き、馬歩き、トンボ、けんけん、くも歩きギャロップ、スキップ） ・教師の言葉や笛の合図を聞いたり、曲の変化に合わせて表現する。
	15	（知及技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。 （思判表力）走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさを表現することができる。 （学・人）簡単な合図に従って、走・跳の運動遊びをすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 （思・判・表）走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	からだをうごかそう ・げんきつき（10分走） 記録会に参加しよう	・決まった方向に、一定の時間や距離を教師と一緒にまたは距離を取りながら、ゆっくり走ったり、早く走ったりする運動遊び。 ・記録会に参加し、教師と一緒にまたは1人で走る。
	5	（知及技）教師や友達と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 （思判表力）健康な生活に必要な事柄に気づき、教師に伝えることができる。 （学・人）健康な生活を送ることの大切さを知ることができる。	（知・技）教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 （思・判・表）健康な生活に必要な事柄に気づき、感じたことを他者に伝えようとしている。 （主学）健康な生活を送ることの大切さを知ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	てあらい・うがいはなぜするの？ おなかやあたまがいたいときは、せんせいはなそう	・手洗い・うがいに興味をもつように、「咳」「風邪」などのことばに触れる。 ・家庭との連携を図り、帰宅時などの手洗いを習慣化できるようにする。 ・自らの体調について意識し、体調の悪いときやけがをして痛みを感じていることを教師などに知らせる。 ・体調を言葉や絵カード、サインなどを用いて確認したり伝えたりする。
1学期	6	（知及技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 （思判表力）手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人）簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとしてすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 （思・判・表）手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	いろいろなうごきにチャレンジしよう ならんでみよう、あつまってみよう	・這う、またぐなどの運動遊び。 ・座る、しゃがむ、階段を昇ったりする運動遊び。 ・しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたり、転がったりするなどの運動遊び。 ・手足を伸ばしたり脚を前後左右に開いたり腕を振ったり回したりする運動遊び。 ・離れた場所にいる教師の言葉や笛の合図を聞いて、教師のもとに集まる運動遊び。
	7	（知及技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びができる。 （思判表力）水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人）簡単な合図や指示に従って、水遊びをすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びをしようとしている。 （思・判・表）水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	みずのなかでたのしもう	・プールの周りでじょうろなどを使って、プールに慣れるような水遊び。 ・水の抵抗を感じながら歩いたり走ったりする水遊び。 ・道具を浮かべたり、沈めたりする遊び。 ・水をすくって自分にかけたり、友達にかけたりする水遊び。 ・プールサイドを走らないことや一人で入水しないなどの安全の心得につながらるようにする。 ・教師の合図に従って、プールから出ること。

2 学 期	7	(知及技) 教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	いろいろなごきにチャレンジしよう かけっこ	・一定の距離を早く走る運動遊び。 ・ボールをつないだり、カラーコーンを置いて目印をつくり、直線を走る運動遊び。 ・20mほどの直線を一人や友達と走る運動遊び。 ・20m先に置かれている小さなフープを取って戻ってくる運動遊び ・教師の合図や指示に従って、スタートする。
	7	(知及技) 教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	サーキット	・個々の状態に応じた高さの跳び箱を登ったり、ジャンプして降りたりする運動遊び。 ・フープを並べ、グーパーやケンケンパーをする運動遊び。 ・トンネルをくぐる運動遊び。 ・一つのミニハードルを跳び越えたり、幾つか並べて連続して跳んだりする運動遊び。 ・キャスターボードを使って、手や腕の力で前へ進む運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、器械・器具を使っての運動遊びを始めたり止めたりする。
3 学 期	8	(知及技) 教師や友達と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	ボールとなかよくなろう ・ボール転がし ・的あて ・玉入れ	・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、友達や教師に手渡したり、転がしたり、捕まえたりする運動遊び。 ・サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、的に当てる運動遊び。 ・お手玉、サッカーボール、バランスボール（小～中の大きさ）を使って、個々の状態に応じた高さや枠の大きさに適した玉入れをする運動遊び。 ・教師の合図を聞いて、ボールを使った運動遊びを始めたり止めたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		小学部2学年			
中心 目標		◎人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ○人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。 ○認められる行動やそうでない行動を判断し、望ましい行動をしようとする意欲をもつ。など			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとする気持ちをもつ。	①伸び伸びと身体を動かそうとすることで、素直に行動しようとしている。	A【正直、誠実】 ○新しい学級	○新たな学級での学習や生活等を通して、伸び伸びと身体を動かそうとすることができるようにする。
	2	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとする気持ちをもつ。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとする気持ちをもつ。	①教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、みんなで楽しく過ごそうとしている。 ②他の子供の存在に気付き、興味や関心をもつことで、関わろうとしている。	C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ○新しい学級	○新たな学級での学習や生活等を通して、教師との触れ合いや関わりに心地よさを感じ、安心感をもって過ごしたり、他の子供の存在に気付き、興味や関心をもったりすることができるようにする。
	2	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとする気持ちをもつ	①身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付き、よいことをしようとしている。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ○よいことわるいこと	○身近な教師や友達との関わり等を通して、身近な大人の態度や表情等から、してよいことやよくないことがあることに気付くことができるようにする。
	2	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ○みんなでなかよく①	○教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ○だいすきだよ①	○母の日や父の日に向けての学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ○たいせつないのち	○慰霊の日に向けての学習等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ○ここちよさをかんじよう①	○着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ○しぜんとなかよく①	○野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
2 学期	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ○あいてのきもち	○友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近な大人の存在や他の子供の感情に気付くことができるようにする。
	2	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ○わたしのがんばったこと、したいこと①	○前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていることを感じるができるようにする。
	2	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとする気持ちをもつ。	①家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことで、家族を大切にしようとしている。	C【家族愛、家庭生活の充実】 ○だいすきだよ②	○敬老の日に向けた学習等を通して、家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	1	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ○しぜんとなかよく②	○野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	2	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとする気持ちをもつ。	①身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけようとしている。	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ○自分からやってみよう	○教師や友達との学習や遊び等を通して、身体を動かしたり声を出したりして自分から働きかけることができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ○みんなでなかよく②	○教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。

	2	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとする意欲をもつ。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとする気持ちをもつ。	①身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表そうとしている。 ②他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴しようとしている。	B【親切、思いやり】 ○ありがとう	○勤労感謝の日に向けた学習等を通して、身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちを表したり、他の子供の感情に気付き、感じ取って共鳴したりすることができるようにする。
	1	①清潔になることの心地よさを感じること、清潔にしようとする気持ちをもつ。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとする気持ちをもつ。	①清潔になることの心地よさを感じることで、清潔にしようとしている。 ②欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことで、落ち着いて行動しようとしている。	A【節度、節制】 ○こちよさをかんじよう②	○着替えや排泄等を通して、清潔になることの心地よさを感じるたり、欲求が満たされ、安定感をもって過ごしたりすることができるようにする。
3 学 期	2	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとする気持ちをもつ。	①さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことで、それらに興味をもって接しようとしている。	D【生命の尊さ、自然愛 護、感動・畏敬の念、よりよく生きる喜び】 ○しぜんとなかよく③	○野外活動等を通して、さまざまなものを見たり感じたりして心を動かすことができるようにする。
	3	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとする気持ちをもつ。	①身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことで、なかよくしようとしている。	B【友情、信頼】 ○みんなでなかよく③	○教師や友達との学習や遊び等を通して、身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができるようにする。
	3	①身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることで、新たな目標へ挑戦しようとする意欲をもつ。	①身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることで、新たな目標へ挑戦しようとしている。	A【個性の伸長】 ○わたしのがんばったこと、したいこと②	○1年間の振り返りや進級に向けての学習等を通して、身近な大人に、自分が受け入れられていると感じることができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部2年(Ⅱ課程) 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部2年		

目標:(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		○友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けたりすることができる。 ○友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 ○集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を身に付けることができる。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	13	○新しい教師や友達と、仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	○新しい先生や友達と、仲良くがんばろうとしている。	【入学おめでとう】	○学級開きや学年開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良くがんばる気持ちを持つ。
		○学級の目標や1学期の個人目標を考えることができる。	○学級の目標や1学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○学級の目標や1学期の個人目標を立てる。
		○図書室での約束や借り方などを知り、利用することができる。	○図書室での約束や借り方などを知り、利用しようとしている。	【図書室の利用】	○図書室での約束や借り方などを知り、図書室を利用する。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学習に関する事前事後学習】	○交流学習を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【1学期を振り返ろう】	○1学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○夏休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○夏休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【夏休みに向けて】	○夏休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持とうとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
		○2学期の個人目標を考えることができる。	○2学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○2学期の個人目標を立てる。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 ○遠足的行事 ・校外学習など平素と異なる活動を通して、公衆道徳などの体験を積む。

2 学 期	14	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学习に関する事前事後学習】	○交流学习を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【2学期を振り返ろう】	○2学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○冬休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○冬休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【冬休みに向けて】	○冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つようとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。
3 学 期	8	○3学期の個人目標を考えることができる。	○3学期の個人目標を考えようとしている。	【目標を立てよう】	○3学期の個人目標を立てる。
		○児童会について知り、活動への関心を持つことができる。	○児童会について知り、活動への関心を持つようとしている。	【みんなに紹介しよう】	○児童会について知り、活動への関心を持つ。 ○学校行事の計画の一部を担当したり、運営に協力したりする。
		○友達や教師と一緒に学校行事に取り組むことができる。	○友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	【学校行事に関する事前事後学習】 ○儀式的行事 ○健康安全的行事 ○遠足的行事	○儀式的行事 ・始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 ○健康安全的行事 ・身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 ・避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	○地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げようとしている。	【校外学習に関する事前事後学習】	○校外学習を通して、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		○地域の友達と交流して、一緒に活動することができる。	○地域の友達と交流して、一緒に活動しようとしている。	【交流学习に関する事前事後学習】	○交流学习を通して、地域の学校の友達と一緒に活動する。
		○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ることができる。	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返ろうとしている。	【3学期を振り返ろう】	○3学期の学習について目標を達成できたか振り返る。
		○春休みの過ごし方や宿題等について知ることができる。	○春休みの過ごし方や宿題等について知ろうとしている。	【春休みに向けて】	○春休みの過ごし方や宿題等について知る。
		○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つことができる。	○自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つようとしている。	【誕生会】	○誕生会を通して、自分や友達の誕生日を祝い、感謝の気持ちを持つ。

小学部(Ⅱ課程)

第3学年

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程）生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
245		小学部3年			せいかつ☆☆
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 （学・人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	60	（知及技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとするができる。 （学・人）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 （学・人）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア 基本的な生活習慣 ○じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しよくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	45	（知及技）身近な日課・予定について知っていることができる。 （思判表力）身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。 （学・人）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）身近な日課・予定について知っている。 （思・判・表）身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 （主学）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ 日課・予定 ○つぎのじゆぎょうはなにか ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのか分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	35	（知及技）簡単なきまりのある遊びについて知っていることができる。 （思判表力）身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 （学・人）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）簡単なきまりのある遊びについて知っている。 （思・判・表）身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 （主学）自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ 遊び ○いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 （おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど） 【遊具の片付け】 ・友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	10	（知及技）簡単な手伝いや仕事について知っていることができる。 （思判表力）教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 （学・人）身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）簡単な手伝いや仕事について知っている。 （思・判・表）教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 （主学）身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	（知及技）簡単な手伝いや仕事について知っていることができる。 （思判表力）教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。 （学・人）身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）簡単な手伝いや仕事について知っている。 （思・判・表）教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 （主学）身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
13	（知及技）簡単なきまりやマナーについて知っていることができる。 （思判表力）身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。 （学・人）身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技）簡単なきまりやマナーについて知っている。 （思・判・表）身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 （主学）身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○しよくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。	

1 学 期	13	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする ことができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
	15	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする ことができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。(晴れ、くもり、雨) ・昼と夜の違いに気づく。(昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど)
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○あんぜんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具(はさみ、穴開けパンチ等)の安全な使い方を知る。
	2	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする ことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものともだちのもの ・きまったらばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする ことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり ○せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	5	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○きをつけてあるこう ・おうだんはどう ・ふみきり ○さいがいや じこから じぶんをまもう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれ るところ ・こんなときどうする	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具(はさみ、穴開けパンチ等)の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方(横断歩道、歩道、手を上げる)が分かる。
	2	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする ことができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう	【動物の飼育・植物の栽培】 ・動物園等(子どもの国等)で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。(キャベツ、あさがお等)
	4	(知及技)身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをする ことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な人との接し方などについて知っている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをして いる。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ○ごめんなさいをつたえよう ○せんせい・ともだち ・あいさつをしよう ・つたえよう	【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりする。 ・教師等に見聞きたことや遊んだことを話す。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする ことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○ちいきのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。

2 学 期	1	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近にあるものや自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○もののおもさ ・おもさくらべ (もつ)	【物と重さ】 ・物には重い物と軽い物があることに気付く。 ・身近にある物を実際に持って比べる。(例:水の入ったバケツ、厚さの違う本、机と椅子、量の違うビー玉等)
	1	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク 金銭の扱い ○おかねはたいせつ ・おこづかいをもらったら	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○わたしのまわりのひとたち ・あいにくい ・なにをするじかんかな ○いってみよう ・としょかん	【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組みようとしてすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組みようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○さいがいや じこから じぶんをまもろう ・じしんがきたら	【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害(地震、火事)時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・自分たちの生活を見守り、事件や事故から自分たちを守ってくれる人や場所(交番、消防署、こども110番、地域パトロール等)があることを知る。
	2	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしてすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう ○いっしょにしよう ・かかりをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	3	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク 金銭の扱い ○かきもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいてみよう ・なんていえばいいかな	【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。
3 学 期	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・かぜのちから	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風車、風鈴、凧、おもちゃのヨット等
	3	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・ゴムのちから	【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒口ケツ、風船、トランポリン等
	4	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしてすることができる。 (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部 3学年		国語☆☆

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 （思・判・表）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	30	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろな話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、図書室を利用したり、自分の好きな絵本を探したり見たりし、本に親しむ機会を設定する。 ・暑中見舞いや年賀状を書く。
1学期	10	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思・判・表）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思・判・表）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	しるしをみつけよう	・日常生活の中で身近に見られる標識などを取り扱う。 ・標識などに関心を持つとともにその意味を言葉と結び付けながら考えたり、表された意味に応じた行動をしようとする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	18	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう① ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。
	10	（知・技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思・判・表）体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 （思・判・表）体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あつめてみよう ・ばーてい ・うみ ・えんそく	・パーティ：誕生会やお楽しみ会などパーティーの場面。 ・海：海水浴やプールでの活動。 ・えんそく：遠足や校外学習など。
2学期	17	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをかいてみよう① ・ひらがな ・なまえ	・ひらがな：「し」「つ」、「い」「こ」、正しい鉛筆の持ち方、正しい姿勢。 ・なまえ：自分の名前を平仮名で表すことができることを知り、縦書き、横書きで正しい句書きができるようにすること。
	15	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 （主・学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう② ・てんてん ・にているもじ	・てんてん：平仮名の清音と濁音を読み、絵と平仮名を結びつける。 ・にているもじ：平仮名の似ている文字「へ」「く」「に」「は」「わ」「ね」「め」「ぬ」。

2 学 期	12	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。 (思判表力) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しもうとしている。 (思・判・表) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おおきなだいこん	・児童が役割を決め、劇遊びをする。
3 学 期	12	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	うさぎとかめ	・言葉の響きやリズムに親しみながら、好きな台詞や場面に注目したり、挿絵やうさぎとかめのやり取りと手がかりにして、うさぎとかめの物語の大体を捉えたりする。
	16	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをかいてみよう② ・たてがき よこがき ・じこしょうかい ・えにつき ・てがみ ・かーど	・たてがきよこがき：縦書きや横書きによって示された平仮名の見方に慣れることや書くこと。 ・じこしょうかい：自分の好きなものを思い浮かべたり選んだりしながら、平仮名を用いて表す。 ・えにつき：生活の中の出来事を想起し、平仮名を用いて書いて表す。 ・てがみ：簡単な手紙文を書く。 ・かーど：誕生日のカードや母の日のカード、お礼状など短い文で気持ちを伝える。 ・毛筆を使つての書初めを体験する。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程）算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	小学部3学年		算数☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 （思判表力） 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 （学・人） 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技）二つの数を比べて数の大小が分かる。 （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 （学・人）数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）二つの数を比べて数の大小を理解しようとしている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 （主学）数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：くらべてみよう①②③④	・くらべてみよう①：身近にあるものの数を比べる。3までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう②：5までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③：10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④：数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	12	（知及技）個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。・0の意味について分かる。 （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 （学・人）数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）個数を正しく数えたり書き表そうとしている。・0の意味について分かるようとしている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 （主学）数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：かーどづくり①②③ 10までのかずみえないものをかぞえる 10までのかずうごきをかぞえる ・10までのかず0のりかい	・かーどづくり①：1～10までの数字の正しい読み方を身に付ける。指でなぞり書きをする。数字を書く。 ・かーどづくり②：動物の数を数字で書き入れていく。 ・カードづくり③：数字カードを見て、カードに書かれた数字の数だけおはじきを並べる。 ・10までのかずみえないものをかぞえる：太鼓の音を鳴らした回数数を数える。 ・10までのかずうごきをかぞえる：縄跳びを跳んだ数を数える。 ・10までのかず0のりかい：空位を理解する初期段階。一つも「ない」が分かり、それを「0」と表記する。
	11	（知及技）身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 （思判表力）身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 （学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 （思・判・表）身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 （主学）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：まるさんかくししかく②③④	・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。
2学期	15	（知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 （主学）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：なんばんめ①②③	・なんばんめ①：順序数としての数詞や数詞を使った表現（〇ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ②：10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現（〇ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ③：物の位置など方向性がきまつていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。
	15	（知及技）重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・広い・狭いなどの用語が分かる。 （思判表力）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）重さ、広さなどの量の大きさを理解しようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 （思・判・表）重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 （主学）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：おもい、かるいひろい、せまい	・おもい、かるい：物を持ち上げたり、運んだり、引っ張ったりする体験の中で感覚により「重い」「軽い」を捉える。 ・ひろい、せまい：広さの異なるシートに座ったり荷物を広げたりして「広い」「狭い」を感覚的に捉える。

	10	(知及技) 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア： どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつい、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう	・どっちがおもい、どっちがかるい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「軽い」「重い」が分かる。 ・どっちがひろい、どっちがせまい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「広い」「狭い」が分かる。 ・どっちがあつい、どっちがうすい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「厚い」「薄い」が分かる。 ・どっちがふかい、どっちがあさい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「深い」「浅い」が分かる。 ・くらべてみよう：積み木を並べたり積み上げたりする活動の中で、長さや高さ、広さなどの適切な用語を使って積み木で作った形を表現したり、なぜ高いのか、短いかなどその理由に気づく。
	10	(知及技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形に注目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形に注目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：いろいろなかたち①②	・いろいろなかたち①：学校や家庭、実際に体験した身近な出来事や風景の中に、様々な形が存在していることに気づき、形に着目して分類できるようにする。 ・いろいろなかたち②：丸、三角、四角の色板で、形の属性に着目して分類したり集めたりする。
3 学期	10	(知及技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表すことができる。・具体的な事象を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数が分かる。 (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表すことができる。・具体的な事象を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。 (思・判・表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：いくつといくつ①②③④ ・いくつといくつ⑤⑥ ・10はいくつといくつ まとめ	・いくつといくつ①：（1～4の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ②③④：（5～7の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：2段階「数と計算」のまとめ。
	10	(知及技) 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができる。簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かる。 (思判表力) 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。 (学・人) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成しようとしている。簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解しようとしている。 (思・判・表) 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 (主学) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとしている。	Dデータの活用ウ：あたったらずれたら	・あたったらずれたら：身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成し、使用する記号の意味が分かる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 3年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部3学年		おんがく☆☆、他

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 （思判表力）音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようになる。 （学・人）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。（イ）㊲ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。（イ）㊱ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。（ウ）㊲㊱㊲ （思判表力） ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（ア） （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	（知・技） 教師や友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。（主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ・校歌 ・学年の歌 ☆はるのおがわ ☆みなみのしまのはめはめは だいおう ☆ひらいたひらいた （おんがく☆☆他）	・聞き馴染みのある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。（イ）㊲ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。（ウ）㊱ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。（ウ）㊲㊱㊲ （思判表力） ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（ア） （学・人） ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 （思・判・表） 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。（主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆あまだれ ☆ばんばんばん ☆おもちゃのちゃちゃちゃ ☆いろいろなだがつき （おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		（知及技） ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。（イ）㊲ ・音のつながりの特徴に気付くことができる。（イ）㊱ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。（ウ）㊲㊱ （思判表力） ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㊲㊱ （学・人） ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。（主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと ☆あめのおとをならしてみよう ・天気予報をお知らせします （おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

	【知及技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㉔ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ) ㉔㉕ 【思判表力】 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	【知・技】 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さあみんな ・のーののせる ☆いっぽんばしこちょこちょ ☆がーでちゃっつぶん ☆せんたく ・やっほっほ夏休み 【おながく☆、☆☆他】	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
	【知識】 ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) 【思考判断】 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) 【学・人】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	【知・技】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あめふりくまのこ ・こいのぼり ・おかあさん ・月桃 ・たなばた 【おながく☆、☆☆他】	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
	【知及技】 ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㉔ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	【知・技】 教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆こぶためきつねこ ・ふしぎなぼけっと ・いぬのおまわりさん 【おながく☆、☆☆他】	・聞き馴染みのある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
	【知及技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㉔ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 【思・判・表】 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆てをたたきましよう ☆とけいのうた ☆やまのおながくか ・じゃんけんぽん ・うんどうかい 【おながく☆、☆☆他】	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2 学 期	28	〔知及技〕 ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㉔㉕ 〔思判表力〕 ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㉔㉕ 〔学・人〕 ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	〔知・技〕 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 〔思・判・表〕 音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 〔主学〕 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ・リズムをくみあわせよう ☆いろいろなだがつき ☆いろいろなおと (おながく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		〔知及技〕 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりに関心することができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㉔ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㉔㉕ 〔思判表力〕 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) 〔学・人〕 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	〔知・技〕 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 〔思・判・表〕 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 〔主学〕 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆さあみんな ☆どうぶつになって ☆さのこ ・運動会の歌 (おながく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		〔知識〕 ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けすることができる。(イ) 〔思考判断〕 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(ア) 〔学・人〕 ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	〔知・技〕 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。 〔思・判・表〕 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 〔主学〕 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆おきなかな ☆くらりねっとぼる (おながく☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		〔知及技〕 ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㉔ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(ウ)㉔㉕㉖ 〔思判表力〕 ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) 〔学・人〕 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	〔知・技〕 教師や友達と一緒に歌う技術を身に付けようとしている。 〔思・判・表〕 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう ☆しゃぼんだま ☆学年の歌 ☆ふしぎなげ ☆いぬのおまわりさん ☆やぎさんゆうびん ・ゆき ・卒業式の歌 (おながく☆、☆☆他)	・聞き馴染みのある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3 学 期	18	【知(及)技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㉔ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㉔㉕㉖ 【思(判・表)】 【器楽表現】 ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) 【学(人)】 ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 【思・判・表】 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつとしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう ☆もちつき (おながく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カステネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		【知(及)技】 ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思(判・表)】 【音楽づくり】 ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㉔㉕ 【学(人)】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 音遊びを通して、音の面白さに気付こうとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう ☆いろいろなおと (おながく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		【知(及)技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術や技術を身に付けようとしている。 【思(判・表)】 【身体表現】 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【知・技】 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術や技術を身に付けようとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう ☆どれみのうた ☆かもつれっしや ☆じゃんとこーすたー ☆よーいやさ ☆じゃんけんぽん	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		【知識】 ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けすることができる。(イ) 【思考判断】 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) 【学(人)】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう ☆あかたすんどうんち〜しーや・ばー ☆はくちょう ☆ほしにねがいを ・あめふりくまのこ ☆おおきなかぶ ☆君が代 (おながく☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程）図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 3学年		

目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	25	(知・技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組みようとする。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう ・かきたいものなあに ・協力して描こう ○うつしてみよう ・手形、足形 ・べったんコロコロ	・いろいろな形や色を見つけたら工夫して表す、描きたいものを思いつく、思い付いたものを楽しく描く。 ・指や手で書いて形を見つけたら工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、カッター、液体粘土等) (材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等) ・ぬたくり遊びや手形足形を取ったり、道具を使っている絵の具の遊び (道具：絵の具、ホスターカラー、はけ、ローラー、筆等) (材料：画用紙、模造紙等)
		(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだすことができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとする。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○いろいろな方法で描こう ・ビー玉を使って描こう ・霧吹き（スパッタリング）で描こう ・はじき絵（パチック技法）で描こう ・マープリング ・デカルゴマニ ・ステンシル	・段ボールを揺らしながら、転がるビー玉の動きを楽しみ線を描く。転がるビー玉によって引かれる線を楽しみながら、絵の具の色を変え、交じり合う様子を楽しむ。 ・霧吹きや霧でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。線を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・バットに入れた水の中に、好きな色の液を垂らす。垂らした液を竹串を使って模様を作る。和紙を浮かべつる模様の様子を楽しむ。 ・半分に折った紙に絵の具のせ、残り半分の紙を開き、開いた模様を楽しむ。 ・型紙を作ったり、作られた型紙を画用紙に好きな配置に並べて、色を付け、型紙の形が画用紙に写ることを楽しむ。 (道具：筆、クレヨン、絵の具、ビー玉、網、ブラシ、霧吹き、ロウ、マープリング、紙、のり、はさみ等) (材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、洗いたバット等)
		(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだすことができる。 (思判表力) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 ・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じながら、形や色などに関わろうとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくるようにする。 (思判表力) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 ・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じながら、形や色などに関わろうとしている。	作る（立体） ○ねんどで あそぼう ・にぎにぎねんど	・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 (道具：紙粘土、へら等) (材料：紙粘土、割りばし、ひも、ビニール袋、紙粘土、自然物、絵の具等) (材料：紙皿、割りばし、ひも、ビニール袋、紙粘土、自然物、絵の具等)
2 学 期	25	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○読書感想画 ・好きな絵本を讀んで描こう ○感じたこと、見たことを描こう ・みてみてあのね	・好きな絵本を讀んだり、読み聞かせを聞いて、絵本の好きな場面の様子を鉛筆やペン、絵の具やクレヨンなどを使って描く。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等) (材料：画用紙等) ・生活の中で見つけたことや感じたこと、体験したことを描く。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等) (材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等)
		(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだすことができる。 自分の感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくるようにする。 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう、使おう ・くしゃくしゃぎゅぎゅ (新聞紙と仲良くする) 版画 ○うつしてみよう ・ステンシル版画 ・かきかきぬりべったんこ	・切った紙やふいた新聞紙でコラージュ作品を作る ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 (道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等) (材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等) ・ステンシル版に棒等を使って好きな絵を描き、インクのをせ、紙をのせ、刷って出来たら版画体験をする。 (道具：棒、ローラー、絵の具、筆等) (材料：ステンシル版、版画用紙、新聞紙等)
		(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだすことができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくるようにする。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	立体 ○さわてみよう ・片栗粉遊び ・スライム遊び ・折り紙遊び ・砂や土なかよし	・感触を感じ、水を加えると感触が変わること、食紅を加えると色が変えることを楽しむ。 (道具：たらい、ブルーシート等) (材料：片栗粉等) ・感触を感じ、固まったり冷たくなったりする感触の違いを楽しむ。 (道具：たらい、ブルーシート等) (材料：洗濯のり、ホウ砂、ラメ等) ・折り紙を切ったり折ったり折ったり折ったりと様々な方法を楽しくする。 (道具：のり、ホウ砂、ラメ等) (材料：折り紙) ・それぞれの素材の匂いや感触を感じ、楽しむ。 (道具：たらい、シヨベル、スコップ等) (材料：砂、土等)
3 学 期	20	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだすことができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだす。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう、使おう ・扇、こま、福笑い	・ビニール袋地に好きな絵を描いて、扇を作ったり、CDディスクの穴にビー玉を入れて止め、こまを作ったり、目隠しした扇のパーツを貼って遊ぶ福笑いをしたりと、正月遊びを楽しむ。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。 (道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等) (材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、糸、竹ひこ、CDディスク、ビー玉、シール、自然物等)
		(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだして、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組みようとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくりだして、形や色などの違いに気付くようにする。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを考えようとしている。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう ・雲遊び	・筆を使って好きな線や文字を描く。 (道具：筆、墨汁、すずり、ふんちゃん、したじき等) (材料：和紙、新聞紙等)
		(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組みようとする。	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くようにする。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (学・人) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組みようとしている。	描画 ○協力して描こう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの通り絵をなしたりして塗り付ける。 ・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。友達と決めた字線を絵の具やクレヨンなどを使って描く。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等) (材料：画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等)
留意点 引き等		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部 3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができる。（小2段階） （思判表力）基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できる。（小2段階） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようする態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 （思判表力）基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体づくり運動をしようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。 （思・判・表）基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体づくり運動	【体ほぐしの運動】 ・伸び伸びとした動作で運動を行う。 ・リズムに乗って運動を行う。 ・歩いたり走ったりする運動を行う。
		（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 （思判表力）水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 （思判表力）水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく水の中での基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかったの水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、ワニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりする運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
		（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をすることができる。 （思判表力）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしようとする。 （思・判・表）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・器械・器具を使っの運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ・ジャンピングボードやトランポリンを使った基本的な運動を行う。 ・低い平均台を使った運動遊びをする。 【マットを使った基本的な運動】 ・ゆりかご、前転がり、後ろ転がりなどをする。
		（知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。 （思判表力）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 （思・判・表）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【題材と動き】 ・身近な動物や車、飛行機などの乗り物等の真似をする。 （鳥、昆虫、恐竜、動物園の動物、飛行機、遊園地の乗り物、おもちゃなど、特徴が捉え易い動きを多く含む題材）

2 学 期	28	(知及技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学・人)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 (思・判・表)健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 (主学)教師の支援を受けながら、健康的な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄をする】 「自分の体調を知ろう」 ・状態を伝える言葉を知る 「清潔に保とう」 ・手洗い、うがい 「体の成長を知ろう」 ・これまでの成長の変化を視覚化した教材により、過去と比較する。
		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思・判・表)走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・走・跳の運動	【走る運動】 ・30m程度のかけっこやトラックなど緩やかなカーブを蛇行して走ったり、教師の手拍子や言葉掛けに合わせて一定の速度で走ったりする。 【跳ぶ運動】 ・教師の言葉掛けなどでタイミングを計りながら、一人で片足や両足で連続して上方に跳んだり、前方に跳んだりする。
3 学 期	18	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現することができる。 (学・人)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思・判・表)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさを表現しようとする。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ボールを使った運動やゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・つく、転がす、投げる、当てる、捕る、打つ、蹴る、止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・先生や友達にボールを転がしたり、投げたり、先生や友達が転がしたり、投げたりしたボールを止めたり、捕ったりする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ねらったところにボールを転がして、的に当てたり得点したりする。 ・先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼、手つなぎ鬼、子増やし鬼
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 小学部 3年（Ⅱ課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部3学年		Let's try!!

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	（知及技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合ふことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	（知・技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 （主・学）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちに ならう Hello I'm ... Goodbye See you.	①歌・表現 あいさつをしよう Hello song, Goodbye. ②語彙等 あいさつの言葉を知ろう！ ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③会話を使った活動等 友達や先生に自己紹介してみよう！ ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をしようとしたりして、外国語に親しむ。
	2	（知及技）表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。 （思判表力）表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合ふことができる。 （学・人）表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	（知・技）表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合おうとしている。 （主・学）表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you? I'm happy.	①歌・表現 かいわをしよう Hello, How are you ・「調子はどう？」等の会話の仕方を知る。 ②語彙等 すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 ③会話を使った活動等 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	（知及技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）数について、尋ねたり答えたりして伝え合ふことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	（知・技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主・学）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many...? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ②語彙等 One two three ・数字や日付など身近なもののから、数字の英単語について知る。 ③会話を使った活動等 英語でゲームをしよう How many...? ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
2学期	4	（知及技）日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力）自分の好きなことについて伝え合ふことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	（知・技）日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）自分の好きなことについて伝え合ふことができる。 （主・学）相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・すきなものをつたえようI like ... Do you like...? Yes, I do. No, I don't. I don't like...	①歌・表現 身近なものの名前 ・歌やダンスで、身の回りのものの英単語に親しむ。 ②語彙等 身の回りのもの 身体の部位 ・身の回りのものの英語を知る。 ③会話を使った活動等 これなあに？ What is this? すきなものをつたえよう I like, I don't like... ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。

2 学 期	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何が好き？ What do you like? I like ... What (sports) do you like? I like (soccer).	①歌・表現 英語の歌をうたおう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ②語彙等 すきなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、すきなものを伝える。 ③会話を使った活動等 なにが好き？ What do you like? 英語でゲームをしよう
	4	(知及技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 (学・人) 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	(知・技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 (主・学) 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A caard), please. Here you are. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 アルファベットの歌をきこう 外国の文化を知ろう (ハロウィン、クリスマス等) ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②語彙等 アルファベットをしよう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ③会話を使った活動等 外国の文化をしよう ゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (思判表力) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (思・判・表) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①歌・表現 えいこのうたをきこう ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 カードをつくらう ②語彙等 あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③会話を使った活動等 カードをしようかいしよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。
	5	(知及技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this? Hints please. It's (a fruit). It's (green). It's (a lemon). That's right.	①歌・表現 英語のうたをきこう 「What is this?」 ②語彙等 これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのものの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③会話を使った活動等 ゲームをしよう ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
3 学 期	5	(知及技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 (学・人) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	(知・技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 (主・学) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・きみはだれ？ Are you (a dog)? Yes, I am. No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	①歌・表現 あなたはだあれ？ 「Who are you?」 ②語彙等 ものがたりをきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③会話を使った活動等 きみはだあれ？ ゲームをしよう ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとする。	・気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・礼儀	・気持ちの良い挨拶や言葉遣い、話の聞き方、食事の所作など具体的なふるまい方を学ぶ。
	4	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする。	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・希望と勇氣、努力と強い意志。	・日常生活にある役割や仕事にどのようなものがあるか学ぶ。
	4	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切ににする。	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・生命の尊さ。	・「生きている証」に気づき、自分の生誕を心待ちにしていた家族の思いを知り、生命の大切さ、自分の生命そのもののかけがえのなさを学ぶ。 ・植物を育てる中で、育てる事の難しさや生命の尊さを学ぶ。
2学期	7	・友達と仲良くし、助け合おうとする。	・友達と仲良くし、助け合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・友情、信頼	・自分の良さや、友達の良さに気づき、一緒に仲良く活動する事の良さや、楽しさを学ぶ。
	7	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・規則の尊重	・身の回りの公共物や公共の場所の使い方、過ごし方について学ぶ。 ・身近約束や決まりについて学ぶ。
3学期	4	・働くことのよさを知り、みんなのために働く。	・働くことのよさを知り、みんなのために働くこうとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・勤労、公共の精神。	・皆のためにできる行動を知り、行うことのやりがいや役にたつことの嬉しさを学ぶ。
	5	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする。	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・親切、思いやり。	・身近にいる人に気づき、優しい言葉や態度を学ぶ。 ・自分と相手の気持ちの違いについて気づくことができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 3年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）・友達や教師と一緒に活動したり、集団活動への参加の仕方を身に付けることができる。 （思判表力）・友達や教師と一緒に、話し合い活動をしたり、何かを決めたりすることができる。 （学・人）・集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする。		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・新しい教室、先生、友達を知る。頑張る気持ちをもつことができる。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書くことができる。 ・教師や友達と学級の目標を考えて決めることができる。	・新しい教室、先生、友達を知ろうとしている。頑張る気持ちをもとうとしている。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書こうとしている。 ・教師や友達と学級の目標を考えて決めようとしている。	・今日から3年生（学年開き、学級開き） ・自分の頑張ること ・学級の目標を考える	・新しい教室、先生、友達の名前を知る。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書く。 ・教師や友達と学級の目標を考えて決め、学級目標を作る。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、教師と一緒に分担された役割に取り組むことができる。 ・横断歩道の渡り方や信号の見方を学習することができる。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、教師と一緒に分担された役割に取り組もうとしている。 ・横断歩道の渡り方や信号の見方を学習しようとしている。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・一年生、転入生を迎える会 ・交通安全教室 ・校外学習	・新入生・転入生を知る。 ・新入生・転入生を迎える会に向けて、教師と一緒にプレゼントを作製し、プレゼントを届ける。 ・横断歩道の渡り方や信号の見方を学習し、体験する。 ・公園や公共施設を利用する上でのルールや決まりを確認し、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりする。
		・自分の学級を紹介することができる。 ・友達の発表を聞くことができる。 ・1学期を振り返り、頑張ったことを発表することができる。 ・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いして感謝の気持ちを育てる。	・自己紹介をしようとしている。友達の発表を聞くようとしている。 ・1学期を振り返ろうとしている。頑張ったことを発表しようとしている。 ・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いしようとしている。	・学年集会（学級発表） ・1学期頑張った会 ・夏休みに向けて誕生会	・交流会の内容について知る。 ・交流会に参加する。 ・自分の学級を紹介する。友達の発表を聞く。 ・1学期を振り返る。写真等から選び、頑張ったことを発表する。 ・夏休みの約束や宿題等について知る。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いする。
2学期	14	・2学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書くことができる。 ・那覇みらい支援学校や小学校の友達と交流することができる。 ・火災や地震等の時の行動の仕方を知ることができる。（教師や友達と避難する等）	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持つようとしている。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書こうとしている。 ・那覇みらい支援学校や小学校の友達と交流しようとしている。 ・火災や地震等の時の行動の仕方を知ろうとしている。（教師や友達と避難する等）	・2学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・1学期頑張った会 ・交流学習 ・校外学習	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持つ。 ・教師と一緒に頑張ることを考えて書く。 ・那覇みらい支援学校や小学校の交流会の内容について知る。 ・交流会に参加する。 ・火災や地震等の時の行動の仕方を知る。 ・教師や友達と避難訓練に参加する。
		・自分たちの学年を、教師と一緒に他学年の友達に発表することができる。 ・他学年の発表を見ることができる。 ・運動会について知り、期待感を持つことができる。 ・運動会を振り返り、教師と一緒に頑張ったことや感想を書き発表することができる。 ・2学期を振り返り、頑張ったことを発表することができる。 ・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いして感謝の気持ちを育てる。	・自分たちの学年を、教師と一緒に他学年の友達に発表しようとしている。他学年の発表を見ようとしている。 ・運動会について知り、期待感を持つようとしている。 ・運動会を振り返り、教師と一緒に頑張ったことや感想を書こうとしている。 ・2学期を振り返ろうとしている。頑張ったことを発表しようとしている。 ・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いしている。	・交流学習 ・避難訓練事前事後学習 ・みんなに紹介しよう ・運動会事前事後学習 ・校外学習 ・2学期頑張った会 ・冬休みに向けて誕生会	・自分たちの学年を、教師と一緒に他学年の友達に発表する。 ・他学年の発表を見る。 ・運動会の日程や内容について知り、期待感を持つ。 ・運動会を振り返り、教師と一緒に頑張ったことや感想を書き、書いたことを発表する。 ・2学期を振り返る。写真等から選び頑張ったことを発表する。 ・冬休みの約束や宿題等について知る。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いする。
3学期	9	・3学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・3学期の頑張ることを、教師と考えて書き、発表することができる。 ・児童会について知り、活動への関心を持つことができる。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・3学期の行事や活動を知ろうとしている。期待感を持つようとしている。 ・3学期の頑張ることを、教師と考えて書こうとしている。 ・児童会について知り活動への関心を持つようとしている。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・3学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・児童会役員選挙 ・校外学習	・3学期の行事や活動を知る。 ・3学期の頑張ることを、教師と考えて書く。 ・児童会について知り活動への関心を持つ。 ・児童会選挙の日程や方法について知り、投票をする。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		・卒業する先輩や幼稚園の友達を知り、祝うことができる。 ・1年間を振り返り3年生への期待を持つことができる。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いすることができる。	・卒業する先輩や幼稚園の友達を知り、祝おうとしている。 ・3学期を振り返ろうとしている。頑張ったことを発表しようとしている。 ・1年間を振り返ろうとしている。 ・4年生への期待を持つようとしている。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いしようとしている。	・6年生を送る会 ・3学期頑張った会 ・もうすぐ4年生 ・春休みに向けて	・卒業する先輩や幼稚園の友達を知り、祝う。 ・1年間を振り返り写真等から選び、頑張ったことを発表する。 ・4年生になって頑張ることを考え、発表する。 ・冬休みの約束や宿題等について知る。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いする。
留意点 引継ぎ等		評価方法 ＜授業態度＞ ・発表、発言 ・表情、視線 ・模倣 ・取り組みへの姿勢 ・行動の様子 ・友達との関わり、協働 ＜学習記録＞ ・学習カード ・学習プリント ・文字、絵等			

小学部(Ⅱ課程)

第4学年

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程）生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部 4学年		文科省著作教科書 ☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 （学・人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	60	（知及技） 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力） 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとするができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技） 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表） 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ア 基本的生活習慣 ○じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身の回りの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する、鍵をかけるなど）
	45	（知及技） 身近な日課・予定について知ることができる。 （思判表力） 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとするができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技） 身近な日課・予定について知っている。 （思・判・表） 身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 （主学） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ウ 日課・予定 ○つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動できるようにする。 ・予定については、下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり見通しを持って過ごすことができるようにする。
	35	（知及技） 簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 （思判表力） 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。 （学・人） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技） 簡単なきまりのある遊びについて知っている。 （思・判・表） 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 （主学） 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	エ 遊び ○いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・友達と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。（エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど） ・友達や教師と一緒に簡単なルールを考えて遊ぶ。（おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、だるまさんが転んだ、おもちゃ遊びなど） 【遊具の後片付け】 ・友達と協力して、大きな物を運び元の場所に片付ける。
	10	（知及技） 簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 （思判表力） 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとするができる。 （学・人） 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技） 簡単な手伝いや仕事について知っている。 （思・判・表） 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 （主学） 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。
	10	（知及技） 簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 （思判表力） 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとするができる。 （学・人） 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	（知・技） 簡単な手伝いや仕事について知っている。 （思・判・表） 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 （主学） 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。

1 学 期	12	(知及技) 簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてすることができる。 (学・人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてしている。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○しよくじのマナー	【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
	12	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○みつけにこう！はる・なつ・あき・ふゆ	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
	14	(知及技) 身近な生命や自然について知ることができる。 (思判表力) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてすることができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしてしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。(晴れは明るい、くもりと雨は暗いなど) ・昼と夜の違いに気づく。(昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど)
	2	(知及技) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○あんげんにつかおう ・つくろう ・あそぼう	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具(はさみ、穴開けパンチ等)を安全に使う。
	2	(知及技) 簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてすることができる。 (学・人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてしている。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ ・じぶんのものともだちのもの ・きまっatabしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。
	4	(知及技) 簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてすることができる。 (学・人) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表) 身近で簡単なきまりやマナーに気が付き、それらを守って行動しようとしてしている。 (主学) 身近な人々や社会然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○がっこうのきまり ・みんなでももときもちがいいね ・じかんのきまり ○せいかつのきまり ・あそんでもよいばしょ ・どうろをあるくとき・のりものをつかうときのきまり	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。
	4	(知及技) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○きを付けてあるこう ・おうだんはどう ・ふみきり ○さいがいや じこから じぶんをまもう ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする	【交通安全】 ・安全な歩行の仕方が分かり、歩道を通行したり自動車や自転車に注意して横断したりする。 【避難訓練】 ・災害(地震、火事)時に適切な行動を取り、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況(雷、夜道等)を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。

2 学 期	3	【知(及)技】 身近な生命や自然について知ることができる。 【思(判)表(力)】 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。 【学(・)人】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 身近な生命や自然について知っている。 【思(・)判(・)表】 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 【主(学)】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○いきものとなかよし ・どうぶつにあいはいこう ・どうぶつのおせわをしよう ・そだてかたずかん	【動物の飼育・植物の栽培】 ・蝶の飼育や身近な小動物や動物園等の動物を観察し興味関心をもつ。 ・植物を栽培し育てる。(キャベツ、あさがお等)
	2	【知(及)技】 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 【思(判)表(力)】 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 【学(・)人】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 【思(・)判(・)表】 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 【主(学)】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○わたしたちのまち ・なにをうっているおみせかな	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。 【公共施設の利用】 ・図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かる。
	2	【知(及)技】 簡単な係活動などの役割について知ることができる。 【思(判)表(力)】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 【学(・)人】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 簡単な係活動などの役割について知っている。 【思(・)判(・)表】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 【主(学)】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○わたしとかぞく ・おとうさん・おかあさん ・きょうだいのなまえ	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。
	2	【知(及)技】 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 【思(判)表(力)】 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。 【学(・)人】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 【思(・)判(・)表】 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 【主(学)】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○もののおもさ ・おもさくらべ(てんびん) ・いろいろなはかり	【物と重さ】 ・天秤を使って重さを比べる。 ・いろいろなはかりを使って重さを量る。
	2	【知(及)技】 簡単な係活動などの役割について知ることができる。 【思(判)表(力)】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 【学(・)人】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 簡単な係活動などの役割について知っている。 【思(・)判(・)表】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 【主(学)】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○ちいさのぎょうじ ・おまつりにいこう ・おまつりであそぼう	【地域の行事への参加】 ・地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりする。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	【知(及)技】 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 【思(判)表(力)】 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。 【学(・)人】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 【思(・)判(・)表】 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 【主(学)】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○のってみよう ・でんしゃ・バス ・いろいろなりもの	【交通機関の利用】 ・モノレールなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	4	【知(及)技】 簡単な係活動などの役割について知ることができる。 【思(判)表(力)】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。 【学(・)人】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 簡単な係活動などの役割について知っている。 【思(・)判(・)表】 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 【主(学)】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○おきゃくさんだよ ・でんわがなっていることをつたえよう ・おきゃくさんがきたことをつたえよう ○ありがとう、ごめんなさい ・ありがとうをみつけよう ・ごめんなさいをつたえよう	【電話や来客の取次ぎ】 ・人の来訪を伝えたり、電話の取次ぎをしたりする。 ・初歩的な伝言の経験を積み重ねる。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	2	【知(及)技】 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 【思(判)表(力)】 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。 【学(・)人】 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	【知(・)技】 安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 【思(・)判(・)表】 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 【主(学)】 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○さいがいや じこから じばんをまもろう	【避難訓練】 ・災害(地震、火事)時に適切な行動をとり、安全に避難する。 【防災】 ・生活の中の危険な状況(雷、夜道等)を知り、自分の身を守るための適切な行動を知る。

3 学 期	4	(知及技) 金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表) 身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	ク 金銭の扱い ○なにをかおうかな ・どうやってかうのかな ○かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいてみよう ・なんていえばいいかな	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 【買い物】 ・できるだけ自分で買物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買物をする、商店などで品物を選んで買うことができる。
	2	(知及技) 簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする。ことができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○かかりのしごと ・いろいろなかりをやってみよう ○いっしょにしよう ・かかきをきめておたのしみかいをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	2	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。ことができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・かぜでうごかそう	【風の力の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く。 ・風、落下傘 ・筒ロケット、とことこぐるま
	2	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとする。ことができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○わたしのまわりのひとたち ・かぞくのやくわり ・ちいきではたらくひと	【家族・親戚・近所の人】 ・家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くことや、身近な地域で働く人などに対して関心を広げる。 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち。
	2	(知及技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとする。ことができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表) 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○かぜやゴムのちから ・ゴムでうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等
	4	(知及技) 簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする。ことができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表) 身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○いっしょにしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	小学部 4学年		こくご☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 （思判表力）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	（知及技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろなお話にふれる。 ・自分の好きな絵本を探したり見たりする。
1学期	7	（知及技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 （思判表力）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 （思・判・表）日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	しるしをみつけよう	・日常生活の中で身近に見られる標識などを取り扱う。 ・標識などに関心を持つとともにその意味を言葉と結び付けながら考えたり、表された意味に応じた行動をしようとしたりする。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	4	（知及技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思判表力）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 （思・判・表）身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	くわしくはなそう ・いろ ・はんたいことば ・だれのなに ・なにをするのかな① ・なにをするのかな② ・「わ」と「は」	いろ：青、黄、赤、緑を取り上げ、色の名称をしること、物の名称を知ること、そして「〇〇い△△」という表現方法を知る。 ・はんたいことば：対語になった形容詞「大きい、小さい」「多い、少ない」「長い、短い」「重い、軽い」など。 ・だれのなに：動物の一部を○で囲って示し。「〇〇の△△」という所有を表す助詞の表現方法に慣れる。 ・なにをするのかな①：ものの名称や用途を考えたり、動作を表す言葉とつなげて表現したりする。 ・なにをするのかな②：日常生活で行っている動作を分かりやすい絵で表現し、その動作を動詞と一致させることで知っている言葉の数を増やす。 ・「わ」と「は」：「わ」と「は」の違いに気がついて、会話の中で聞いたり話したりできるようにすること、扱える助詞の種類を増やすこと。
	9	（知及技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 （思判表力）体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 （思・判・表）体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あつめてみよう ・ばーてい ・うみ ・えんそく	・パーティ：誕生会やお楽しみ会などパーティーの場面。 ・海：海水浴やプールでの活動。 ・えんそく：遠足や校外学習など。
	10	学期を通して指導 （本にしたしもう、聞いてみよう・話してみよう、感想を書こう、読んでみよう）			

2 学期	7	(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を 読むことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場す るものや動作などを思い浮かべること ができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとする態度 を養う。	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を 読むこととしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場す るものや動作などを思い浮かべようと している。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとしてい る。	ひらがなをかいてみよう① ・ひらがな ・なまえ	・ひらがな：「し」「つ」、「い」「こ」、正しい鉛 筆の持ち方、正しい姿勢。 ・なまえ：自分の名前を平仮名で表すことができ ることを知り、縦書き、横書きで正しい句書くこと ができるようにすること。
	8	(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を 読むことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場す るものや動作などを思い浮かべること ができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとする態度 を養う。	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を 読むこととしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場す るものや動作などを思い浮かべようと している。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとしてい る。	ひらがなをよんでみよう① ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん ひらがなをよんでみよう② ・てんてん ・にているもじ	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なも のの名前を絵と平仮名によって示している。 ・てんてん：平仮名の清音と濁音を読み、絵と平仮名 を結びつける。 ・にているもじ：平仮名の似ている文字「へ」 「く」、「に」「は」「ほ」、「わ」「ね」「め」 「ぬ」。
	15	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを 聞いたり、言葉などを模倣したりする などして、言葉の響きやリズムに親し むことができる。遊びややり取りを通 して、言葉による表現に親しむことが できる。 (思判表力) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現 したりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとする態度 を養う。	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを 聞いたり、言葉などを模倣したりする などして、言葉の響きやリズムに親し むこととしている。遊びややり取りを通 して、言葉による表現に親しもうとし ている。 (思・判・表) 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現 したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとしてい る。	おおきなだいこん	・児童が役割を決め、劇遊びをする。
	15	学期を通して指導 (本にしたしもう、聞いてみよう・話してみよう、感想を書こう、読んでみよう)			
3 学期	12	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを 聞いたり、言葉などを模倣したりする などして、言葉の響きやリズムに親し むことができる。読み聞かせに親しん だり、文字を拾い読みしたりして、い ろいろな絵本や図鑑などに興味をもつ ことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の 経過などの大体を捉えることができる。 絵本などを見て、好きな場面を伝 えたり、言葉などを模倣したりするこ とができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとする態度 を養う。	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを 聞いたり、言葉などを模倣したりする などして、言葉の響きやリズムに親し むこととしている。読み聞かせに親しん だり、文字を拾い読みしたりして、い ろいろな絵本や図鑑などに興味をも うとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の 経過などの大体を捉えようとしてい る。絵本などを見て、好きな場面を伝 えている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとしてい る。	うさぎとかめ	・言葉の響きやリズムに親しみながら、好きな台詞や 場面に注目したり、挿絵やうさぎとかめのやり取りと 手がかりにして、うさぎとかめの物語の大体を捉え たりする。
	8	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し 言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を 表していることを感じることができ る。いろいろな筆記具を用いて、書く ことに親しむことができる。写し書き やなぞり書きなどにより、筆記具の正 しい持ち方や書くときの正しい姿勢な ど、書写の基本を身に付けることが できる。 (思判表力) 経験したことのうち身近なことについ て、写真などを手掛かりにして、伝え たいことを思い浮かべたり、選んだり することができる。自分の名前や物の 名前を文字で表すことができることを 知り、簡単な平仮名をなぞったり、書 いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとする態度 を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し 言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を 表していることを感じようとしてい る。いろいろな筆記具を用いて、書く ことに親しむこととしている。写し書き やなぞり書きなどにより、筆記具の正 しい持ち方や書くときの正しい姿勢な ど、書写の基本を身に付けようとして いる。 (思・判・表) 経験したことのうち身近なことについ て、写真などを手掛かりにして、伝え たいことを思い浮かべたり、選んだり しようとしている。自分の名前や物の 名前を文字で表すことができることを 知り、簡単な平仮名をなぞったり、書 いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読 み聞かせに親しみ、言葉でのやり取り を聞いたり伝えたりしようとしてい る。	ひらがなをかいてみよう② ・たてがき よこがき ・じこしょうかい ・えにつき ・てがみ ・カード	・たてがきよこがき：縦書きや横書きによって示され た平仮名の見方に慣れることや書くこと。 ・じこしょうかい：自分の好きなものを思い浮かべ たり選んだりしながら、平仮名を用いて表す。 ・えにつき：生活の中の出来事を想起し、平仮名を用 いて書いて表す。 ・てがみ：簡単な手紙文を書く。 ・カード：誕生日のカードや母の日のカード、お礼状 など短い文で気持ちを伝える。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱 う。校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	10	学期を通して指導 (本にしたしもう、聞いてみよう・話してみよう、感想を書こう、読んでみよう)			
留意点 引継ぎ等	☆☆の前半（くわしくはなそう）を含む				

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部 4 学年		算数☆☆後半

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) 二つの数を比べて数の大小が分かる。 (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 二つの数を比べて数の大小を理解しようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：くらべてみよう①②③④	・くらべてみよう①：身近にあるものの数を比べる。3までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう②：5までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③：10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④：数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	15	(知及技) 個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。・0の意味について分かる。 (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 個数を正しく数えたり書き表そうとしている。・0の意味について分かるようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：かーどづくり①②③ 10までのかずみえないものをかぞえる 10までのかずうごきをかぞえる ・10までのかず0のりかい	・かーどづくり①：1～10までの数字の正しい読み方を身に付ける。指でなぞり書きをする。数字を書く。 ・かーどづくり②：動物の数を数えて書き入れている。 ・カードづくり③：数字カードを見て、カードに書かれた数字の数だけおはじきを並べる。 ・10までのかずみえないものをかぞえる：太鼓の音を鳴らした回数を数える。 ・10までのかずうごきをかぞえる：縄跳びを跳んだ数を数える。 ・10までのかず0のりかい：空位を理解する初期段階。一つも「ない」が分かり、それを「0」と表記する。
	15	(知及技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：まるさんかくししかく②③④	・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。
	10	A数と計算ア ・10までのかずみえないものをかぞえる ・10までのかずうごきをかぞえる B図形イ ・まるさんかくししかく			
2学期	15	(知及技) 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：なんばんめ①②③	・なんばんめ①：順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ②：10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現（○ばんめ）を理解する。 ・なんばんめ③：物の位置など方向性がきまっていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。
	15	(知及技) 重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 重さ、広さなどの量の大きさを理解しようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア：おもい、かるいひろい、せまい	・おもい、かるい：物を持ち上げたり、運んだり、引っ張ったりする体験の中で感覚により「重い」「軽い」を捉える。 ・ひろい、せまい：広さの異なるシートに座ったり荷物を広げたりして「広い」「狭い」を感覚的に捉える。

	15	(知・技) 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。 (思判表力) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表) 重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定ア： どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつい、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう	・どっちがおもい、どっちがかるい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「軽い」「重い」が分かる。 ・どっちがひろい、どっちがせまい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「広い」「狭い」が分かる。 ・どっちがあつい、どっちがうすい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「厚い」「薄い」が分かる。 ・どっちがふかい、どっちがあさい：二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「深い」「浅い」が分かる。 ・くらべてみよう：積み木を並べたり積み上げたりする活動の中で、長さや高さ、広さなどの適切な用語を使って積み木で作った形を表現したり、なぜ高いの
	10	年間を通して指導 A数と計算ア ・なんぼんめ			
3 学 期	15	(知・技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。 (主学) 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形イ：いろいろなかたち①②	・いろいろなかたち①：学校や家庭、実際に体験した身近な出来事や風景の中に、様々な形が存在していることに気づき、形に着目して分類できるようにする。 ・いろいろなかたち②：丸、三角、四角の色板で、形の属性に着目して分類したり集めたりする。
	20	(知・技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数が分かる。 (思判表力) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表そうとしている。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算ア：いくつといくつ①②③④ ・いくつといくつ⑤⑥ ・10はいくつといくつ まとめ	・いくつといくつ①：（1～4の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ②③④：（5～7の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：2段階「数と計算」のまとめ。
	15	(知・技) 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成することができる。簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かる。 (思判表力) 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成しようとしている。簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解しようとしている。 (思・判・表) 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 (主学) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとしている。	Dデータの活用ウ：あたったちはずれたら	・あたったちはずれたら：身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成し、使用する記号の意味が分かる。
	15	学期を通して指導 B図形イ ・いろいろなかたち A数と計算ア ・10はいくつといくつ まとめ			
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 4学年		音楽☆☆、他

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけるようにする。 （思判表力）音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようになる。 （学・人）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技） ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。（イ）㉔ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。（イ）㉕ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。（ウ）㉔㉕㉖ （思判表力） ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（ア） （学・人） ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	（知・技） 教師や友達と一緒に歌う技術を身に付けるようにしている。 （思・判・表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう （校歌、学年の歌、さあみんなどで、はるのおがわ、みなみのしまのはめはめはだいおう、ぶんぶんぶん、ひらいたひらいた、おんがく☆☆他）	・聞き馴染みのある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		（知及技） ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。（イ）㉔ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。（ウ）㉕ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。（ウ）㉔㉕㉖ （思判表力） ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（ア） （学・人） ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 拍や曲の特徴的なリズムに気付くようにしている。 （思・判・表） 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう （あまだれ、ぶんぶんぶん、おもちゃのチャチャチャ、おんがく☆、☆☆他）	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		（知及技） ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。（イ）㉔ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。（イ）㉕ ・音を選んだりつけて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくらうことができる。（ウ）㉔㉕ （思判表力） ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。（ア）㉔㉕ （学・人） ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 音遊びを通して、音の面白さに気付くようにしている。 （主学） 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう （校歌、学年の歌、リズムをくみあわせよう、いろいろなおと、あめのおとをならしてみよう、みんなでならすがっきのうた、おんがく☆、☆☆他）	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。

		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㉔ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㉔㉕ (思判表力) ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	(知・技) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう (校歌、学年の歌、さあみんな、いっぽんばしこちょこちょ、ぶーるでちゃっぶん、せんたく、おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		(知識) ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) (思考判断) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) (学・人) ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。(思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう あめふりくまのこ、平和の曲(いのちのリレー、月桃)、あめふりすいそくかん、おんがく☆、☆☆他	・音楽に合わせて、身体を揺らしたり手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。
		(知及技) ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㉔ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模倣したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(ウ)㉔㉕㉖ (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	(知・技) 教師と友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。(思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう (こぶためきつねこ、あいあい、おはようくれよん、てをたたきましよう、ふしぎなぼけつと、いぬのおまわりさん、運動会の歌、おんがく☆☆☆他)	・聞き馴染みのある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㉔ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㉔㉕㉖ (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) (学・人) ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう (とけいのうた、じゃんけんぽん、やまのおんがくか、うんどうかい、おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器(カスタネット、タンバリン、鈴など)や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。

2 学 期	28	【知及技】 ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㉔㉕ 【学・人】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 音遊びを通して、音の面白さに気付くようとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう (りずむをくみあわせよう、いろいろなおと、運動会の歌、おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		【知及技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりやに気付くことができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㉔ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	【知・技】 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう (どうぶつになって、おんまはみんな、えびかにくす、やきいもぐーちーばー、きのこ、運動会の歌、おんがく☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		【知識】 ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(イ) 【思考判断】 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) 【学・人】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	【知・技】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう (くらりねっとぼるか、ためきのたいこ、こぞうのこうしん、おおきなかぶ、運動会の歌、おんがく☆☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		【知及技】 ・曲の特徴的なリズムと旋律に気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気づくことができる。(イ)㉔ ・範唱を聴いて、曲の一部分を模唱したり、自分の歌声に注意を向けて教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(ウ)㉔㉕㉖ 【思判表力】 ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようすることができる。	【知・技】 教師や友達と一緒に歌う技術を身に付けるようとしている。 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【歌唱】 ・歌に親しもう ・歌ってみよう (学年の歌、かれーらいす、ゆき、ふしぎなぼけっと、いぬのおまわりさん、やぎさん、ゆうびん、ひらいたひらいた、卒業式の歌、国家、おんがく☆☆他)	・聞き馴染のある歌を部分的に真似て歌ったり、教師や友達と一緒に歌ったりする。

3 学 期	18	【知及技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・楽器の音色の違いに気付くことができる。(ウ)㉔ ・身近な打楽器を範奏を聴いたり、模倣したりして教師や友達と一緒に演奏することができる。(ウ)㉔㉕㉖ 【思判表力】 ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことしている。 【思・判・表】 器楽表現についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもっている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【器楽】 ・拍を感じてリズムを打とう ・いろいろな楽器を演奏しよう (もちつき、いろいろなだがつき、卒業式の歌、国家、おんがく☆、☆☆他)	・親しみやすい楽器（カスタネット、タンバリン、鈴など）や旋律楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏をする。 ・曲の速さやリズムを感じて楽器を鳴らす。
		【知及技】 ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音のつなげ方の特徴に気付くことができる。(イ)㉔ ・音を選んだりつなげて表現したり、教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくったりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音遊びを通して音の面白さに気付いたり、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(ア)㉔㉕ 【学・人】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 音遊びを通して、音の面白さに気付くこととしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【音楽づくり】 ・身近なものを使って音を出してみよう ・様々な楽器を使って音を出してみよう (校歌、みんなでならすがっきのうた、卒業式の歌、国家、おんがく☆、☆☆他)	・身近にあるものを叩いたり、振ったりして音を出してみる。 ・いろいろな楽器を使って、音楽に合わせて自由に音を出す。
		【知及技】 ・拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(イ)㉔ ・曲名と動きの関わりに気付くことができる。(イ)㉔ ・示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(ウ)㉔ ・音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしたり、教師や友達と一緒に体を動かしたりすることができる。(ウ)㉔㉕ 【思判表力】 ・身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(ア) 【学・人】 ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。	【知・技】 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技術を身に付けようとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもっている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう ・音楽に合わせて動いてみよう (校歌、じゃんけんぽん、どれみのうた、かもつれっしや、じえっとこーすたー、よいーやさ卒業式の歌、国家、おんがく☆、☆☆他)	・示範を模倣したり、自由な動きをしたりして教師や友達と又は1人で身体表現する。
		【知識】 ・身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けすることができる。(イ) 【思考判断】 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表しながら聴くことができる。(ア) 【学・人】 ・音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこととしている。 【主学】 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【鑑賞】 ・楽器の音や季節の歌を聴こう (あかたすんどろんちー、しーやーばー、はくちょう、ほしにねがいを、あめふり、くまのこ、すけーたーずわるつ、おおきなかぶ、校歌、卒業式の歌、国歌、おんがく☆、☆☆他)	・身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら鑑賞する。 ・音楽を聴いたり、身体動作を模倣しながらパネルシアターを見たりする。 ・いろいろなジャンルの音楽に触れる。
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 小学部 4年 (Ⅱ課程) 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 4学年		小2段階

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができる。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○いろいろな方法で描こう ・おりぞめ ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（パチック） ・にじみえ など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 ・折った和紙を染め、色水のにじみ方や表れる模様の違いを楽しむ。 ・作ったもので、学級目標や鯉のぼり、母の日・父の日などのプレゼントにアレンジする (道具：クレヨン、絵の具、ブラシ、霧吹き、ロウ、折り染液、のり、はさみ等) (材料：画用紙、色画用紙、竹串、和紙、浅いバット等)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すことができる。 (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとする。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができる。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○描いてみよう ・かきたいものなあに ・とろとろ絵の具で描く ○感じたこと、見たことを描こう ・みてみてあね	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいものを思いつく、思い付いたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、カップ、液体粘土等) (材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等) (教科書：ずがこうさく1・2下P22～23参考)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すことができる。 (思判表力) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 ・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす楽しさを感じながら、形や色などに関わろうとする。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出している。 (思・判・表) ・形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす楽しみを感じながら、形や色などに関わろうとしている。	作る（立体） ・粘土で遊ぼう ・こちそうパーティー！！	・作り方を工夫して、思いに合う形を見つける。 ・形を考えて作り、みんなでこちそうを見合う。 ・好きな食べ物を作ってみんなで見ることを楽しむ。 ・自分のイメージをもちながら、握った粘土の感触や形から感じたこと、想像したことからどのように表すか考える。 ・作り出す喜びを味わい楽しく握った粘土の形から思い付いたものを表す学習活動に取り組む。 (道具：粘土ベラ、割りばし、ぞうきん等) (材料：粘土) (教科書：ずがこうさく1・2下P26～27参考)
2 学期	25	(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができる。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○読書感想画 ・好きな絵本の絵を描こう	・好きな絵本を読んだり、読み聞かせを聞いて、絵本の好きな場面の様子を鉛筆やペン、絵の具やクレヨンなどを使って描く。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等) (材料：画用紙等)
		(知及技) ・身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すことができる。 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出している。 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこととしている。 (思・判・表) 形や色などを基に、自分のイメージをもつこととしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	版画 ○うつつてみよう ・スチレン版画 ・こすりだし	・スチレンボードにマジックや、クッキー型等で線や模様を付ける ・葉っぱやコイン、段ボール等凹凸のある素材に紙を当て、クレヨンや鉛筆などでこすり、形を浮かび上げらせる (道具：マジック、クッキー型、竹串、ペットボトルキャップ、コーラ等) (材料：スチレンボード、インク、紙、自然物等)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すこと。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出している。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○やがいて・はって ・やがいた かたちから うまれたよ	・切った紙ややがいた新聞紙でカラーージュ作品を作る ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する (道具：のり、はさみ、ポンド、テープ等) (材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等) (教科書：ずがこうさく1・2上P16～17参考)
3 学期	20	(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すこと。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることににより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出すこと。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る（工作） ○作ってあそぼう ・凧、こま、紙けん玉	・身近な材料や用具を使って、おもちゃを作る。 ・作りたてのおもちゃを選び、制作して遊ぶ。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等) (材料：カラービニール、牛乳パック、ペットボトルキャップ、紙皿、棒、風糸等)
		(知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出して、形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) つくりだす喜びを感じ、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくり出して、形や色などの違いに気付くこととしている。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを考えようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組む、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わろうとしている。	作る（造形） ○いろいろな素材 ・カラーージュ	・いろいろな素材の組み合わせを楽しむ (道具) はさみ、のり、木工用ボンド (材料) ボール紙（白紙）、布、包装紙、折り紙、千代紙、毛糸、ボタン、スパンコール、アイスの棒 など
		(知及技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思判表力) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くこととしている。 (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
留意点 引継ぎ等		(知及技) 形や色などの違いに気付くことができる。身近な材料や用具を使って描くことができる。 (思判表力) 形や色などに、自分なりのイメージを持つことができる。 (学・人) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができる。	(知・技) 形や色などの違いに気付くことができる。身近な材料や用具を使って描くことができる。 (思・判・表) 形や色などに、自分なりのイメージを持つことができる。 (主学) 友達と声を掛け合ったり協力したりして、一緒に造形活動を行うことができる。	描画 ○協力して描こう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 (道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等) (材料：画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等)
		描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部4年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。 （思判表力）基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようしたりする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	（知及技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 （思判表力）健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 （学・人）教師の支援を受けながら、健康な生活についての課題に気づき、解決しようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をしようとする。 （思・判・表）健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えようとする。 （主学）教師の支援を受けながら、健康な生活についての課題に気づき、解決しようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・保健	【健康な生活に必要な事柄に慣れる】 「進んで行動をしよう」 ・授業に必要な事柄を自ら行う 「落ち着いて身体測定や健康診断を受けよう」 ・事前学習、練習 【感じたことを他者に伝える】 「自分の体調を伝えよう」 言葉や絵カード、サイン等を利用して、痛い部位を伝える。
	6	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 （思判表力）基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。 （思・判・表）基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・体づくり運動	【多様な動きをつくる運動遊び】 ・片足を軸にして右回り・左回りに回転すること ・片足立ちでバランスを保つ運動 ・大また小また歩き、直線上を歩く、一列に並んで歩くなど ・大きな円を右回り左回りに這ったり、歩いたり、走ったりすること ・無理のない速さで続けてかけ足をする ・大きな重さの異なるボールを両手でつかんで持ち上げたり、下ろしたりすること ・長なわでの大波・小波 ・なわを引きながら力比べをすること
1学期	8	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 （思判表力）水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をしようとしている。 （思・判・表）水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・水の中での運動	【水につかったの水かけっこやまねっこ遊び】 ・水につかって様々な動物（アヒル、カニ、カエル、フニなど）の真似をしながら、腰やひざを伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりする運動をする。 ・自ら水を頭や顔にかけたり、お互いにかかけ合ったりする運動をする。 ・基本的な運動を行う中で、その楽しさや心地よく感じたことを言葉や表情、ジェスチャーなどで教師に知らせたり、友達に伝えたりする。 【簡単なきまり】 ・約束を踏まえ、友達と一緒にけがをしないよう注意して活動する。
	8	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をすることができる。 （思判表力）器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようすることができる。	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしようとする。 （思・判・表）器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使つての基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・器械・器具を使つての運動	【固定施設を使った基本的な運動】 ・ジャンピングボードやトランポリンを使った基本的な運動を行う。 ・低い平均台を使った運動遊びをする。 【マットを使った基本的な運動】 ・ゆりかご、前転がり、後ろ転がりなどを する。 【低鉄棒を使った基本的な運動】 ・跳び上がりや跳び下りをする。 【跳び箱を使った基本的な運動】 ・またぎ乗りやまたぎ下りをする。
2学期	12	（知及技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（小2段階） （思判表力）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようすることができる。（小2段階）	（知・技）教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をしようとする。 （思・判・表）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・表現運動	【リズムと動き】 ・弾む、回る、ねじるなどの動きで自由に踊ること。 ・音楽やリズムに合わせて歩く、走る、弾む、回る、ねじるなどの運動をする。（軽快なリズムの曲や児童が日常的に親しんでいる曲）

	12	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。【評価資料】活動の様子で評価する。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をしようとする。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ 走・跳の運動	【走る運動】 ・ 折り返しのリレーなどで、教師や友達と手のひらを向けてタッチするなどをする。 【跳ぶ運動】 ・ 低い障害物などを使って、歩いたり走ったりしながらまたいだり、跳び越えたりする。
3 学 期	19	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。【評価資料】活動の様子で評価する。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとする。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・ ボールを使った運動 ・ ゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・ つく、転がす、投げる、当てる、捕る、打つ、蹴る、止めるなどの簡単なボール操作をする。 ・ 先生や友達にボールを転がしたり、投げたり、先生や友達が転がしたり、投げたりしたボールを止めたり、捕ったりする。 ・ 先生や友達とボールの蹴り合いをする。 【ボールを使ったゲーム】 ・ ねらったところにボールを転がしたり、投げたり、蹴ったりして的に当てたり得点したりする。 ・ 先生や友達にボールを手渡したり投げたりしてゴールにボールを運ぶ。 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 一人鬼、手つなぎ鬼、子増やし鬼
留意点 引継ぎ 等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部4学年		Let's try!1

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う素地を養う。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	（知及技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとする。	（知・技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うようとしている。 （主学）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ってあいさつをしようとしている。	・あいさつをして友だちになろう Hello I'm ... Goodbye See you.	①表現 英語の歌をきこう ・「Action Song」 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②ことば あいさつをしよう！ ・「Hello」や「Hi」等の挨拶の言葉を絵カード等を使って知る。 ③コミュニケーション 友達や先生に自己紹介してみよう！ ・教師と一緒に挨拶や自己紹介をしようとして、外国語に親しむ。
	2	（知及技）表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しむことができる。 （思判表力）表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うことができる。 （学・人）表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとする。	（知・技）表情やジェスチャーでの表現の仕方を知り、いろいろな表現方法に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）表情やジェスチャーを工夫しながらあいさつし合うようとしている。 （主学）表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるようにしてあいさつをしようとしている。	・ごきげんいかが？ How are you? I' m happy.	①表現 英語の歌をきこう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ②ことば すきなものを伝えよう ・好きなものの英単語を知る。 かいわをしよう Hello,How are you ・「調子はどう？」等の会話を仕方を知る。 ③コミュニケーション 自己紹介をしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。
	4	（知及技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	（知・技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）数について、尋ねたり答えたりして伝え合うようとしている。 （主学）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	・数えてあそぼう How many...? (Ten)(apples)./Yes. That's right. No. Sorry.	①表現 英語の歌をうたおう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ②ことば ・数字や日付などの英単語について知る。 ・数字や日付、曜日等の英語を聞き、親しむ。 ③コミュニケーション 英語でゲームをしよう ・英語を使ったゲームを通して、基本的な英語の表現の仕方を学ぶ。

2 学 期	4	(知及技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	(知・技) 日本語と英語の違いがあることを知り、好きなことを表したり尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 自分の好きなことについて伝え合うことができる。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きなことを伝えようとする。	・好きなものをつたえよう I like ... Do you like...? Yes, I do. No, I don't. I don't like...	①表現 英語の歌をきこう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ・「Color Song」 ・「Head, Shoulders, Knees, And Toes」 ②ことば 身近なものの名前 身体部位 ・身の回りのものの英単語を知る。 ③コミュニケーション 好きなものをつたえよう I like, I don't like... ・友達や先生に身の回りのものや好きなものについての会話を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・何が好き？ What do you like? I like ... What (sports) do you like? I like (soccer).	①表現 英語の歌をきこう ・歌やダンスで、好きなものを尋ねたり答えたりする表現に親しむ。 ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ・「Colorful Fruit」 ②ことば 好きなものをつたえよう ・好きなものの英単語を知る。 ③コミュニケーション なにが好き？ What do you like? 好きなものをつたえよう ・絵カードや写真等を使用し、好きなものを伝える。 英語でゲームをしよう ・フルーツバスケット等のゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
	4	(知及技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 (学・人) 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	(知・技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 (主学) 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	・アルファベットとなかよし (The A card), please. Here you are. Thank you. You're welcome.	①表現 英語の歌をきこう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ・「ABC Song」 外国の文化を知ろう（ハロウィン、クリスマス等） ・歌やダンスで、アルファベットや外国の文化に触れる ②ことば アルファベットをしよう ・絵カード、写真等でアルファベットを知る ・ハロウィンやクリスマスに関する英単語を知る ③コミュニケーション 外国の文化を知ろう ・英語を使ったゲームを通して、外国の文化に慣れ親しむ。
	5	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (思判表力) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (思・判・表) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	・カードをおくろう What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	①表現 英語の歌をうたおう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ・歌やダンスで、ほしいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ②ことば あれがほしい！ ・形や色など、ほしいものを表す言葉について知る。 ③コミュニケーション カードを作って紹介しよう ・自分の作ったカードを、簡単な英単語を使い、相手に伝わるように、簡単な英文を作る。

3 学 期	5	(知及技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合うようとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	・これなあに？ What's this? Hints please. It's (a fruit). It's (green). It's (a lemon). That's right.	①表現 英語の歌をうたおう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ②ことば これなあに？ ・絵カード等で、身の回りのものの名前を知る。 ・ものの名前の単語を発音する。 ③コミュニケーション これなあに？ What is this? ・シルエットクイズや神経衰弱ゲームを通して、身の回りのものの英語に親しむ。
	5	(知及技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 (学・人) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	(知・技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 (主学) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	・あなたはだあれ？ Are you (a dog)? Yes, I am. No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	①表現 英語のうたをうたおう ・「Action Song」 ・「Hello Song」 ・「Goodbye Song」 ②ことば ものがたりをきこう ・絵本や動画などの読み聞かせを聞いて、家族や動物の英単語に親しむ。 ③コミュニケーション あなたはだあれ？ Who are you? ・家族や友達、動物の英単語を使ったゲームを通して、人物を表す言葉について親しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年 道徳科（Ⅱ課程） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		小学部 4 学年			
中心 目 標		◎人と関わりながら生活するために必要な道徳的価値の存在に気づき、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 ○自分なりにしてみたいことを見つけ、活動に取り組もうとする意欲をもつ。 ○よいこととよくないことがあることに気づき、よいとされることをしようとする意欲をもつ。など			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	13	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わったりすること。 ②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしたりすること	①自分なりにしたいことに取り組み、自分でできたと実感したり達成感を味わおうとしている。 ②周りの教師や友達に興味・関心をもち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている。	A【個性の伸長】 ①がっこうだいすき B【友情、信頼】 ②みんなでなかよく	①好きな活動ややってみたい活動が十分できる機会を設ける。できないことであっても自分でやりたいという気持ちを大切に、必要な支援を行って自分でできたという達成感や喜びを味わえるようにする。 ②身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わる場面を設ける。同じものに興味を示した子供同士がものを介してやり取りが生じるよう場面を設定する。
		①経験を通して思い通りにいかない場合やよいこととよくないことがあることに気付くこと ②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとすること ③自分の気持ちに気づき、相手に伝えること	①経験を通して思い通りにいかない場合やよいこととよくないことがあることに気付こうとしている ②挨拶に心地よさを感じたり、挨拶に応じたりすることができ自らも挨拶しようとしている。 ③・自分の気持ちに気づき、相手に伝えようとすること。	A【善悪の判断、自律、自由と責任】 ①よいこととわるいこと B【礼儀】 ②あいさつ B【相互理解、寛容】 ③平和教育	①不安定な感情の表出も受け止め、子供なりに取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。よい、悪いと毅然として伝える。悪いことをしてしまった際には、傷ついた相手の気持ちを教師が代弁するなど、相手の痛みを感じられるようにする。 ②教師が笑顔で温かく迎えることを通して、挨拶を通して人と関わることの心地よさや楽しさを感じられるようにする。 ③身近に起こったこと（喧嘩など）を題材にしながら「ごめんなさい」や「ありがとう」を一緒に伝える。
		①身近な生き物に気づき、親しみをもちつこと	①身近な生き物に気づき、親しみをもちとうとしている	D【生命の尊さ】 ①たんじょうび、身近な生き物	①誕生会を通して、人はそれぞれ大切な命をもっていること、多くの人に祝福されていることを知る。
		①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとする事 ②自分と他者の気持ちの違いに気づき、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付くこと	①他者の気持ちに共感したり、慰めたり助けたりしようとしている ②自分と他者の気持ちの違いに気づき、人と過ごすために約束やきまりがあることや、その大切さに気付こうとしている	B【親切、思いやり】 ①おもいやり C【規則の尊重】 ②きまりをまもろう	①機会をつくり繰り返し相手の気持ちに気付くような言葉かけを行う。 ②自他の思いの違いに気付けるような場面設定や約束やきまりがあることで心地良く過ごせることに気付けるようにする。
2 学 期	13	①周りの人の支援や親切な行為を心地よいものとして受け入れ親切な行為の背景にある温かい気持ちに気付くこと ②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと	①家族など日頃世話になっている人々に感謝しようとしている。 ②家族との関わりに心地よさや喜び、楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている	B【感謝】 ①いつもありがとう C【家族愛、家庭生活の充実】 ②だいすきだよ	①スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。 ②敬老の日を通して、祖父母に対する感謝の気持ちや大好きな気持ちを伝える。
		①身近な生き物に気づき、親しみをもちつこと ②健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でしてみようとしたり思い通りにいかない時に、立ち直ったり感情をコントロールしたりすること。	①身近な生き物に気づき、親しみをもちとうとしている ②健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でしてみようとしたり思い通りにいかない時に、立ち直ったり感情をコントロールしようとしている。	D【自然愛護】 ①しぜんとなかよく A【節度、節制】 ②わがままをしない	①動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験できるようにする。また生き物を飼うことで、その世話を手伝ったりしながら慣れ親しむようにする。子供が乱暴な扱いをしてしまう場合には、生命の尊さに触れる機会と捉え、根気強く丁寧に対応ことが求められる。 ②子供の思いやペースを尊重して丁寧に関わる。自分でできた時の達成感や心地よさを味わえるようにする。
		①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしてみようとする事 ②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごすこと	①自分なりにしたいことを見つけ、自分の力でしようとしている。 ②教師や友達との触れ合いや関わりに心地よさや楽しさを感じ、安心感をもって過ごそうとしている	A【希望と勇気、努力と強い意志】 ①さいごまでがんばる C【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ②ともだちととあそぼう	①自分のことはできるだけ自分でやろうとする。最後までやりぬき、成功の満足感を味わう。 ②子供が学校生活の何に心地よさを感じるのか、誰と関わると安定するのか把握する。他の子供の存在に気付けるよう場を共有する。
		③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみをもちつこと	③様々な行事や遊びを通して日本古来の文化や伝統に触れ親しみをもちとうとしている。	C【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 お正月、節分など	③お正月遊びや節分などの遊びを楽しめるように教材や場の工夫をする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部4年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・多様な他者と活動する意義や必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けることができたか。 ・課題解決に向けて、話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができたか。 ・自主的、実践的な集団活動を通して、よりよい学校生活を築いていこうとする態度が見られたか。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つこととしている。	・今日から4年生！！ （学年・学級開き） ・1学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標と1学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と2学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・1学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学习（白川小）	・交流学习を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・1学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・1学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・1学期頑張った会	・1学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
2 学期	10	・2学期の個人目標を考えることができる。	・2学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・2学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・2学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・2学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・2学期頑張った会	・2学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・3学期の個人目標を考えることができる。	・3学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・1学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達をと関わる。
		・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶようとしている。	・児童会について ・児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。

3 学 期	11	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	・卒業おめでとう	・卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・3学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・3学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう (キャリアパスポート)	・目標を振り返り、できたか振り返る。
		・1年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・1年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・もうすぐ5年生	・1年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		・春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・春休みに向けて	・春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

小学部(Ⅱ課程)

第5学年

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部5学年		文科省著作教科書 ☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	60	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする事ができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア 基本的な生活習慣 ○一人でやってみよう！ ・みだしなみ ・せいらせいとん ・きゅうしよくのじゅんぴ・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	(知及技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動している。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ウ 日課・予定 ○よていのかくにん ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。
	35	(知及技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊んでいる。 (主学)自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	エ 遊び ○なかよくあそぼう ・なににてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 (的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ポッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど) ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 (はないちもんめ、とうりゃんせなど) 【道具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	28	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○しよくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
	2	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	カ 役割 ○かかりのしごと ・きゅうしよくをくぼろう ・ポスターをはろう	【集団参加や集団内での役割】 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。様々な役割があることを知り、他の係を意識しながら活動の見直しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。

1 学 期	7	(知及技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○めざせ！生きものはかせ ・生きものをさがそう・かんさつしよう ・生きもののひみつはっ見！ ・生きものずかん ・つたえよう ○草花や木のはであそぼう ・はる・なつ	【動物の飼育】 ・身近にいる昆虫、魚等を飼育し、観察をする。外敵の防止や気温の変化等に十分配慮する。 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉を集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	3	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとする事ができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○おてつだいをしよう ○そうじをしよう	【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【戸締まり】 ・窓の開閉や鍵の開け閉めが、いつ、どのようなときに必要なか理解する。開閉の意味やタイミングなどを聞き、手伝いを習慣化させる。 【掃除】 ・分担された場所の掃除をする。それぞれの場所に適した掃除の方法や手順、用具の使い方などを身に付ける。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。片付けをすることは集団における大切なルールだと知る
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○あんぜんにくらそう ・あつ！あぶない！ ○じぶんのあんぜんはじぶんでもろう ・「こんなときどうする？」 ～火じになったら～	【危険防止】 ・火事になったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○しらべてみよう ・わたしたちのまち ・しょうひんはどこからきたかな	【いろいろな店】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもち。 【社会の様子】 ・絵や文字、写真などを使って地図上に表現する地域マップづくり。教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもち。 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る。
	4	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする事ができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ア 基本的な生活習慣 ○一人でやってみよう ・ねるときのじゅんぴかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんぴ・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○あんぜんに くらそう ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ・実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとする事ができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 ○ホットケーキづくりをてっだおう	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。

3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行うことができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行っている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○わたしがかぞく ・かぞくをしようかいしよう	【自分自身と家族】 ・自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したり紹介したりする。
3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○じぶんのもののひとのもの ・ものをかるとき ・おとしものをひろったとき	【自分の物と他人の物の区別】 ・物を適切な方法で貸し借りする。落とし物を拾ったときの対処。
3	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○わたしのまわりの人 ・わたしかぞく、きんじょの人	【家族・親戚・近所の人】 ・家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業がわかったりする。
25	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 (主学) 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○しよくぶつをそだてよう ・たねをまこう ・そだてよう	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動している。 (主学) 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ケ きまり ○せいかつのなかのきまり ・としょかんやこうえんなどをつかうときのきまり ・のりものをつかうときのきまり	【日常生活のきまり】 ・公共施設や公共機関を利用する際のきまり守る。非常用設備について、使用法や役割を理解する。 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
3	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするように心がけている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○じぶんのあんぜんはじぶん でまもう ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～	【危険防止】 ・地震になったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
3	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行うことができる。 (学・人) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行っている。 (主学) 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○きもちをつたえよう ・いろいろな気持ち ・気持ちを込めて	【気持ちを伝える対応】 ・御礼や謝罪などの気持ちを相手に理解してもらえるよう、気持ちを込めて言う。

	3	【知及技】 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 【思判表力】 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 【学・人】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べている。 【思・判・表】 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現している。 【主学】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	サ 生命・自然 ○草木や木のはであそぼう ・あき・ふゆ	【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
3 学期	3	【知及技】 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けていることができる。 【思判表力】 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 【学・人】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 金銭の扱い方などの知識や技能をを身に付けている。 【思・判・表】 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れている。 【主学】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	ク 金銭の扱い ○かいもの ・どこでなにをうっているかな ・かいものにちょうせんしよう	【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動販売機などを自分で利用する。
	4	【知及技】 ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 【思判表力】 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。 【学・人】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べている。 【思・判・表】 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現している。 【主学】 自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き ○かぜやゴムの力でうごかそう ・かぜの力でうごかそう ・ゴムの力でうごかそう	【風やゴムの力の働き】 ・風の大きさを変えると物が動く様子も変わることにつづく。（風で動く車） 【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力の大きさを変えると物が動く様子も変わることにつづく。（発射装置とゴムの力で動く車）
	4	【知及技】 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 【思判表力】 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 【学・人】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 【思・判・表】 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 【主学】 身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 ○町ではたらく人にいこう ・町のあんぜんをまもるために ・はたらく人たち	【公共施設の利用】 ・警察署や消防署、郵便局などを実際に訪問したり、見学したりして、おおよその意味を分かる。
	2	【知及技】 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 【思判表力】 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行うことができる。 【学・人】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行っている。 【主学】 身近な人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	オ 人との関わり ○でんわやおきゃくさまへのたいおう ・でんわのとりつぎ ・おきゃくさまへのたいおう	【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客時に、適切に取り次ぎする。構内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐ。
	2	【知及技】 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 【思判表力】 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするように心がけることができる。 【学・人】 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりすることができる。	【知・技】 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 【思・判・表】 日常生活の安全や防災に関心を持ち、安全な生活をするように心がけている。 【主学】 自分のことに取り組んだり、身近な人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学んだり、その学びを生活を豊かにするために生かしたりしようとしている。	イ 安全 ○さいがいにそなえて ・いろいろなさいがい ・あんぜんにひなんする	【防災】 ・様々な災害（洪水、土砂崩れ、強い地震、火事等）について知る。 ・様々な災害を想定した非常用防災バッグ等について知る。 ※訓練と連携し取り組む。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部5学年		こくご☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力)出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、様々なお話にふれる。 ・「読書月間」等の機会を活用して、図書室を利用したり、本に親しむ機会を設定する。
1学期	10	(知及技) 図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技) 図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 本をさがそう	【図書の活用】（図書に親しむ） ・利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ・興味関心のある本を図書室で探す。 ・図書を用いた調べ方を理解することができるようにする。（本には目次があることなど） ※行事（読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。
	10	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	うさぎとかめ	・言葉の響きやリズムに親しみながら、好きな台詞や場面に注目したり、挿絵やうさぎとかめのやり取りと手がかりにして、うさぎとかめの物語の大体を捉えたりする。
	15	(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む ひらがなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵とひらがなを合わせて提示するなど、声に出す活動を行う。 ・長音、拗音、促音などが含まれている語句を読む。 ・「おもち」と「おもちゃ」の文字を並べて示し、違う部分に着目できるようにし、文字と読み方の関係を理解する。 ・言葉集め（拗音・長音・促音などの入った言葉）やかるた取りなどを行う。

2 学 期	11	(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える事ができる。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすることができる。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 (思・判・表) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりしようとしている。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す たのしかった満足	【感じたことや経験したことを話す】【おおそを捉え、あらましを話す】 ・行事等の動画や写真を見て、経験したことを思い浮かべる。 ・思い出や伝えたいことを発表する。 ※行事（宿泊学習や読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。
	15	(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこうとしている。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く ひらがなをかこう	【文字を書く】 ・平仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。（相手が読めるように丁寧に書く） ・署中見舞いを書いてみよう。
	13	(知及技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む おじいさんとねずみのはなし	【絵本の読解】【おおそを捉え、あらましを話す】 【時間や手順に沿って、順序立てて話す】 【感じたことや経験したことを話す】【音読や劇】 ・挿絵を示しながら、読み聞かせを行う。 ・言葉を一緒に読んだり、動きを併せて読んだりして、言葉の響きやリズムに親しめるようにする。 ・場面ごとに挿絵を提示し、気付いたことを伝え合い、話の大体を理解する。 ・文と挿絵を基に、おじいさんの行動を読み取る。また、表情から気持ちを考えたりする。
	15	(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む わらべうた	【絵本の読解】【感じたことや経験したことを話す】 ・絵をみながら、言葉が表している内容を理解する。 ・わらべ歌遊びをする。
	15	(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む かたかなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵を手がかりに、表記している片仮名を読む。 ・似ている文字の違いに気付けるようにする。 ・長音や拗音の表記の特徴に気付けるようにする。

3 学 期	14	〔知及技〕 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 正しい姿勢で音読することができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	〔知及技〕 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を読もうとしている。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくようとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	〔読む〕 かたかなをさがそう	【文字・文を読む】 ・本文の読み聞かせを聞き、片仮名で書かれているものが、挿絵のどこにあるか探す。 ・教師の範音に続いて、音読する。 ・校内や図書資料から片仮名で表す語句を探す。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	15	〔知及技〕言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	〔知及技〕言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くようとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く かたかなをかこう	【文字を書く】 ・絵の名称を確認し、五十音表から読みと対応する片仮名を探したり、片仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く) ・年賀状を書いてみよう。
	12	〔知及技〕 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (思判表力) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	〔知・技〕 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くようとしている。 (思・判・表) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	〔読む〕 パーティーをしよう	【おおよそを捉え、あらましを話す】【音読や劇】 ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物になったつもりで音読する。 ・同じ行で始まる言葉集めを行う。
	20	〔知及技〕 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	〔知・技〕 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くようとしている。 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。・助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。 ・毛筆を使っの書初めを体験する。
	10	〔知及技〕 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	〔知・技〕 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	〔読む〕 のりもの	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 (図書に親しむ・図書の活用) ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・身近な乗り物を調べ、発表する。
	留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部5学年		文科省著作教科書 こくこ☆☆

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主・学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知・技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表すことができる。 具体的な事象を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表すことができる。 具体的な事象を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。 (思・判・表) 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主・学) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習しようとしている。	A数と計算ア： ・いくつといくつ②③④：（6～7の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：2段階「数と計算」のまとめ。	・いくつといくつ②③④：（6～7の数）一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。 ・いくつといくつ⑤⑥：今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。 ・10はいくつといくつ：10の補数について調べ、理解する。 ・まとめ：2段階「数と計算」のまとめ。
	6	(知・技) 身の回りの出来事から〇×を用いた簡単な表を作成することができる。 簡単な表で使用する〇×の記号の意味が分かる。 (思・判・表) 身の回りの出来事を捉え、〇×を用いた簡単な表で表現することができる。 (学・人) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 身の回りの出来事から〇×を用いた簡単な表を作成しようとしている。 簡単な表で使用する〇×の記号の意味を理解しようとしている。 (思・判・表) 身の回りの出来事を捉え、〇×を用いた簡単な表で表現しようとしている。 (主・学) 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとしている。	Bデータの活用ウ：あたったらずれたら	・あたったらずれたら：身の回りの出来事から〇×を用いた簡単な表を作成し、使用する記号の意味が分かる。
	15	(知・技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解ができる。 加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解している。 加法が用いられている場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主・学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 合併と増加 10までの数の加法	・あわせていくつ：「あわせて」が分かる。（具体物を操作しながら）二つの集合を合わせた集合の要素の個数を求める演算について分かる。 ・ふえるといくつ：「ふえる」と等の加法の言葉が分かる。 ・しきをつくりましょう：「+」「=」の記号の意味が分かる。 ・10までの数のたしざん：1位数と1位数との繰り上がりがない加法計算の仕方が分かる。加法の式を読んで、加法が用いられる具体的な場面を表す。
	16	(知・技) 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解ができる。 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解している。 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 (主・学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 求残 10までの数の減法	・のこりはいくつ①②：「減らす」など具体的な操作を通して用語の使い方や減少を意識する。 ・ちがいはいくつ：具体的な操作を通して二つの数の「どちらが」「いくつ」多いか少ないかの違いに着目したり用語を使ったりする。 ・しきをつくりましょう：「-」「=」の記号の意味が分かる。 引き算の場面を式に表す。 ・10までの数のひきざん：1位数と1位数との繰り下がりがない減法計算の仕方が分かる。減法が用いられる具体的な場面を表す。
	12	(知・技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表そうとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えようとしている。 (主・学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ものの位置を表す言葉	・まえとうしろ①②：自分を中心とした位置について理解する。 ・上と下：基準となる物の「上」と「下」について理解する。 ・中とそと：中と外の位置関係に気づく。 ・右、左：右と左を理解する。
	9	(知・技) 具体物を分配したり等分したりすることができる。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 具体物を分配したり等分したりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主・学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 分配	・おなじくずりわけしよう①（ふたりでわけよう）：具体物が一つずつ分ける。 ・おなじくずりわけしよう②：具体物を一つずつ分ける。等分したことが分かる。 ・おなじくずりわけよう③：2等分、4等分したり、一つを等分したりする。

2 学 期	21	(知・技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 20までの整数の表し方	・10より大きいかず：10より大きい数の読み方を知る。 ・10といくつ①：10進位取り記数法の基礎となる10のまとまりと「そのほかにあといくつ」に分ける。 ・10といくつ②：10より大きい数の読み書き。 ・10より大きい数：10より大きい数を書く。
	7	(知・技) 数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 まとめでたぞえましょう	・2ずつかぞえましょう：指などを使い、「に」「し」「ろく」とまとまりを意識しながら学習にする。 ・5ずつかぞえましょう：5飛びの数唱や5ずつのまとまりで数える。
	13	(知・技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 (思判表力) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習にとり組んでいる。	(知・技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較しようとしている。 (思・判・表) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定（直接比較・間接比較） ながい・みじかい	・ながい、みじかい①：基準に対して「長い」「短い」を比べる。 ・ながい、みじかい②：具体物を直接比較して「長い」「短い」が分かる。 ・ながさをくらべましょう①：片方の端をそろえて比べる。 ・ながさをくらべましょう②：3厘以上の長短について、2厘ずつ比べて3厘以上の長短を判断する。 ・ながさをくらべましょう③：直接比較できないとの比べ方（テープに写し取る）が分かる。
	16	(知・技) 日常生活の中で時刻を読むことができる。 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。 (思判表力) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結びつけて表現することができる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 日常生活の中で時刻を読もうとしている。 時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解しようとしている。 (思・判・表) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結びつけて表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 時刻や時間	・学校のせいかつ：「〇時」の読み方、「〇〇：〇〇」の書き方を含め、時計に慣れる。 ・ながいはり、みじかいはり：時計には長針、短針があることを知る。また、長針が一周したら1時間分進むことに気づく。 ・ながいはり：10分刻みの時刻を読み取る。 ・みじかいはり：〇時を読み取る。〇時を表す扇形に注目する。
	8	(知・技) お金の種類、数え方、等価関係などについて理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) 数を十を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算 かいものをしましょう①	・お金の種類を弁別することができる（1円、5円、10円）。 ・1円硬貨10枚までの金額を数えることができる。 ・10円と1円10枚、5円と1円5枚の等価関係が分かる。 ・何枚かの十円硬貨で買えないときもう1枚出して買う。 ・値段にちょうどのお金を用意して買う。 ※校外学習にて、体験的な活動を行う。
3 学 期	17	(知・技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。	(知・技) 20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 数の大小の比較	・20までの数の大小①：具体物や半具体物を活用し、数の比較を行う。 ・20までの数の大小②：半具体物を頼りに数の大小比較を行う。 ・20までの数の大小③：2位数と1位数の比較を具体物の比較で行う。 ・20までの数の大小④：数字同士で数の比較を行う。
	14	(知・技) ものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを讀んだりすることができる。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。 (思判表力) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。 (学・人) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) ものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを讀んだりしようとしている。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ろうとしている。 (思・判・表) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用 数やデータを図や記号で表そう	・ひょうをつくりましょう①②：ボウリングなどのゲームを通して、結果を記号に置き換えて表に表す。 ・個数に着目して表に整理する。
	13	(知・技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 身の回りにあるものの形を図形として取られることができる。 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学習に取り組んでいる。	(知・技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとしている。 具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 (思・判・表) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 身の回りにあるものの形を図形として取えようとしている。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 かたちあそび	・空き缶や空き箱を積んだりしながら、形の特徴を理解できるようにする。 ・箱や容器などの面の形を写し取り、絵を描く。 ・写し取ったものを使って絵を描く。
留意点 引継ぎ等					

令和6年度 小学部 5年（Ⅱ課程） 音楽 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部5学年		音楽☆☆☆、他

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技） 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。 （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。 協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽しむことができる。	（知・技） 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 （思・判・表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもつている。 （主学） 音や音楽に楽しく関わり、身の回りの様々な音楽に興味をもっている。 教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして楽しもうとしている。	【歌唱】 ☆校歌 ☆はるがきた ☆手と手と手と ☆こいのぼり ☆ゆかいのまきば ☆はくスのミックスジュース ☆にじ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 （思・判・表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見い出して聴こうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 ☆かえるのがつしょう ☆わだいのをえんそうしょう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を運んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 （思判表力） 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくなかに思いをもったりすることができる。 （学・人） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズムやパターンの特徴に気づいている。 音を運んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくらうとしている。 （思・判・表） 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくなかに思いをもったりすることができている。 ・曲や演奏の楽しさを見い出して聴こうとしている。 （主学） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆あめの音楽をつくらう 「天気予報をお知らせします」「あまだれ」	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	（知・技） 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をしている。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりしている。 （思・判・表） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもっている。 （主学） 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆だるまさんがおどった！ ☆のーののせる ☆たのしいね ☆やっほっほ夏休み	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。

		【知識】 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 【思判表力】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 【学・人】 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	【知・技】 リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこととしている。 【思・判・表】 鑑賞表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもととしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【鑑賞】 ・月桃 ・千子のワルツ ・七夕	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		【知及技】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 【思判表力】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 【学・人】 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	【知・技】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもととしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【歌唱】 ・校歌 ・宿泊学習の歌 ・虫のこえ ・わらべうた	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づくこと。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づくこと。
		【知及技】 リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 【思判表力】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現に対する思いをもつことができる。 【学・人】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこととしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこととしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【器楽】 【器楽】 ☆わだいのこえんそうしよう ☆村まつり ☆いふうどうどう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
2 学期	28	【知及技】 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることことができる。 【思判表力】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽遊びを通して音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていくなかに思いをもたたりすることができる。 【学・人】 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	【知・技】 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこととしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くこととしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【音楽づくり】 ☆虫のがつそうたい	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		【知及技】 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 【思判表力】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 【学・人】 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもちとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものになろうとする態度を養うことができる。	【知・技】 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもととしている。 【主学】 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【身体表現】 ☆あらうま ・もったいないばあさんおんど ☆エイサー ☆山ごやいっけん	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づくこと。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づくこと。

		〔知識〕 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 〔思判表力〕 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 〔学・人〕 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	〔知・技〕 リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づいている。 〔思・判・表〕 鑑賞表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、鑑賞表現に対する思いをもとうとしている。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞〕 ・オーケストラのがっき	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
3 学 期	18	〔知及技〕 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。 自分の歌声の大きさを発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。 〔思判表力〕 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを持つことができる。 〔学・人〕 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	〔知・技〕 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づいている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりしている。 自分の歌声の大きさを発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりしている。 〔思・判・表〕 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもとうとしている。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔歌唱〕 ・校歌 ☆山びこごっこ ・卒業の歌	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づく。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づく。
		〔知及技〕 リズム、速度や強弱の違いに気付くことができる。 演奏の仕方による楽器の音色の違いに気付くことができる。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりすることができる。 〔思判表力〕 鑑賞表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら鑑賞表現に対する思いをもつことができる。 〔学・人〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	〔知・技〕 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 身近な打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て演奏したり、教師や友達の楽器の音を聴いて演奏したりしている。 〔思・判・表〕 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔器楽〕 ☆ミッキーマウスマーチ	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		〔知及技〕 声や身の回りの様々な音の特徴に気づくことができる。 簡単なリズムやパターンの特徴に気づくことができる。 音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくることができる。 〔思判表力〕 音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていかにについて思いをもったりすることができる。 〔学・人〕 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。	〔知・技〕 ・様々な音の特徴や曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 ・音を選んだりつなげたりして表現したり、教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いたりして、簡単な音楽をつくっている。 〔思・判・表〕 ・音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽にしていかにについて思いをもったりしている。 〔主学〕 音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔音楽づくり〕 ☆がっきでおはなしよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		〔知及技〕 曲のリズム、速度、旋律に気付くことができる。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付くことができる。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現をすることができる。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりすることができる。 〔思判表力〕 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 〔学・人〕 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつことができる。	〔知・技〕 曲のリズム、速度、旋律に気付いている。 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部に気付いている。 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして身体表現している。 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現したり、教師や友達と一緒に体を使って表現したりしている。 〔思・判・表〕 簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔身体表現〕 ・エイサー ・わらべうた ☆おしくらまんじゅう ・鬼のパンツ	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づく。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づく。
		〔知識〕 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 〔思判表力〕 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 〔学・人〕 音楽活動を楽しみながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。 鑑賞には「技能」項目なし	〔知・技〕 リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこととしている。 〔思・判・表〕 鑑賞表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、鑑賞表現に対する思いをもとうとしている。 〔主学〕 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	〔鑑賞〕 ☆君がよ	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 5学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 (思判表力)造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	25	(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 ○いろいろな技法 ・霧吹き（スパッタリング） ・はじき絵（パチック技法） ・マーブリング ・デカルコマニー など	・霧吹きや網でこすり出した模様の様子を楽しむ。 ・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具の様子を楽しむ。 〈道具：クレヨン、絵の具、ビー玉、網、ブラシ、霧吹き、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		(知及技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。 (思・判・表) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 (主学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 ○描いてみよう ・自慢の家族 ・自画像を描こう	・いろいろな形や色を見つけて工夫して表す、描きたいものを思いつく、思いついたものを楽しむ。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、カップ、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこととしている。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	描画 ○感じたこと、見たことを描こう ・宿泊学習の思い出を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知及技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思判表力) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して形や色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 材料や方法、感じた事などから表したいことを思いついたり、形や色、表し方の面白さなどを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） ○作って飾ろう ・ちよさちよさがざり	・四つ折りや八折りで簡単な形の切り紙をする。 ・丁寧に折る方法やはさみの使い方をあらかじめ確認、練習する。 ・デザインや色を変えながら、2～3つの切り紙を作り、A3サイズに構成してトートバッグの図案をデザインする。もしくは、窓ガラスに貼って楽しむ。重ねて貼ると見え方が変わるのも発見の一つ。 〈道具：はさみ、切り紙の型等〉 〈材料：折り紙、セロテープ、コピー用紙等〉 (教科書：ずがこうさく1・2上 P12～13参考)
		(知及技) 写してできる形に気付き工夫して描くことができる。 (思判表力) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫する刷ることの楽しさを味わうことができる。	(知・技) 写してできる形に気付き工夫して描くことができる。 (思・判・表) 自分の感覚や行為を通して、どのように表すか考えたり形や色について自分のイメージを持つことができる。 (主学) 楽しく図工の活動に取り組み、表現や工夫する刷ることの楽しさを味わうことができる。	版画 ○写してみよう ・コログラフ ・カラージュ版画	・厚紙等に紙、布、ひも、植物の葉など様々な物を貼り、スプレーペンキでコーティングするかアルミホイルで覆うかして版を作る。 ・黒インク・プレス機で刷る。薄めに溶いた透明水彩・アクリル・インクなどで彩色し、印象の違いを確認する。 〈道具：接着剤、アルミホイルまたはスプレーペンキ、プレス機、スポンジローラー、ぞうきん等〉 〈材料：厚紙、布、紙、ひもなど貼り付ける物、和紙、新聞紙 水性インクがアクリル絵の具等〉

2 学 期	25	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わっている。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付こうとしている。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わろうとしている。	描画 ○感じたこと、見たことを描こう ・読書感想画を描こう	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形・色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 材料に触れ表したいことを思いついたり、表し方の面白さを感じ取り自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主・学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しんでいる。	作る(粘土) ○ねんどでつくろう ・つるす飾り	紙粘土(ふわふわ軽い方)をちぎって団子をたくさん作る。爪楊枝に刺し、発泡スチロールにさして乾燥させ、その後水性ペンや水彩絵の具で着色。爪楊枝を抜いた穴からワイヤー(3メートルくらい)をとおし、全部通したら曲げて好みの形に仕上げる。天井からつるす。 〈道具：ペンチ、爪楊枝、水性ペン、水彩用具、爪楊枝、発泡スチロールのかたまり等〉 〈材料：ふわっと軽い紙粘土、アルミワイヤー等〉
3 学 期	20	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 材料や、創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができる。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品を作ったりするとともに、自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 材料や、創造したことなどから表したいことを思いついたり、色や形などから自分のイメージを持つことができる。 (主・学) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る(工作) ○作ってあそぼう ・かみざら ころころ	・紙皿を空き箱や紙の筒に付けると、転がる形になり、それらに色付けしたり飾りを付けたりする。 〈道具：のり、はさみ、カッター、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、紙皿、紙コップ、お菓子の箱等〉 (教科書：ずがこうさく1・2上 P50～50参考)
		(知・技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 (思・判・表) 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつことができる。 (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付こうとしている。 (思・判・表) 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもとうとしている。 (主・学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	描画 ○協力してつくろう ・卒業式の壁面を作ろう	・スタンプやローラーなどを使って模様を描く。卒業式をイメージした絵を描いたり、花などのイラストの塗り絵をしたりして張り付ける。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、スタンプ、ローラー、のり、はさみ等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、模造紙、新聞紙等〉
		(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付くことができる。 (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (学・人) つくりだす喜びを味わい進んで鑑賞する学習活動に取り組もうとする。	(知・技) 自然物や人工物などについて、目で見、手で触れるなどして形や色などの違いに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 (主・学) つくりだす喜びを味わい、進んで鑑賞活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ○見てみよう ・ふりかえり ・作品集づくり	・1年間の学習を振り返りながら、作品集を作る。作った作品集を発表し、自分や友だちの作品の良さ伝え合う。 ・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分の友だちの作品の良さを感じる。
留意点 引継ぎ等		描画(絵に表す活動) 作る(立体に表す活動、工作に表す活動) 鑑賞(造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動)			

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部5学年		

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身につける。 （思判表力）基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫する。 （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	（知及技） 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。 （思判表力） 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫することができる。 （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。	（知・技） 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 （思・判・表） 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫しようとしている。 （主学） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく基本的な体づくり運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【体ほぐしの運動】 ・ベアでボール運び ・みんなで合わせてジャンプ ・みんなで合わせてウォーキング ・フラフープ送り ・なべなべそぬけ など	【体ほぐし運動】 ・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って弾むような動作で運動 ・動作や人数などの条件を整えて、歩いたり走ったりする運動 ・伝承遊びや集団による運動
	10	（知及技） 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。 （思判表力） 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫することができる。 （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をすることができる。	（知・技） 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 （思・判・表） 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫しようとしている。 （主学） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【固定施設を使った基本的な運動】 ・平均台（前向き、後ろ向き） ・操作しながら進め！ （トンネル、キャスターボード） 【跳び箱を使った基本的な運動】 ・跳び乗り、跳び下り など	【固定施設を使った基本的な運動】 ・細い平均台を前向きに歩いたり、後ろ向きに歩いたりすること 【跳び箱を使った基本的な運動】 ・教師の支援を受けながら、両手を着いて跳び乗ったり、跳び下りたりすること
	10	（知及技） 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。（小学部3段階Dア） （思判表力） 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫することができる。（小学部3段階Dイ） （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。（小学部3段階Dウ）	（知・技） 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 （思・判・表） 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫しようとしている。 （主学） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく水の中での基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【水の中での基本的な運動】 ・水の中での基本的な運動 ・水中ゲーム 【決まりを守って行動しよう】 ・プールでのきまり ・準備、片付けなど	【水の中での基本的な運動】 ・プールの中で、水の中で目を開いたり鼻から息をはいたりして、浮き方、もぐり方に慣れる ・補助具などにつかまってばた足などをする 【水中ゲーム】 ・じゃんけん、にらめっこ、宝さがし、輪くぐり ・もぐる、目を開ける、浮く、水中で息を吐く 【きまりを守って行動しよう】 ・安全に運動する上で必要なきまりや事故を防ぐための約束、簡単なゲームのルールや用具等の準備、片付けにかかわるきまりなど
	13	（知及技） 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。 （思判表力） 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫することができる。 （学・人） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。	（知・技） 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 （思・判・表） 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫しようとしている。 （主学） きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく走・跳の基本的な運動をしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【走る運動】 ・持久走（5分間走） ・いろいろな走り方 （ジグザグ・S字レーン等） ・リレー 【跳ぶ運動】 ・両足跳び、ケンパー跳び ・障害物を跳び越えよう	【走る運動】 ・3～4分程度の時間を一定の速さでゆっくり走る ・一定時間内、自分のペースで走り続ける ・30～50mの距離を全力で走る ・30～50mの距離をジグザグ、S字のレーン、リレーなどで走る 【跳ぶ運動】 ・ケンパー跳びで片足や両足で連続して前方に跳ぶ ・低い障害物を使い、走る運動と合わせながら、助走をつけて勢よく跳び越える

2 学 期	7	(知及技) 基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。 (思判表力) 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫することができる。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をすることができる。	(知・技) 基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 (思・判・表) 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫しようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【表現運動】 ・身近な生活の中から ・空、海、風など	【題材と動き】 ・家事やスポーツなど身近な生活の中から特徴が捉え易く多様な感じの動きを含む題材(衣服が洗濯で洗われたり、干されたりする様子を捉え、全身の動きで表現すること) ・空、海、風など想像が広がる題材(大空を自由に飛び回る様子や、海の中を深く潜ったり泳いだり波に揺られたりする様子、風に吹かれていろいろな動きをしながら舞う様子などを自由に表現すること。)
	5	(知及技) 健康や身体の変化について知ることができる。 健康な生活に必要な事柄について工夫することができる。	(知・技) 健康や身体の変化について知ろうとしている。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄について工夫しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【身体の成長】 ・身体の成長の変化を知ろう 【健康な生活】 ・虫歯予防 ・体調の変化を知らせよう	【身体の成長】 ・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ 【健康な生活】 ・発熱や咳、排便の状態などについて意識する ・治療や休養が必要な場合について
3 学 期	20	(知及技) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知ることができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫することができる。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。	(知・技) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知ろうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫しようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しくボールを使った基本的な運動やゲームしようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【ボールを使った基本的な運動】 ・キャッチボール ・蹴る、パスやシュート ・手や足でドリブル 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・しっぽ取りゲーム	【ボールを使った基本的な運動】 ・ボールを投げる、転がす、捕る、打つ、止める、蹴る、ドリブル、シュートなどボールを操作する動き 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・逃げる、追いかける等の動き
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 5学年		Let's try!!

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言っていあいさつをしようとする。	(知・技) さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言っていあいさつをしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo!」 Super Simple Song
	4	(知及技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo!」 Super Simple Song
	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ (色、食べ物)	歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs

2 学期	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 (学・人) なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 (思判表力) 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 (学・人) なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ (いろいろな遊び) ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト(おぼけ、魔女、くも) ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット(色、食べ物) ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs
	4	(知及技) 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。 (学・人) なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとする。	(知及技) 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しもうとしている。 (思判表力) 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりしようとしている。 (学・人) なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう (速く、ゆっくり)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて動く。 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス 「きらきら星」
	4	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合することができる。 (思判表力) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合することができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (思・判・表) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主・学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer, Goodbye Snowmon」 -Super Simple Songs- ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム～クリスマスに関する～ (リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト) ・英語でフルーツバスケット (クリスマスに関する単語) ③フォニックス ④ダンス ・「きらきら星」
3 学期	4	(知及技) 身の回りには活字体の文字で表されているものを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前の頭文字を伝え合することができる。 (学・人) 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	(知・技) 身の回りには活字体の文字で表されているものを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前の頭文字を伝え合おうとしている。 (主・学) 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し (ABCD)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう (T, O, I, L, M, S, V, X, H) 等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	4	(知及技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 (学・人) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	(知・技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 (主・学) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ？ (家族の紹介)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 (よく聞いて、絵カードを指すゲーム) ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	(知及技) 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 (学・人) 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	(知及技) 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 (学・人) 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム (カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。) ③フォニックス ④ダンス ・「1年間のダンスの中から選択」
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部5学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとする思いをもつ	・自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている。	【個性の伸長】 ・じこしょうかい ～好きなこと、苦手なこと～	・自己紹介カードを作成し、自分の好きなことや苦手なこと等を考えたり、他者に伝えたりしながら、自分の特徴に気付く
	4	・周りの教師や友達に興味・関心を持ち、自ら関わろうとする気持ちをもつ ・友達と仲良くし、助け合うことの大切さに気付く	・教師や友達に興味・関心を持ち、自ら関わろうとしたり、遊ぼうとしている。 ・友達と仲良くするためにどうしたらいいのが気付いている。	【友情、信頼】 ・みんなで 遊ぼう ・みんな なかよく	・遊び等を通して、身近な大人である教師との信頼関係を築き、教師を介して他の子供と関わること ・友達と「仲良くすること」「助けあうこと」「仲直りすること」などを学習（平和学習と関連付ける）
	3	・生活の上で必要な約束やきまりの意味を考え、それらを守ろうとする気持ちを持つ	・約束やきまりの意味を考えたり、それらを守ることの大切さに気付いている。 ・日頃の自分の生活を振り返ったり、みんなで使う物や場所を大切に使うとする気持ちをもっている	【規則の尊重】 ・みんなで 守ろう	・「約束、きまりを守ること」 ・「みんなが使う場所を大切にすること」 ・「みんなが使う物を大切にすること」を学習
	3	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接する気持ちをもつ	・身近な自然に気付き、動植物に優しく接しようとする気持ちを持っている	【自然愛護】 ・しぜんと なかよく	・「自然に親しむこと」 ・「動物に優しく接すること」など ※動植物を実際に見たり、触ったりして様々な感覚を直接的に体験する学習を通して学習（宿泊学習と関連付ける）
2 学期	3	・よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする思いを持つ	・よいと思うことを進んで行うことの大切さに気付いている ・してはならないことは、しないようにしようとする気持ちを持っている	【善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいこととわるいこと	・よいことと悪いことを区別すること ・「よいと思うことを進んで行う」 ・「してはならないことはしない」を学習
	3	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付く	・自分のやるべき勉強や仕事を、最後まで行うことの大切さに気付いている	【希望と勇氣、努力と強い意志】 ・さいごまで がんばる	・係活動や学校行事等を題材にし、「やるべき事をしっかり行う」ことの学習を行う
	6	・身の回りを整えることによさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする思いをもつ ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付く	・身の回りを整えることによさに気付き、自分自身の身の回りを整えていこうとする気持ちを持っている ・規則正しい生活をするよさについて考え、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さに気付いている	【節度、節制】 ・毎日を さもちよく ・規則正しい生活	・健康や安全に気を付けた生活ができるようにするための基本的な生活習慣を身に付けることを学習
3 学期	3	・自分の誕生を心待ちにしていたくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもつ	・自分の誕生を心待ちにしていたくれた家族の思いに気付き、自分を大切にしたいという思いをもっている	【生命の尊さ】 ・大切な いのち	・自分の生まれた時の写真や話などから、自分の生命は家族や周囲の人たちに守られてきたこと、そして自らの生命を大切にしたいという気持ちを高める学習（十三祝いと関連付ける）
	5	・家族など日頃お世話になっている人達に感謝の気持ちを持つこと	・自分がいろいろな人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを持ち、表現している	【感謝】 ・いつも ありがとう	・周りの人の善意に気付き、感謝できる気持ちがもてるようにする（十三祝いと関連付ける）
	2	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようとする思いを持つ	・働くことのよさを知り、みんなのために役立つことをしようという気持ちを持っている	【勤労、公共の精神】 ・わたしに できること	・大掃除や分担区清掃等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部5学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	17	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。	・新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持とうとしている。	・今日から5年生！！ （学年・学級開き） ・1学期頑張ろう会	・学年開きや学級開きを通して、担任や友達の顔や名前を知る。
		・学級目標や1学期の個人目標を考えることができる。	・学級目標と2学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・1学期の個人目標を考えたり、選んだりする。 ・学級目標を考えて、みんなで決める。
		・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。	・図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。	・図書室オリエンテーション	・図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。
		・学級で必要な係は何か考えたり、自分でやってみたい係を選んだりすることができる。	・学級で必要な係は何かを考えたり、自分でやってみたい係を選んだりしようとしている。	・係活動を決めよう	・どんな係があるか考えたり、自分でやってみたい係を選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達と関わる。
		・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組もうとしている。	・ようこそ島尻へ	・新入生・転入生を迎える会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・近隣校等の友達と交流することができる。	・近隣校等の友達と交流しようとしている。	・交流学习（白川小）	・交流学习を通して、近隣校等の友達と交流する。
		・1学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・1学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・1学期頑張った会	・1学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
2 学期	8	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	・夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。
		・2学期の個人目標を考えることができる。	・2学期の個人目標を考えようとしている。	・目標を立てよう	・2学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・他学年と遊ぼう	・他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達と関わる。
		・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備しようとしている。	・お楽しみ会をしよう	・お楽しみ会等を通して、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり準備する。
		・2学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・2学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・学習を振り返ろう （キャリアパスポート） ・2学期頑張った会	・2学期の目標について振り返り、教師と一緒に写真や動画等を用いて評価する。
		・冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	・冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの約束や過ごし方、宿題等について知る。

3 学 期	10	・ 3学期の個人目標を考えることができる。	・ 3学期の個人目標を考えようとしている。	・ 目標を立てよう	・ 1学期の個人目標を考えたり、選んだりする。
		・ 他学年との交流を通して、学年・学級以外の教師や友達と関わることができる。	・ 学年、学級以外の教師や友達と関わろうとしている。	・ 他学年と遊ぼう	・ 他学年との交流（遊びなど）を通して学年・学級以外の教師や友達と関わる。
		・ 児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶことができる。	・ 児童会役員として「頑張りたい」「応援したい」人を、学年投票で選ぶようとしている。	・ 児童会について ・ 児童会役員を選ぼう （学年選挙）	・ 児童会の取り組みを知り、立候補や演説をしたり、応援したい友達を投票で選ぶ。
		・ 卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組むことができる。	・ 卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組もうとしていた。	・ 卒業おめでとう	・ 卒業生を送る会に向けて、分担された役割に取り組む。
		・ 3学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	・ 3学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	・ 学習を振り返ろう （キャリアパスポート）	・ 目標を振り返り、できたか振り返る。
		・ 1年間を振り返り、次の学年への期待を持つことができる。	・ 1年間を振り返りながら、次の学年への期待を持とうとしている。	・ もうすぐ6年生	・ 1年間の学習や行事を振り返り、次の学年への期待を持つ。
		・ 春休みの約束や宿題等について知ることができる。	・ 春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	・ 春休みに向けて	・ 春休みの約束や過ごし方、宿題について知る。
留意点 引継ぎ等					

小学部(Ⅱ課程)

第 6 学年

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	小学部 6学年		文科省著作教科書 ☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わり気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができる。 （学・人）自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して 1 7 5	35	（知及技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 （学・人）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしることができる。	（知・技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 （主学）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「一人でやってみよう！」 ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	ア 基本的生活習慣 【身なり】袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【使用】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。
	35	（知及技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 （学・人）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしることができる。	（知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 （主学）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「あんぜんに くらすう」 ・気をつけてどうぐをつかう	イ 安全 【危険防止】 ・実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
	35	（知及技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動することができる。 （学・人）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	（知・技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）日常生活の日課・予定が分かり、おおよその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとしている。 （主学）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	「よていのかくにん」 ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	ウ 日課・予定 【日課・予定】 ・一週間程度の予定が分かり、カレンダーや予定表を見て学校や家庭の予定などに従って行動する。 ・都合により予定が変更する場合に対応する。
	35	（知及技）きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぶことができる。 （学・人）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	（知・技）きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）日常生活の遊びで友達と関りをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫して発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 （主学）自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしようとしている。	「なかよくあそぼう」 ・なにであそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	エ 遊び 【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。

	35	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	サ 生命・自然 「しょくぶつをそだてよう」 ・たねをまこう ・そだてよう ・しょくぶつのようなすをつたえよう ・たねをとうよう	サ 生命・自然 【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。
	4	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「かいをひらこう」 ・新入生を祝う会をひらこう ・かいでつかうものをつくろう ・じゅんぴをしよう ・さあ本ばん	力 役割 【集団の参加や集団内での役割】 ・新転入生を迎える会等、積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	2	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	サ 生命・自然 「きせつのすかん」 ・はるのすかん	サ 生命・自然 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「気をつけることはなにか」 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」 ・こんなときどうする？～火じになったら～	イ 安全・ 【危険防止】 ・火事になったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・火災避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	3	(知及技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしている。	「がっこうのきまり」 ・きまりについてそうだしよう 「せいかつのきまり」 ・火じやきんきゅうのときにつかうもの	ケ きまり 【学校のきまり】 ・必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 【生活のきまり】 ・学校内や身近な地域において、私たちの命や生活を守るために設置された非常用設備の役割や存在を知る。
	2	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「あんぜんに くらそう」 ・気をつけてちようりきぐをつかう	イ 安全・ 【危険防止】 ・実際の道具を見たり触ったりしながら、正しい使用の仕方と謝った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気を付けるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
1 学期 2 6	2	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしたりすることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしたりしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「ピザトーストづくりを手つたおう」	キ 手伝い・仕事 【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。

3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「空と天気」 ・ たいようと月 ・ 空と天気	サ 生命・自然 【空と天気の変化と生活】 ・ 天気予報や台風などの情報に関心をもつ。 ・ 太陽の出没の方角や満ち欠けなどを観察する。
2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行うことができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行おうとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしている。	「わたしとかぞく」 ・ かぞくをしようかいしょう	オ 人との関わり 【自分自身と家族】 ・ 自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したい紹介したりする。
3	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしている。	「もののかたちとおもさ」	【物と重さ】 ・ 物は形が変わっても重さは変わらないことに気づく。例えば、粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手こたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べたり、天秤やはかりで量って調べたりする。
3	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	サ 生命・自然 「きせつのすかん」 ・ なつのすかん	サ 生命・自然 【季節の変化と生活】 ・ 四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
2	(知及技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行うことができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近な人との関わりが分かり、一人で簡単な対応などを行おうとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしている。	「はなしてみよう」 ・ 見ききしたことやあそんだことを先生や友だちと話し合おう	オ 人との関わり 【身近な人との関り】 ・ 自分自身や家族のほかに関係等について簡単に話したり紹介したりする。 ・ 休日、見聞したことや遊んだ事を教師や友達と話し合う。 ・ 写真等を見ながらその時の様子を説明する。
4	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「しらべてみよう」 ・ こくみんのしゅく日について ・ こくみんのしゅく日のしゅるい	コ 社会の仕組みと公共施設 ・ 国民の祝日のおよその意味を調べ、カレンダーを制作する。
4	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「一人でやってみよう」 ・ ねるときのじゅんぴかたづけ ・ おふろ	ア 基本的な生活習慣 【ねるときのじゅんぴ・かたづけ】 ・ 就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・ 就寝前（起床後）の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組むことで習慣化を図る。 【おふろ】 ・ 入浴の際の身体を洗う手順。体の汚れを知る。体の洗い方を知り、動きを模倣する。

2 学 期 2 8	2	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしている。	「マナーをまもって気もちよく」	ケ きまり 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館など公共の場では静かにする等のマナーを理由とともに知る。
	2	(知・技) 安全や防災に関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 安全や防災に関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「じぶんのあんぜんはじぶんでもらう」 ・「こんなとき、どうする？」～じしんがおきたら～	イ 安全・ 【危険防止】 ・地震になったとき、どのように行動するのか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など 【防災】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ・地震火災津波避難訓練 ※訓練と連携し取り組む
	2	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「わたしのまわりの人」 ・がっこうではたらく人	コ 社会の仕組みと公共施設 【家族・親戚・近所の人】 ・学校で働く人と自分との関わりに気づき、それらの働きを知る。学校で働く人の職業名とその役割が分かる。
	2	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもち調べるができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもち調べるようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	サ 生命・自然 「きせつのずかん」 ・あきのずかん	サ 生命・自然 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
	6	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「おこづかいをもらったら」 「かいもの」 ・かいものにちようせんしよう ・いろいろなおかねのはらい かたがあるね	ク 金銭の扱い 【金銭の扱い】 ・日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れる。無駄遣いをしないことや正しい道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する。 【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動券売機などを自分で利用する。
	4	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「町ではたらく人にあいにいこう」 ・のりものにのろう ・校がいがかくしゅうにいこう	コ 社会の仕組みと公共施設 【交通機関の利用】 ・日常的に利用しているモノレールやバスなどの切符を自動券売機などで買う。 ・目的地までそれらを確実に利用する。 ・交通機関が遅延した際の対応方法、校外学習時の目的地までの交通機関を知る。 【公共施設の利用】 ・警察署、消防署などを訪問したり見学したりして社会の一員としての利用の仕方を知る。
	7	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	「ちいきのぎょうじ」 ・おまつりでおみせをひらこう ・おまつりのあとかたづけをしよう	力 役割 【集団の参加や集団内での役割】 ・低学年を招いてお店やさんごっこをしたり、1月の学習成果発表会等で保護者や来校者向けにお店をだしたりなど、もてなす側を体験する。 ・積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。

3 学 期 1 6	5	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとする (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている	「手げいにチャレンジ」	キ 手伝い・仕事 【手伝い】 ・簡単な製作活動を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う。 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分からから所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは集団における大切なルールだと知る。
	4	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	サ 生命・自然 「きせつのずかん」 ・ふゆのずかん	サ 生命・自然 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。
留意 点 引継 ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小学部6学年		こくご☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物をなどを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・ 絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、様々なお話にふれる。 ・ 「読書月間」等の機会を活用して、図書室を利用したり、自分の好きな絵本を探したり見たりし、本に親しむ機会を設定する。
1学期	12	(知及技) 姿勢や口形に気をつけて話すことができる。 (思判表力) 挨拶などの決まった言い方を使うことができる。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気をつけることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 姿勢や口形に気をつけて話そうとしている。 (思・判・表) 挨拶などの決まった言い方を使おうとしている。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気をつけようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く話す かんげい会	・ 歓迎会について知り、会を進めるのあたり必要な事柄について話し合う。 ・ 自己紹介の内容（名前・趣味など）を確認する。 ・ 司会、歓迎のことは、自己紹介など文字におこす。 ・ 役割に沿って練習を行う。 ・ 相手に伝わる声の大きさや声を出すときの姿勢等について知る。
	15	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 花	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 (図書に親しむ・図書の活用) ・ 読み聞かせを行う ・ 内容の大体を捉える。 ・ 促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・ 学校周辺で花などを探し、図鑑等で名前等を調べる。
	16	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 (思・判・表) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 手がみをかこう	【文字を書く】 ・ 行事等の中で手紙を通して事柄や思いを書き表す機会がないか考える。 ・ 手紙に書く内容や具体的な書き方を考える。 ・ 下書きをする。 ・ 清書をする。 ・ 暑中見舞いを書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。

	16	【知・技】 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	【知・技】 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 登場人物になったつもりで、音読したり演じようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 三びきの子がた	【音読や劇】 【絵本の読解】 【感じたことや経験したことを話す】 【おおそを捉え、あらましを話す】 ・読み聞かせを聞く。 ・場面ごとに演じる。 ・役に分かれて音読する。 ・劇遊びをする。
	16	【知・技】 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めることができる。 ・文などに対して感じたことを伝えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	【知・技】 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思・判・表) 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めようとしている。 ・文などに対して感じたことを伝えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【書く】 えにつきをかこう	【簡単な文章の記述・構成】 ・学校生活等を振り返り、絵日記の題材を決める。 ・書きたい内容の具体的な出来事を詳しく思い出す。 ・具体的な出来事の中から、伝えたい出来事を選ぶ。 ・「始め→中→終わり」等の構成になるように整理する。 ・下書きをする。 ・下書きを読み返し、誤りがないか確かめる。 ・清書する。 ・出来事を表す絵を描く。 ・発表する。また、友達の発表を聞き、更に聞きたいことを質問したり、感想を伝えたりする。 ・年賀状を書く。 ※行事や季節等に関する内容については随時取り扱う。
2 学 期	16	【知・技】 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	【知・技】 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 ブレーメンのまちのおはなし	【物語の時間経過、文章の内容のまとまりを捉える】 【絵本の読解】 【感じたことや経験したことを話す】 ・読み聞かせを行う。 ・場面ごとに、出来事や登場人物に関する発問をする。 ・時間的な順序に気付くことができるようにする。
	12	【知・技】 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	【知・技】 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 かんばんをよもう	【文字・文を読む】 ・教科書の挿絵を基に、どのような行動が求められているのか考える。 ・挿絵に示されている文字を読み、挿絵から読み取った内容と文字が書き表している内容を合わせ、理解を深める。 ・校内外にある立て札、標識を探し、それらが求めている行動について考えたりする。 ・ローマ字の読み方に触れる。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	12	【知・技】 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力) 挨拶などの決まった言い方を使うことができる。 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	【知・技】 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思・判・表) 挨拶などの決まった言い方を使おうとしている。 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【聞く・話す】 かいもの	・買い物やうまくできている場面とそうでない場面を提示し、何が違うのか考える。 ・慣用的な言い方を知る。 ・ロールプレイをする。

3 学 期	20	(知及技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板を読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 日常生活に必要な語句や文、看板を読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む ペープサートをつくろう	【音読や劇】 ・ペープサートの劇を鑑賞する。 ・「じゅんぴしよう」を読み、必要な物を準備する。 ・「つくろう」の四つの手順に沿ってペープサートを制作する。 ・「げきをしよう」のページを読み、劇へとつなげる。 ・相手に伝わるような発音や声の大きさ等を考える。
	25	(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くようとしている。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く かん字をよう・かこう	【文字・文を書く】 ・書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめる。 ・漢字を書写する。また、見本と比較し誤りがある場合は修正する。 ・毛筆を使つての書初めを体験する。
	15	(知及技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 見聞きたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知・技) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 見聞きたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりしようとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む さつまいも	【物語の時間経過、文章の内容のまとまりを捉える】 ・読み聞かせを行い、内容の大体を理解することができるようにする。 ・季節に関する言葉や時間経過に気付くことができるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程）算数科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	小学部6学年		文科省著作教科書☆☆☆／小学校教科書2年上（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 （思判表力）日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養うことができる。 （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	（知及技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 $2\text{位数} + 2\text{位数} = 2\text{位数}$の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。 （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 （学・人）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	（知・技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 $2\text{位数} + 2\text{位数} = 2\text{位数}$の筆算の仕方を理解し、答えを求めている。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 （主学）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 合併増加 たし算のひっ算	・しきをつくってけいさんしましょう：絵や文章題を読み解いて立式したり、加法が用いられる場合の言葉を見付けたりする。 ・2位数と1～2位数の加法計算（繰り上がりなし） ・2位数と1～2位数の加法計算（繰り上がりあり） ・2位数と1～2位数の加法計算（欠位、空位あり） ・加法の筆算形式；ブロックや式などを用いて数の仕組み（十進位取り記数法）に着目して考え、説明する。
	25	（知及技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 $2\text{位数} - 2\text{位数}$の筆算の仕方を理解し、答えを求めることができる。 （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。 （学・人）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	（知・技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 $2\text{位数} - 2\text{位数}$の筆算の仕方を理解し、答えを求めている。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かそうとしている。 （主学）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 求残 ひき算のひっ算	・しきをつくってけいさんしましょう：絵や文章題を読み解いて立式したり、減法が用いられる場合の言葉を見付けたりする。 ・2位数から1～2位数をひく減法計算（繰り下がりなし） ・2位数から1～2位数をひく減法計算（繰り下がりあり） ・2位数から1～2位数をひく減法計算（欠位、空位あり） ・減法の筆算形式；2位数の減法計算の仕方を、ブロックや式などを用いて数の仕組み（十進位取り記数法）に着目して考え、説明している。
	15	（知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見だし、説明することができる。 （学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	（知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えようとしている。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしようとしている。 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見だし、説明しようとしている。 （主学）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ・いろいろなかたち ・長方形と正方形 ・三角形と四角形	・しかくをつくろう①：図形としての形に着目する（4つの辺と4つの角があるのは四角）。 ・しかくをつくろう②：正方形と長方形の区別。 ・さんかくをつくろう：図形を構成、分解するという操作、また、図形の変化への着目。 ・かたちづくり：色紙などを活用し、図形についての感覚を豊かにする。
	30	（知及技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすることができる。 数を2ずつ、5ずつ、10ずつのまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。 （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について数え、学習や生活で生かすことができる。 （学・人）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	（知・技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解している。 数を2ずつ、5ずつ、10ずつのまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について数え、学習や生活で生かそうとしている。 （主学）数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 100までの整数の表し方 まとめてかぞえましょう 10のまとまり	・大きなかずのかきかた②：21以上の数について、ブロックなどを用いて、その数の大きさが分かり、読んだり書いたりすることができる。（十の位、一の位） ・じゅんばんにならべましょう③：100までの数列を理解し、数唱する。 ・2ずつかぞえましょう、5ずつかぞえましょう：2ずつ5ずつのまとまりで数を数える復習を行う。 ・10のまとまり：10ずつ数えていくことや数え方に慣れる。（百玉そろばん）

2 学期	15	(知及技) 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。 ・長さを表す単位 (cm、mm) を用いて測定したり物差しの目盛りを読んだりすることができる。 (思判表力) 身の回りのものの長さ、について、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 ・目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりすることができる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 ・長さを表す単位 (cm、mm) を用いて測定したり物差しの目盛りを読んだりしている。 (思・判・表) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 ながさをくらべましょう 長さをはかってあらわそう	・前年度学習した直接比較、間接比較の復習 ・ながさをくらべましょう (ながさはいくつぶんでしょう) : 目盛り方眼の上に置いた具体物の長さを数値化したり比べたりする。 ・長さをはかってあらわそう : 長さの単位「センチメートル(cm)」「ミリメートル(mm)」、物差しの使い方、目盛りの読み方を知る。
	15	(知及技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。 具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 傾斜をつくると角ができることを理解できる。 (思判表力) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、舞台物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。 (学・人) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 傾斜をつくると角ができることを理解している。 (思・判・表) 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、舞台物を用いて形を作ったり分解している。 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 (主学) 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形 ・角の大きさ	・かどをさがしましょう : 身の回りから、直角を探す。 ・いろいろな大きさのかく① : 角の大きさを変化させる活動 (ビー玉転がし等) を通して、角を変化させる事が出来ることに気づく。 ・いろいろな大きさのかく② : 形としての角と大きさとしての角について理解する。
	10	(知及技) お金の種類、数え方、等価関係などについて理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 数を十を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算 金銭の価値	・お金の種類を弁別する (50円、100円等)。 ・10円硬貨10枚までの金額を数えることができる。 ・100円と10円10枚、50円と10円5枚の等価関係が分かる。 ・2種類の硬貨を組み合わせ、ちょうどの金額を支払うことができる。 ・値段に対して、価値が少し大きいお金を出して商品とおつりを受け取ったりする。 ※校外学習にて体験的な活動を行う。
3 学期	15	(知及技) 広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。 (思判表力) 身の回りのものの広さ、かさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 (思・判・表) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定 広さ、かさなどの量を比較しよう	・かさをくらべましょう : 2量や3量を直接比較や別の容器に移して (任意単位) 比べる。 ・ふとさをくらべましょう : 周の長さや断面で太さについて考える。 ・ひろい、せまいとどおい、ちかい : シート等を活用し、「広い」「狭い」等の言葉について基準と比較する考えを用いて使う。
	15	(知及技) ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。 (思判表力) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしようとしている。 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ろうとしている。 (思・判・表) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現しようとしている。 (主学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	Dデータの活用 ・データを用いた大小・多少の比較	・ひょうをつくりましょう①② : 表に表したデータを比較する。(みんなでいたい遊びについて調べて表やグラフにまとめる。雨が降ったときのことも考えてもう一度グラフを作り、1回目と2回目のグラフを
	15	(知及技) 具体物を分配したり等分したりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。 (学・人) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 具体物を分配したり等分したりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かそうとしている。 (主学) 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。	A数と計算 ・分配	・おなじかずにわけましょう (ふたりでわけましょう) : 具体物一つずつ分ける。 ・おなじかずにわけましょう① : 具体物一つずつ分ける。等分したことが分かる。 ・おなじかずにわけましょう② : 2等分、4等分したり、一つを等分したりする。
留意点 引継ぎ等		C測定 時刻や時間 (島尻スタンダード3段階②) については、年間を通して個別学習にて行う。			

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	小学部6学年		音楽

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技） 思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） 思いに合った表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしながら、歌唱表現に対する思いをもつようとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「うみ」「かたつむり」「春がきた」	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		（知及技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 （思判表力） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴くことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 （思・判・表） 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだして聴こうとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう みよう （パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など）	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける。
		（知及技） リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 （思判表力） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） リズム、速度や強弱の違い、演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 （思・判・表） 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつようとしている。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「きらきらぼし」「こいのぼりのマーチ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにつくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする
		（知及技） 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けることができる。 （思判表力） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （学・人） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	（知・技） 思いに合った体の動きで表現するために必要な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。 （主学） 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう （校歌、学年の歌、季節の歌など） ・楽しくおどろう ・運動会のダンスを踊ろう （学年のダンス、手話ソングなど） 「虫のこえ」「タヤケこやけ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。

2 学期	28	(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう みよう (パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など) ・運動会のダンスをみよう	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける
		(知及技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付くことができる。 (思判表力) 曲のリズムや速度、旋律について気付くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 声や身の回りの様々な音の特徴、簡単なリズム・パターンの特徴を生み出す面白さなどと関わって気付こうとしている。 (思・判・表) 曲のリズムや速度、旋律について気付くことができる。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・運動会のダンスを踊ろう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「山の音楽家」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにつくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
3 学期	18	(知及技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりできる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思いにあった歌い方で歌うために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしようとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・うたってみよう (校歌、学年の歌、季節の歌など) ・楽しくおどろう (学年のダンス、手話ソングなど) 「日のまる」「ひらいたひらいた」「かくれんぼ」など	・教師や友達と一緒に音楽を聞いて歌をうたおう。 ・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりについて気づこう。 ・曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気について気づこう。
		(知及技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くことができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) 曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付こうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見いだし聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・きこう みよう (パネルシアター、ペープサート、行事の歌、季節の歌、手遊び動画、日本の歌、外国の歌など)	・曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。 ・静かに耳を傾けて聴く。 ・リズムや歌の面白さや違いを見つける
		(知及技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づくことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつことができる。 (学・人) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。	(知・技) リズム、速度や強弱の違いや演奏の仕方による楽器の音色の違いに気づこうとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもとうとしている。 (主学) 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽の雰囲気を感じてみよう ・音楽に合わせて体を動かそう ・リズムを打ってみよう ・伝統的な音楽や楽器について学ぼう 「エイサー」「鬼のパンツ」など	・リズム、速度や強弱の違いに気づくこと。 ・演奏の仕方による楽器の音色の違いにつくこと。 ・簡単な譜面を見て演奏する。 ・音楽には音符、休符、記号があることに気づく。 ・身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する。 ・簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A・B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部 6学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）形や色などを意識して、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 （思判表力）表したいこと思い付いたり、表し方を考えたりして、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったり見方を広げたりすることができる。 （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、自分でイメージをもって形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	（知及技）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 （思判表力）造形的なよさや楽しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとしている。 （思・判・表）造形的なよさや楽しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 ○いろいろな技法 ・はじき絵（パチック技法） ・にじみ絵 ・デカルコマニー ・フロッタージュ など	・クレヨンやロウで自由に線を描いたり、好きな絵を描く。絵を描いた上に絵の具で色を塗る。クレヨンやロウによって、はじかれる絵の具のの様子を楽しむ。 ・半分に折った画用紙の間に破産だ線などをひいてできる模様を楽しむ。 ・〈道具：クレヨン、絵の具、ロウ、マーブリング液、のり、はさみ、等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール箱、竹串、和紙、浅いバット等〉
		（知及技）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。 （思判表力）造形的なよさや楽しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとしている。 （思・判・表）造形的なよさや楽しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしようとしている。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 ○描いてみよう ・自慢の家族 ・自分や友達絵を描こう	・いろいろな形や色を見つけ工夫して表す、描きたいもの思いつく、思いついたものを楽しく描く。 ・指や手で描いて形を見つけ工夫して表す、指や手で試しながら表したいことを考える、指や手で描くことを楽しむ。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具、カッター、液体粘土等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙、段ボール等〉
		（知及技）自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 （思判表力）材料や、感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付いている。 （思・判・表）材料や、感じた事、創造したことから表したいことを思いついたり、形や色などの感じを基に自分のイメージを持つことができている。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 ○はさみのアート	・はさみを使って（色）画用紙を自由に切る。それを画用紙にレイアウトし、何がえてくるを観察。 ・イメージがわいてきたら、それをもっと強調できるよう加筆する。イメージがなかなかつかないときは、目玉シールを使って、形の特長を生かした顔に立えて遊ぶ。最後に絵に名前をつける。 〈道具：はさみ、のり、水性ペン〉 〈材料：色画用紙、画用紙、目玉シールなど〉 （教科書：ずがこうさく1・2下 P36～37 参考）
2学期	25	（知及技）様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができる。 （思判表力）形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い工夫して作ったり、自分の感覚や行為を通して、素材の特徴や形などの感じに気付くことができる。 （思・判・表）形の感じから自分のイメージを持ったり、表したいことを思いついたりすることができる。表し方の面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げることができる。 （主学）造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（粘土） ○ねんどでつくろう ・動物や食べ物	・好きな動物や生き物の形をイメージし、形に表す。 ・好きな食べ物、料理の形をイメージして作り、皿や弁当箱に入れて仕上げる。紙粘土なら、着色も楽しめる。 〈道具：粘土板、はら・型類、切り糸等〉 〈材料：紙粘土や油粘土〉
		（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうことができる。 （思判表力）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうとしている。 （思・判・表）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	描画 ○感じたこと、見たことを描こう ・校外学習行ってきたよ ・修学旅行行ってきたよ ・おはなしからうまれたよ	・生活の中で見たことや感じたこと、体験したことを描く。 〈道具：ペン、筆、クレヨン、絵の具等〉 〈材料：画用紙、色画用紙、新聞紙等〉
		（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうことができる。 （思判表力）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうとしている。 （思・判・表）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） ○によきによきとびだせ	・袋をふくらませる仕組みから、思いついたものを作る。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ等〉 〈材料：色画用紙、新聞紙、空き箱、紙皿、紙コップ、割りばし、ひも、牛乳パック、ビニール袋、紙粘土、自然物等〉 （教科書：ずがこうさく1・2上 P56～57 参考）
		（知及技）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくらうすること。 （思判表力）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくらうとしている。 （思・判・表）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（工作） ○パラエティー紙版画	・様々な厚みの紙、素材を好きな形に切って貼り合わせる。 ・自分の顔や、好きなものをイメージして貼り合わせていく。 ・自分の作品を紹介したり、友達作品を鑑賞することを通して、様々な表し方へ気づく。 〈道具：のり、はさみ、ボンド、テープ〉 〈材料：画用紙、クレープ紙、プチプチマット、段ボール、自然物等〉
3学期	20	（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうことができる。 （思判表力）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （学・人）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくらうとしている。 （思・判・表）材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くことができる。 （主学）楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	作る（立体） ○粘土で作ろう ・面ソーサー	・沖縄の伝統工芸の一つにヤチムンがあることを学ぶ。 ・見本のソーサーを手掛かりに、オリジナルのソーサーを作る 〈道具：絵の具、筆、板、竹串等〉 〈材料：紙粘土、粘土、等〉 ※粘土をやく場合には美術科と要調整※
		（知及技）自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができる。 （思判表力）形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができる。⑤⑥ （学・人）共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができる。	（知・技）自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。基本的な材料や用具を使って工夫して制作活動ができている。 （思・判・表）形や色の感じを基に自分のイメージを持ったり、表し方の面白さを感じ取ったりすることができる。 （主学）共同制作を通して、友達との表現の違いなどを楽しむ事ができている。	作る（工作・造形） ○協力して作ろう ・卒業式壁画 ・卒業制作	卒業式を迎える気持ち、卒業生を送る気持ちを改めて見つめる。壁画全体のイメージを把握し、テーマを確認する。自分たちが制作する部分と全体との関係を把握する。

	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。 (思考・表現力) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて、感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。 (学・人) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむことができる。	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこととしている。 (思・判・表) 自分たちの作品や、日常生活の中にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて、感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 (主手) 楽しく造形活動に取り組み、想像したり表現したりすることを楽しむ事ができている。	鑑賞 ○見てみよう ・ふりかえり ・絵画鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞したりする。 ・身近にある作品に親しみることができる。
留意点 引継ぎ等	描画（絵に表す活動） 作る（立体に表す活動、工作に表す活動） 鑑賞（造形遊びをする活動、版画、鑑賞する活動）			

令和7年度 小学部6年 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		小学部 6 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けるとともに、健康や身体の変化について知り、健康な生活ができるようにする。(小3段階) (思判表力) 基本的な運動の楽しみ方や健康な生活の仕方について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝える力を養う。(小3段階) (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲良く楽しく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりしようとするとともに、自分から健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。 (思判表力) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	(知・技) 基本的な体づくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体づくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【多様な動きをつくる運動】	【多様な動きをつくる運動】 ・後ろ歩き、横歩きなどいろいろな歩き方、リズムに合わせて行進する ・立った姿勢からリズムよくはねながら、右回り・左回りに回転など ・押し合いずもんで、重心を低くして相手を押したり、相手から押されないように踏ん張ったりする ・友達と手をつないだり肩を組んだり背中を合わせたりして、立ったり座ったりする ・横や後ろ、斜めに走ったり、曲線やジグザグなどの走路や細い走路を走ったりする ・無理のない速さでかけ足を3～4分程度続ける(児童の能力等に応じて適切な時間を設定) ・ボールや棒など大きさや種類の異なる用具を片手や両手で投げたり、捕ったりする ・短なわを揺らしたり、回旋したりしながら前や後ろの連続両足跳びをする ・友達をおんぶしたり、おんぶして歩いたりする
	10	(知及技) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。 (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようすることができる。	(知・技) 器械・器具を使つての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使つての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【マットを使った基本的な運動】 【跳び箱を使った基本的な運動】	【マットを使った基本的な運動】 ・連続横転がり ・前転 【跳び箱を使った基本的な運動】 ・跳び乗り ・跳び下り
	10	(知及技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。 (思判表力) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 (学・人) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	(知・技) 水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【バブリングやボビング】 【ばた足やかえる足】	【バブリングやボビング】 ・大きく息を吸ってもぐり、水中で息を止めたり吐いたりする ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳びあがって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐる ・頭の上に手を挙げながら(膝を曲げて)もぐり、手をさげながら(膝を伸ばして)跳び上がる動きを繰り返す 【ばた足やかえる足】 ・壁や補助具につかまり、ものの付け根からのばた足・足の裏で水を押すかえる足

2 学 期	13	【知及技】 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。 【思判表力】 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【学・人】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	【知・技】 走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 【思・判・表】 走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【主学】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【走る運動】 【跳ぶ運動】	【走る運動】 ・3～4分程度の時間を一定の速さでゆっくり走る ・30～50m程度の距離を全力で走る ・ジグザグ、S字のレーン、リレーなどで走る 【跳ぶ運動】 ・ケンパー跳びで片足や両足で連続して前方に跳ぶ ・輪や段ボールなどの低い障害物を使って、走る運動と合わせながら、助走をつけて勢いよく飛び超える
	7	【知及技】 基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりすることができる。 【思判表力】 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【学・人】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	【知・技】 基本的な表現運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付け、表現したり踊ったりしている。 【思・判・表】 基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【主学】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【リズムと動き】	【リズムと動き】 ・ロックやサンバなど弾んで踊れる軽快なリズムの曲（リズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して踊る） ・友達と手をつないだり、友達の真似をしたりして踊る ・友達と向かい合って手をつなぎ、スキップしながら回ったり、ねじったり、手を叩き合ったりして踊る
	5	【知及技】 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身につけることができる。 【思判表力】 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。	【知・技】 健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身につけようとしている。 【思・判・表】 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【健康な生活】 【身体の成長】	・発熱や咳、排便の状態などについて自分から意識する ・治療や休養が必要である場合には、知らせる ・身体測定の結果や身体の変化などから、自分の身体の成長に関心をもつ ・むし歯の予防 ・健康な生活に関わる事象から課題を見付ける ・健康な生活を実現するために解決の方法を考え、それを実践すること ・自分や友達のけがや体調の変化を教師等に告げる ・病気やけがをしたときは、教師に伝え、落ち着いて簡単な手当を受ける
3 学 期	20	【知及技】 ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。 【思判表力】 ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【学・人】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようすることができる。	【知・技】 ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けようとしている。 【思・判・表】 ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。 【主学】 きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	【ボールを使ったゲーム】 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】	【ボールを使ったゲーム】 ・的当てゲームを発展したシュートゲーム ・ボールを転がしたり、投げたりする円形ドッジボール ・攻めがボールを手で打ったり蹴ったりして行うベースボール型ゲーム 【友達を追いかけたり逃げたりするゲーム】 ・しっぽ取りゲーム
留意点 引継ぎ等					

R7年度 小学部 6年（Ⅱ課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	小学部6学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	（知及技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合うことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ったり、あいさつしようとする。	（知・技）さまざまな言語のあいさつがあることを知り、あいさつや名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）自分の名前を言ったり、さまざまな手段を用いてあいさつし合おうとしている。 （主学）相手に伝わるように工夫しながら、名前を言ったり、あいさつしようとしている。	あいさつをして友達になろう ごきげんいかが？ いろんな国のあいさつ	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	4	（知及技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 （思判表力）数について、尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 （学・人）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとする。	（知・技）日本と外国の数の数え方があることを知り、数の言い方や尋ね方に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）数について、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主学）相手に伝わるように工夫しながら数を尋ねたり、答えたりしようとしている。	自己紹介をしよう すうじ すごろくゲーム	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ボールを持っている人が自己紹介 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo！」 Super Simple Song
	3	（知及技）曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 （思判表力）自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合うことができる。 （学・人）教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとする。	（知・技）曜日、の言い方を知り、曜日を訪ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 （思・判・表）自分の好きな曜日を言ったり、さまざまな手段を用いて伝え合おうとしている。 （主学）教師の支援を受けて、曜日を英語で話そうとしている。	今日は何曜日？ 天気？ 何月？	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 Super Simple Song ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する ・3ヒントゲーム ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Head Shoulders Needs&Toes」 Super Simple Song

2 学 期	3	(知及技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたり、応えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合うことができる。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	これなあに？ (身の回りのモノ)	①歌 ・「Hallo song」 ・「Goodbye song」 ・「What's this? Song」 Grit for kids ②アクティビティ ・英語のあいさつをして名刺を渡そう ・イースターエッグを探そう ・友達とご機嫌いかが？を聞き合おう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Hallo!」 Super Simple Song
	3	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合ったりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、身の回りのものの言い方や、好きなことを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたり伝え合うことができる。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを質問し合おうとしている。	・好きなものはなあに？ (色、食べ物)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」 ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 よく聴いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Walking Walking」 Super Simple Songs
	3	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えたりする。 (学・人) なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、遊びの言い方の表現に慣れようとしている。 (思・判・表) 遊びについて、なるべく一人で考えて何が好きかどうかを尋ねたり身振り交えて答えようとしている。 (主学) なるべく一人で考えて自分の好きな遊びを紹介しようとしている。	・好きなものはなあに？ (いろいろな遊び) ・ハロウィンを楽しもう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト (おばけ、魔女、くも) ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット (色、食べ物) ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「Walking Walking」 Super Simple Songs
	3	(知及技) 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。 (思判表力) 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。 (学・人) なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとする。	(知・技) 動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵を見て、なるべく一人で考えて相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりしようとしている。 (主学) なるべく一人で考えて動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう (速く、ゆっくり)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて動く。 ③フォニックス ④外国の文化 ⑤ダンス ・「きらきら星」
	3	(知及技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (思判表力) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いを知り、形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (思・判・表) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	クリスマスだよ	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer, Goodbye Snowman」 -Super Simple Songs- ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム～クリスマスに関する～ (リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト) ・英語でフルーツバスケット (クリスマスに関する単語) ③フォニックス ④ダンス ・「きらきら星」

3 学 期	3	(知及技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 自分の名前の頭文字を伝え合うことができる。 (学・人) 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	(知・技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることを知り、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の名前の頭文字を伝え合うとしている。 (主学) 自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	アルファベットと仲良し (ABCD)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた(アルファベットカード使用) ・よく聞いて身体表現しよう (T, O, I, L, M, S, V, X, H) 等 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	(知及技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりすることができる。 (学・人) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとする。	(知・技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いを知り、友だちと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本などの短い話を通して、簡単な単語や表現を聞いたり言ったりしようとしている。 (主学) 絵本などの短い話を聞き、台詞をまねて言おうとしている。	この人はだれ? (家族の紹介)	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム【1人～複数人】 (よく聞いて、絵カードを指すゲーム) ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス ・「Baby Shark」
	3	(知及技) 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞いたりすることができる。 (学・人) 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとする。	(知・技) 簡単な単語を用いて日課に関する表現に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 身近で簡単な事柄について、簡単な単語や表現を用いて友達に伝えたり友達の発表を聞こうとしたりしている。 (主学) 外国語で伝えようとしたり、身体で表現しようとしている。	私の1日を紹介しよう	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム (カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。) ③フォニックス ④ダンス ・「1年間のダンスの中から選択」
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部 6 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	3	生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けることができる。	生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けようとしている。	善悪の判断、自律、自由と責任	節分や豆まきについての学習等を通して、よいと悪いとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことについて学んだり、健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をしたりすることについて学ぶ。
	3	誠実に、明るいいで楽しく生活しようすることができる。	誠実に、明るいいで楽しく生活しようとしている。	正直、誠実	身近な教師や友達との関わり等を通して、うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することについて学ぶ。
	2	自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとすることができる。	自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばそうとしている。	個性の伸長	前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。
	3	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接しようことができる。	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接しようとしている。	礼儀	暑中見舞いの作成等を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することについて学ぶ。
	3	だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることができる。	だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとしている。	親切、思いやり	友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることについて学ぶ。
	3	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合えることができる。	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合おうとしている。	友情、信頼	教師や友達との学習や遊び等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。
	2	日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえようすることができる。	日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえようとしている。	感謝	母の日に向けての学習を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。
	3	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重することができる。	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重しようとしている。	生命の尊さ	慰霊の日に向けての学習等を通して、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて学ぶ。
	3	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることができる。	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとしている。	自然愛護	校外学習や宿泊学習等を通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することについて学ぶ。
	3	法やさまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとすることができる。	法やさまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとしている。	規則の尊重	新たな学級での生活等を通して、約束やさまりを守り、みんなが使う物を大切にすることについて学ぶ。
	2	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることができる。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとしている。	よりよい学校生活、集団生活の充実	進級や学年開き等を通して、先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることについて学ぶ。
	3	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすることができる。	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをしようとしている。	勤労、公共の精神	年末の大掃除等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。
	2	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをしようことができる。	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをしようとしている。	家族愛、家庭生活の充実	敬老の日に向けた学習等を通して、父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことについて学ぶ。

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小学部6年生		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。 学級目標と1学期の個人目標を考えることができる。 友達や教師と一緒に学教行事に取り組もうとすることができる。 図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ることができる。 地域の自然に触れたり、公共施設等を利用したりして地域への関心を高めることができる。 白川小学校の友達と交流することができる。 1学期の目標を達成できたか振り返ることができる。 夏休みの約束や宿題等について知ることができる。	新しい先生、友達と仲良くがんばる気持ちを持つことができる。 学級目標と1学期の個人目標を考えようとしている。 友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。 図書室での約束や借り方、利用の仕方を知ろうとしている。 地域の自然に触れたり、公共施設等を利用したりして地域への関心を高めようとしている。 白川小学校の友達と交流しようとしている。 1学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。 夏休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	進級おめでとう (学年開き、学級開き) 目標を立てよう 学校行事 図書室の使い方 校外学習 交流学习 学習を振り返ろう 夏休みに向けて	学年、学級開きを通して、新しい教師や友達を知り、仲良く頑張る気持ちを持つ。 学級目標を立てる。 1学期の個人目標を立てる。 始業式や終業式などに参加し、厳粛で清新な気分を味わう。 身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。 図書室の使い方や決まりについて知り、図書室を利用する。 校外学習や街探検を通して地域の自然に触れたり、公共施設等を利用したりして地域への関心を高める。 白川小学校の友達と交流する。 1学期の目標を達成できたか振り返る。 夏休みの過ごし方や宿題等について知る。

2 学 期	10	2学期の個人目標を考えることができる。	2学期の個人目標を考えようとしている。	目標を立てよう	2学期の個人目標を立てる。
		友達や教師と一緒に学教行事に取り組もうとすることができる。	友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	学校行事	始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		公共施設を利用して体験したり、分担された係活動に取り組むことができる。	公共施設を利用して体験したり、分担された係活動に取り組もうとしている。	修学旅行	修学旅行を通して、公共施設で体験したり分担された係活動に取り組む。
		地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げようとしている。	校外学習	公共の乗り物を利用することで様々な体験を拡げる。
		中学部の授業に参加することができる。	中学部の授業に参加しようとしている。	中学部体験	中学部の教室や特別教室等にて、中学生と一緒に授業に参加する。
		2学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	2学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	学習を振り返ろう	2学期の目標を達成できたか振り返る。
3 学 期	11	冬休みの約束や宿題等について知ることができる。	冬休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	冬休みに向けて	冬休みの過ごし方や宿題等について知る。
		3学期の個人目標を考えることができる。	3学期の個人目標を考えようとしている。	目標を立てよう	3学期の個人目標を立てる。
		友達や教師と一緒に学教行事に取り組もうとすることができる。	友達や教師と一緒に学校行事に取り組もうとしている。	学校行事	始業式や終業式などに参加し、厳粛で清らかな気分を味わう。 身体測定や各種の検診等を通して、健康の保持増進を意識する。 避難訓練を通して安全な行動や規律ある集団活動を体得する。
		児童会について知り活動への関心を持つことができる。	児童会について知り活動への関心を持とうとしている。	児童会役員について	児童会について知り活動への関心を持つ。
		地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げることができる。	地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げようとしている。	校外学習	地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を拡げる。
		3学期の目標を達成できたか振り返ることができる。	3学期の目標を達成できたか振り返ろうとしている。	学習を振り返ろう	3学期の目標を達成できたか振り返る。
留 意 点 引 継 ぎ 等		1年間を振り返り中学生への期待を持つことができる。	1年間を振り返り中学生への期待を持とうとしている。	もうすぐ中学生	1年間を振り返り中学部への期待を持つ。
		個人目標の振り返りでキャリアパスポートを活用することができる。	個人目標の振り返り。キャリアパスポートを活用しようとしている。	キャリアパスポート	個人目標の振り返りでキャリアパスポートを活用する。
		春休みの約束や宿題等について知ることができる。	春休みの約束や宿題等について知ろうとしている。	春休みに向けて	春休みの約束や宿題等について知る。
		児童会活動や委員会活動に参加することができる。	児童会活動や係の活動に参加しようとしている。	児童会活動、委員会活動しよう	児童会役員は児童会の仕事をする。その他の児童は委員会活動に取り組む。

小学部(Ⅱ課程)

訪問教育

令和7年度 小学部訪問 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
22	訪問学級 3～6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身につけるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学・人)自分自身のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に活かそうとしたりする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技) 教師や身の回りの人に気づき教師と一緒に簡単な挨拶などを行うことができる。 (思判表力) 教師や身の回りの人に気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学・人) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加することができる。	(知・技) 教師や身の回りの人に気づき教師と一緒に簡単な挨拶などを行おうとしている。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加しようとしている。	「先生や友達と仲良くなるろう、お話しよう」 (小学部1段階 人との関わり) ・教師や友達と遊ぼう	・始まりの会、終わりの会をする。 ・スクーリング、リモートで交流する。 ・スクーリングに参加したり、交換ノートなどでお互いの様子を伝えたりする。
	4	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、友達や教師と同じ場所で遊ぶことができる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学・人) 教師や友達の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで遊ぶことができる。	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、友達や教師と一緒に遊ぼうとしている。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師や友達の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで遊ぼうとしている。	「楽しく遊ぼう」 (小学部1段階 遊び) ・水遊び ・シャボン玉遊び ・新聞紙遊び ・感触遊び	・感触遊びをする ・簡単な玩具遊びをする。 ・教師と一緒に関わって遊ぶ。
	5	(知及技) 身の回りにある生命や自然に気づき、教師と一緒に見たり、触れたりできる。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えることができる。 (学・人) 教師の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで活動することができる。	(知及技) 身の回りにある生命や自然に気づき、教師と一緒に見たり、触れたり使用としている。 (思判表力) 身の回りの遊びに気づき、感じたことを身体の動き等で伝えようとしている。 (主学) 教師の働きかけを受け入れ、安定した気持ちで活動しようとしている。	「季節を感じよう」 (小学部1段階 生命・自然)	・季節の草花等の観察する(触る、見る、匂いをする等) ・近所を散策し、風や光、匂い、環境音等を感じる
	4	(知及技) 簡単な日課に気づき、教師と一緒に行動することができる。 (思判表力) 簡単な日課に気づき、感じたことを伝えることができる。 (学・人) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知及技) 簡単な日課に気づき、教師と一緒に行動しようとしている。 (思判表力) 簡単な日課に気づき、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとしている。	「今日は何をするのかな」 (小学部1段階 日課予定) ・はじまるよ。おわるよ。 ・きょうのべんきょう	・今日の学習や次の学習予定について教師の話を聞く。
	4	(知及技) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設に気づき教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。 (思判表力) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持つことができる。 (学・人) 教師や身の回りの人に関心をもって学習活動に参加することができる。	(知及技) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設に気づき教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (思判表力) 身の回にあるの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持つことができる。 (学・人) 身の回りの簡単な日課に関心を持ち、自ら活動に向かおうとしている。	「校外学習にさんかしよう」 ・校外学習 ・スクーリング	・教師や保護者と一緒に校外学習に参加する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
28	訪問学級 3～6学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活に必要な身近な言葉が分かり、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	10	(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思判表力) 絵本などを見て、示された身近な事象や生き物などに気づき、注目することができる。 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じることができる。	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもとうとしている。 (思・判・表) 絵本などを見て、示された身近な事象や生き物などに気づき、注目しようとしている。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じようとしている。	「お話を楽しもう」 小学部1段階 (読むこと) ・絵本をみよう ・パネルシアターをみよう ・ペープサートでたのしもう	①児童の実態にあった絵本の読み聞かせを行う。 ②季節や行事にあわせて、読み聞かせを行う。 ③絵本やパネルシアターやペープサート等、色々なお話遊びをする。
	15	(知及技) 身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人からの話しかけに注目したり、応じたり答えたりすることができる。 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じることができる。	(知及技) 身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思判表力) 身近な人からの話しかけに注目したり、応じたり答えたりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じようとしている。	「お話をしよう」 小学部1段階 A聞くこと・話すこと ・始まりの会、終わりの会 ・各活動の中で (授業のこと、体のこと、経験したこと等) ・お話遊び	①先生の話聞く。 ②自分の話したいことや気持ち等を伝える。 ③お話遊びを通して、具体物に触れたり、言葉を動作化したりする。
	3	(知及技) 様々な筆記用具に気づき、触れることができる。 (思判表力) 色々な筆記用具で書けることに気づき、教師と一緒に書くことができる。 (学・人) 筆記用具で書く楽しさを感じることができる。	(知及技) 様々な筆記用具に気づき、触れようとしている。 (思判表力) 色々な筆記用具で書けることに気づき、教師と一緒に書くようとしている。 (主学) 筆記用具で書く楽しさを感じようとしている。	「書いてみよう」 小学部1段階 B書くこと ・暑中見舞いを書こう ・年賀状を書こう ・書き初めをしよう	1 学期 ・教師と一緒に暑中見舞いをかく。 2 学期 ・教師と一緒に年賀状をかく。 3 学期 ・教師と一緒に書き初めをする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
13	訪問学級 3～6学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身の回りのものに気づき、対応させたり、組み合わせたりすることなどについて技能を身につけることができる。 (思判表力)身の回りにあるものに同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもつことができる。 (学・人)数量や図形に気づき、算数の学習に関心をもち取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	13	(知及技) 具体物に気づいて指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 (学・人) 対象物に気づき、活動に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 具体物に気づいて指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えようとしている。 (主学) 対象物に気づき、活動に関心を持って取り組もうとしている。	「遊んでみよう」 ・音遊び ・光遊び ・振動遊び ・ボール遊び ・目隠し遊び ・ひっぱりっこ遊び ・重さ遊び	操作が簡単で変化が分かりやすい遊具で遊ぶ。 ・押すと音がでる遊具で遊ぶ。 ・押すと光る遊具で遊ぶ。 ・押すと振動する遊具で遊ぶ。 ・ボールを転がす遊具で遊ぶ。 (ある・ない) ・物を布でかくしたり、払ったりする (いないいないばー遊び) (長い・短い) ・紐をひっぱって物が動く遊び。 (重い・軽い) ・身近な物を持ってみる。 など
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
16	訪問学級 3～6学年		音楽☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながら技能を身につけるようにする。 (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 (学・人)音や音楽に気付いて、教師問いっしょに音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づくとしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」(リズム遊び) 「歌唱」「鑑賞」(校歌、こいのぼり、おかあさん、はななのおやこ、雨ふりくまのこ等) 「器楽」(きらきら星、おおきなたいこ等) 「音楽づくり」(リズム遊び) 「身体表現」(ミュージックケア、ふれあい体操など)	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい(マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等)を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な(聴きやすい)楽器の音楽を聴く。
2 学期	6	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づくとしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」(リズム遊び) 「歌唱」「鑑賞」(さんぽ、どんぐりころころ、やきいもグーチャーパー、クリスマスソング等) 「器楽」(きらきら星、クリスマスソング等) 「音楽づくり」(リズム遊び) 「身体表現」(ミュージックケア、ふれあい体操など)	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい(マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等)を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な(聴きやすい)楽器の音楽を聴く。
3 学期	4	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気づくことができる。 (思判表力) 音や音楽を味わいながら聴くことができる。 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気づくとしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	○音楽を楽しもう 表現 「音楽遊び」(リズム遊び) 「歌唱」「鑑賞」(お正月、鬼のパンツ、うれしいひなまつり、卒業式の歌等) 「器楽」(あったかいね等) 「音楽づくり」(リズム遊び) 「身体表現」(ミュージックケア、ふれあい体操など)	表現 ①音や音楽に合わせて声を出したり、教師と一緒に楽器を鳴らしたりする。 ②音や音楽を聴いて、教師と一緒に身体を動かす。 ③音や音楽に合わせて教師が身体に触れあい(マッサージやタッピング、シフォンスカーフ等)を感じる。 鑑賞 ①季節や行事等に関する音楽を聴く。 ②簡単な(聴きやすい)楽器の音楽を聴く。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
16	訪問学級 3～6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気づき、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品をみたりできる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気づくことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間をと おして	16	(知及技) 身の回りの自然物などに教師と一緒に触れながらかく、切る、ぬる、はるなどができる。 (思判表力) 身近な材料や取り組んでいるものの様子をみたり、仕上がった自分の作品をみたりすることができる。 (学・人) 教師と一緒に表したり見たりする活動に取り組むことができる。	(知・技) 身の回りの自然物などに教師と一緒に触れながらかく、切る、ぬる、はるなどしようとしている。 (思・判・表) 身近な材料や取り組んでいるものの様子をみたり、仕上がった自分の作品をみたりしようとしている。 (主学) 教師と一緒に表したり見たりする活動に取り組もうとしている。	「さわってみよう」 ・身近な草 ・野菜 ・果物 ・紙粘土 ・絵の具 ・スライム ・水風船 ・紙 ・布など 「つくってみよう」 ・誕生日表 ・こいのぼり ・七夕 ・ハロウィン ・年賀状 ・カレンダー 「色水で遊ぼう」 ・マープリング ・色水遊び 「墨遊び」 ・書き初め 「おえかき」 ・iPadでのお絵かき 「みてみよう」 ○感触遊び ・絵の具、のり、	<表現> 感触遊び ・身近な物を見たり、さわったりなどする。 造形遊び ・身近な物を切ったり、ぬったり、貼ったり、並べたりなどする。 色水で遊ぼう ・マープリングの¥で色の広がる様子を見る。 墨遊び ・墨の匂いや色に気づき、教師と一緒に書き初めをする。 iPadでお絵かき ・iPadの画面にタッチして、色や音を感じながら絵を書く。 <鑑賞> ・自分が触れた物の様子を見る。 ・自分や友達作品を見る。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
5	訪問学級 3～6学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。 (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動することができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	5	(知及技) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、運動遊びをすることができる。	(知・技) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に手足を動かしたり、身近な遊具を使ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。	「体ほぐしの運動」 ・リフレッシュ体操 ・ふれあい体操 ・リトミック ・絵本からの体操 「器具・器具を使つての遊び」 ・ブランコでの揺れ遊び ・エアートランポリン 水遊び」 ・水遊び 「ボール遊び」 ・風船遊び ・音の鳴るボール遊び 「表現遊び」 ・ミュージックケアなど	・体操をする。 リフレッシュ体操、ふれあい体操 ・簡単なリトミックをする。 絵本「できるかな」を参考に (手足の上げ下げ、体を揺らす等) 簡単な合図・・・「〇〇君～さわるよ～」など ・機能訓練室での、ブランコでの横揺れを感じて遊ぶ。 ・エアートランポリンの縦揺れを感じる。 ・水を触ってみよう ・水風船で遊ぼう。 ・温かいお湯を触ってみよう。 ・風船であそぶ ・ボールを転がして遊ぶ。 ・ひものをひっぱる。 簡単な合図や指示 「なげてね」「たたいてね」、「せーの」等のかけ声 ・リフレッシュ体操、ふれあい体操
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2	訪問学級 3～6学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができるようにする。 (思判表力)英語の歌や外国の行事等、なじみのある語などを聞き、感じたことを自分のできる方法で表現できるようにする。 (学・人)英語の歌や日常生活になじみのある語に注目しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	2	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができるようにする。 (思判表力) 英語の歌や外国の行事等、なじみのある語などを聞き、感じたことを自分のできる方法で表現できるようにする。 (学・人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目しようとする態度を養う。	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 英語の歌や外国の行事等、なじみのある語などを聞き、感じたことを自分のできる方法で表現しようとしている。 (学・人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目しようとしている。	「聞いてみよう」 ・英語の歌を聴こう ・英語に絵本を見よう 「見てみよう」 ・英語の歌の動画を見ながら歌ってみよう。 「感じてみよう」 ・外国語の行事（例：ハロウィン、クリスマスなど）に参加し、外国の文化に触れよう。	・教師と一緒に英語の歌を聞いたり英語の絵本を見たりして楽しむ。 ・英語の歌などを聞き、音声やリズムを楽しむ。 ・外国の歌動画を見ながら、歌を歌おう。 ・外国の行事に触れよう。参加しよう。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部訪問 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2	訪問学級 3～6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・ 家族等身近な人との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもって過ごすことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	2	・ 教師とのふれあいや関わりに心地よさを感じ、安心感を持って過ごすことができる。 ・ 他の子どもの存在に気づき、興味や関心を持つことができる。	・ 教師や友達とのふれあいや関わりで心拍数や酸素濃度が安定する様子が見られる。 【評価資料】活動の様子、学校生活の様子の観察で評価する。	・ 信頼、友情	・ 一人一人の思いや欲求、感情を受け止めてもらいながら、応答的に関わってもらう。 ・ 学年の子どもとICTや直接交流をする機会を設けることで、肌にふれたり、直に見たり、感じたりする。
留意点 引継ぎ等		・ 体調に留意し、無理はしないようにする。 ・ 緊急時の対応などについては、事前に確認する。			

令和7年度 小学部訪問 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6	訪問学級 3～6学年		ICT機器等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 友達や教師と一緒に活動したり、集団活動へ参加したりすることができる。 (思判表力) 友達や教師と一緒に、話し合い活動に参加したり、何かを決めたりすることができる。 (学・人) 集団での活動を通して、よりよい学校生活を過ごそうとする態度を形成する。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・新しい先生や友達を知る。	・新しい教室、先生、友達を知ろうとしている。	・進級おめでとう ・新転入生を迎える会	・新しい先生や友達の写真を見たり、動画を見たりする。
		・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・自然に触れようとしたり、公共施設を利用しようとしたりしている。	・校外学習	・公園や公共施設を利用する上でのルールや決まりを確認し、地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりする。
		・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。 ・友達の発表を聞くことができる。 ・1学期を振り返り、頑張ったこと、楽しかったことを教師と一緒に発表することができる。	・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。 ・友達の発表を聞こうとしている。 ・教師と一緒に1学期を振り返り、頑張ったことを発表しようとしている。	・スクーリング ・学年集会（学級発表） ・1学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・学校の友達に向け、自己紹介用紙を作製する。 ・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。 ・自分の学級を紹介する。友達の発表を聞く。 ・1学期を振り返る。写真等から選び、頑張ったことを発表する。 ・夏休みの約束や宿題等について知る。
2学期	2	・2学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持つようとしている。 ・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。	・2学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・スクーリング ・校外学習	・新学期の行事や活動を知る。期待感を持つ。 ・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。
		・他学年の発表を見ることができる。 ・運動会について知り、期待感を持つことができる。 ・運動会を振り返る。 ・2学期を振り返る。	・運動会について知り、期待感を持つようとしている。 ・写真や動画を見て教師と一緒に運動会を振り返ろうとしている。 ・写真や動画を見て教師と一緒に2学期を振り返ろうとしている。	・交流学习 ・学部集会（ハッピータイム） ・運動会 ・校外学習 ・2学期頑張った会	・自分たちの学年を、教師と一緒に他学年の友達に発表する。 ・他学年の発表を見る。 ・運動会の日程や内容について知り、期待感を持つ。 ・写真や動画を見て運動会をふりかえらる。 ・写真や動画を見て2学期を振り返る。
3学期	2	・3学期の行事や活動を知り、期待感を持つことができる。 ・児童会について知り、活動への関心を持つことができる。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げることができる。	・3学期の行事や活動を知ろうとしている。期待感を持つようとしている。 ・児童会について知り活動への関心を持つようとしている。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用しようとしている。	・3学期頑張ろう会 ・目標を立てよう ・児童会役員選挙 ・校外学習	・3学期の行事や活動を知る。 ・児童会について知り活動への関心を持つ。 ・児童会選挙の日程や方法について知り、投票をする。 ・地域の自然に触れたり、公共施設を利用したりして体験を広げる。
		・スクーリングを通して学校の友達と交流することができる。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝うことができる。 ・1年間を振り返り進級への期待を持つことができる。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いすることができる。	・スクーリングを通して学校の友達と交流しようとしている。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝おうとしている。 ・写真屋動画で1年間をを振り返ろうとしている。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いしようとしている。	・交流学习 ・6年生を送る会 ・3学期頑張った会	・学校での学習の内容について知る。 ・スクーリングに参加する。 ・卒業する先輩や幼稚部の友達を知り、祝う。 ・教師と一緒に1年間を振り返り頑張ったことを発表する。 ・自分や友達の誕生日を知り、お祝いする。
留意点 引継ぎ等					